

久慈・閉伊川地域森林計画書

(久慈・閉伊川森林計画区)

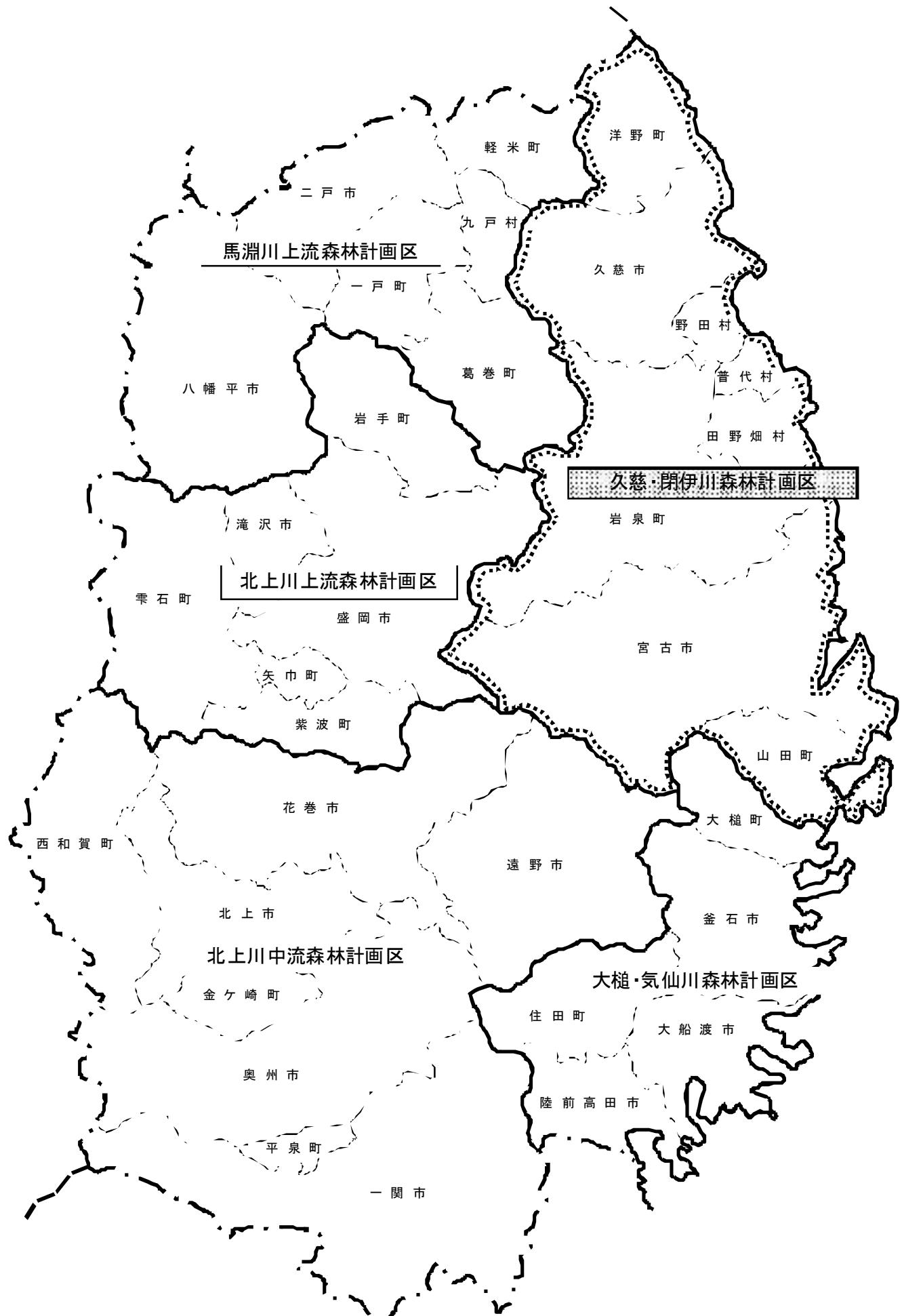
計　　画　　期　　間

自　令和　4年　4月　1日

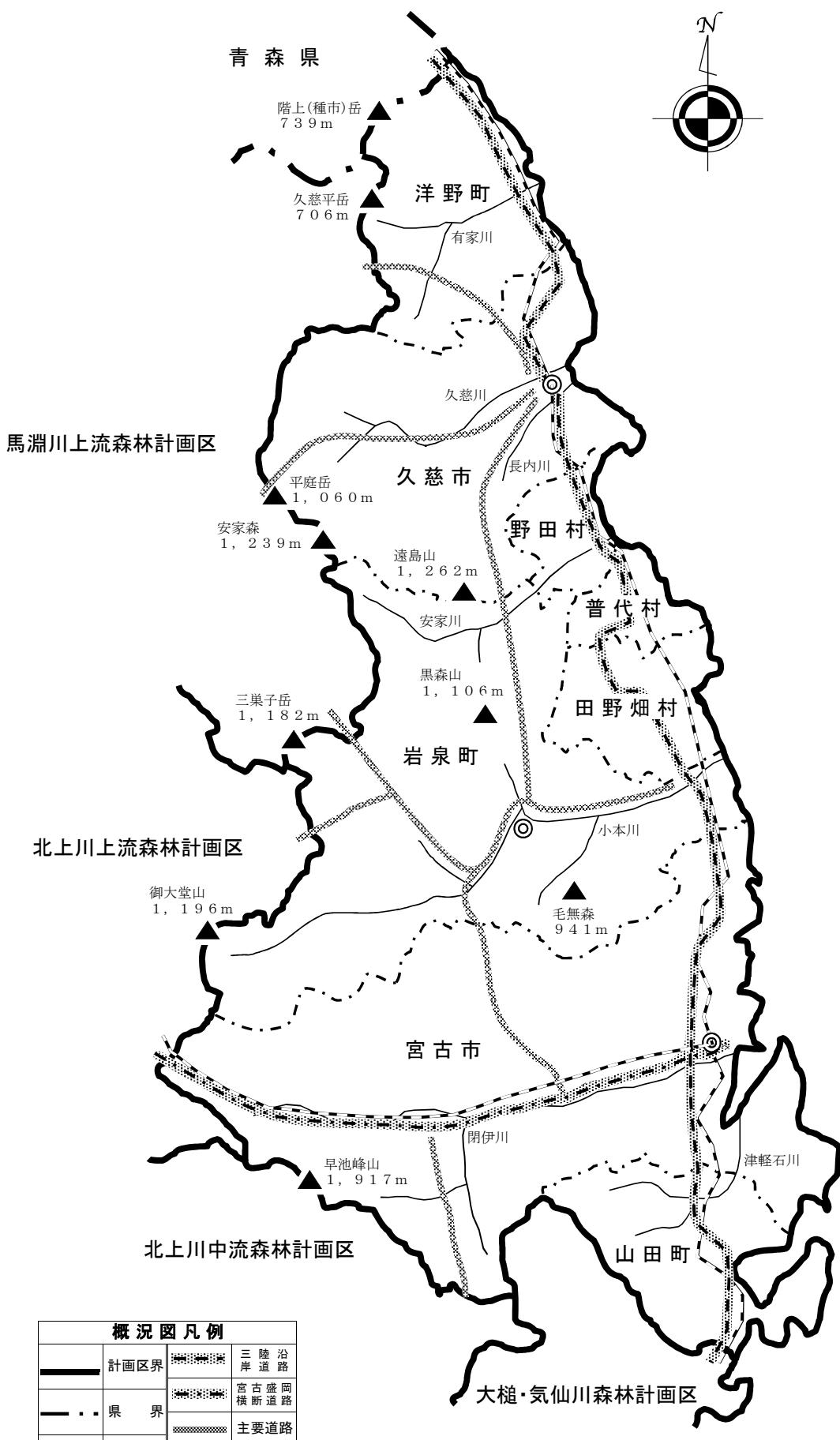
至　令和14年　3月31日

令和3年度樹立

岩　　手　　県



久慈・閉伊川森林計画区概況図



担当者の職名及び氏名並びに樹立に従事した期間

1 担当者の職氏名

農林水産部	部長	佐藤 隆浩
	林務担当技監	橋本 卓博
森林整備課	総括課長	鈴木 清人
	技術主幹兼計画担当課長	成松 美樹
	主任 主査	高橋 克彦
	主任	塔筋 千尋
	師	山口 晃輔
	技師	小川 茜

2 樹立従事期間

自 令和3年4月1日

至 令和3年12月24日

目 次

I 計画の大綱

1 森林計画区の概要	1
(1) 位置、地形	
(2) 地質、土壤	
(3) 気候	
(4) 社会経済的背景	
(5) 森林・林業の概況	
(6) 震災からの復旧・復興に向けた取組	
2 前計画の実行結果の概要及びその評価.....	4
(1) 実行結果	
(2) 評価	
3 計画樹立に当たっての基本的な考え方	6
(1) 計画策定の基本方針	
(2) 施業方法別の森林整備	
(3) 目標設定の考え方	
4 主な計画量の概要.....	9
(1) 間伐立木材積その他の伐採立木材積	
(2) 造林・間伐面積	
(3) 林道の開設及び拡張	
(4) 保安林の指定又は解除	
(5) 治山事業	
5 本計画区内の特徴的な取組事例（トピック）.....	11
(1) 新規就業者の確保・育成の取組	
(2) アカマツ材の新たな需要の創出	
(3) 原木しいたけの産地再生の取組	
(4) 岩泉町のまつたけ山再生の取組	

II 計画事項

第1 計画の対象とする森林の区域	13
第2 森林の整備及び保全に関する基本的な事項	14
1 森林の整備及び保全の目標その他森林の整備及び保全に関する基本的な事項	14
(1) 森林の整備及び保全の目標	
(2) 森林の整備及び保全の基本方針	
(3) 計画期間において到達し、かつ、保持すべき森林資源の状態等	
2 その他必要な事項	19
第3 森林の整備に関する事項	20
1 森林の立木竹の伐採に関する事項（間伐に関する事項を除く。）	20
(1) 立木の伐採（主伐）の標準的な方法に関する指針	
(2) 立木の標準伐期齢に関する指針	
(3) その他必要な事項	
2 造林に関する事項	23
(1) 人工造林に関する指針	
(2) 天然更新に関する指針	
(3) 植栽によらなければ適確な更新が困難な森林に関する指針	
(4) その他必要な事項	
3 間伐及び保育に関する事項	27
(1) 間伐を実施すべき標準的な林齢及び間伐の標準的な方法に関する指針	
(2) 保育の標準的な方法に関する指針	
(3) その他必要な事項	
4 公益的機能別施業森林等の整備に関する事項	30
(1) 公益的機能別施業森林の区域の基準及び当該区域内における施業の方法に関する指針	
(2) 木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林の区域の基準及び当該区域内における施業の方法に関する指針	
(3) その他必要な事項	
5 林道等の開設その他林産物の搬出に関する事項	34
(1) 林道等の開設及び改良に関する基本的な考え方	
(2) 効率的な森林施業を推進するための路網密度の水準及び作業システムの基本的な考え方	
(3) 路網整備と併せて効率的な森林施業を推進する区域（路網整備等推進区域）の基本的な考え方	

(4) 路網の規格・構造についての基本的な考え方	
(5) 林産物の搬出方法等	
(6) その他必要な事項	
6 委託を受けて行う森林の施業又は経営の実施、森林施業の共同化その他森林施業の合理化に関する事項	38
(1) 森林の経営の受委託等による森林の経営の規模の拡大及び森林施業の共同化に関する方針	
(2) 森林経営管理制度の活用の促進に関する方針	
(3) 林業に従事する者の養成及び確保に関する方針	
(4) 作業システムの高度化に資する林業機械の導入の促進に関する方針	
(5) 林産物の利用の促進のための施設の整備に関する方針	
(6) その他必要な事項	
第4 森林の保全に関する事項	41
1 森林の土地の保全に関する事項	41
(1) 樹根及び表土の保全その他森林の土地の保全に特に留意すべき森林の地区	
(2) 森林の土地の保全のため林産物の搬出方法を特定する必要のある森林及びその搬出方法	
(3) 土地の形質の変更に当たって留意すべき事項	
(4) その他必要な事項	
2 保安施設に関する事項	48
(1) 保安林の整備に関する方針	
(2) 保安施設地区の指定に関する方針	
(3) 治山事業の実施に関する方針	
(4) 特定保安林の整備に関する事項	
(5) その他必要な事項	
3 鳥獣害の防止に関する事項	49
(1) 鳥獣害防止森林区域の基準及び当該区域内における鳥獣害の防止の方法に関する方針	
(2) その他必要な事項	
4 森林病害虫の駆除及び予防その他の森林の保護に関する事項	50
(1) 森林病害虫等の被害対策の方針	
(2) 鳥獣害対策の方針（3に掲げる事項を除く。）	
(3) 林野火災の予防の方針	
(4) その他必要な事項	

第5 保健機能森林の区域の基準その他保健機能森林の整備に関する事項	51
1 保健機能森林の区域の基準	51
2 その他保健機能森林の整備に関する事項	52
(1) 保健機能森林の区域内の森林における施業の方法に関する指針	
(2) 保健機能森林の区域内における森林保健施設の整備に関する指針	
(3) その他必要な事項	
第6 計画量等	54
1 間伐立木材積その他の伐採立木材積	54
2 人工造林及び天然更新別の造林面積	55
3 間伐面積	56
4 林道の開設及び拡張に関する計画	57
5 保安林の整備及び治山事業に関する計画	62
(1) 保安林として管理すべき森林の種類別面積等	
(2) 保安施設地区として指定することを相当とする土地の所在及び面積等	
(3) 実施すべき治山事業の数量	
6 要整備森林の所在及び面積並びに要整備森林について実施すべき森林施業の方法及び時期	68
第7 その他必要な事項	69
1 保安林その他制限林の施業方法	69
2 その他必要な事項	86
(1) 森林関連情報の収集・精度向上の推進	
(2) 林地保全等に配慮した森林施業に関する取組の促進	

I 計画の大綱

1 森林計画区の概要

(1) 位置、地形

本計画区は、県の北東部に位置し、青森県と隣接する県北沿岸から東部中央部に及ぶ2市3町3村を包括する地域である。

久慈・閑伊川森林計画区の行政区域

単位 面積：ha

行政区域		区域面積	
管轄県行政機関	市町村	小計	計
県北広域振興局	久慈市、洋野町、野田村、普代村	107,688	374,739
沿岸広域振興局	宮古市、山田町、岩泉町、田野畠村	267,051	

資料：令和元年 全国都道府県市区町村別面積調

本計画区の地形は、北上高地の主峰である早池峰山から北側に御大堂山、三巣子岳、安家森、平庭岳等1,000m級の山が連立し、さらに、北部には久慈平岳、階上（種市）岳が連なり、青森県と接している。これらの稜線の東側は次第に標高が低くなり、太平洋に至っている。

一方、太平洋に接する東端部の三陸海岸は、宮古市以北の海岸が隆起海岸で、海岸線は直線状となり、起伏の穏やかな幼年期の地形を呈している。宮古市以南は、沈降によるリアス式の海岸を形成しており、傾斜の急な山腹斜面が直接海に落ち込んでいる。

主な河川としては、北部に有家川、久慈川、中部に安家川、小本川、南部に閑伊川、津軽石川があり、いずれも東流して太平洋に直接注いでいる。

(2) 地質、土壤

地層は、砂岩、石灰岩、粘板岩等からなる古生層であるが、久慈川、安家川下流地帶には第三紀層がみられるとともに、平庭岳付近と洋野町の一部には花崗岩が分布し、宮古市から普代村の丘陵地には古生層に貫入した花崗岩質岩、斑岩、安山岩質岩、流紋岩質岩等の火成岩が分布している。また、宮古市以北の海成段丘面の地層は、波食作用による海浜堆積で覆われた海浜段丘堆積層である。

主な土壤は、褐色森林土と黒色土である。褐色森林土は主として古生層山地に分布し、黒色土は起伏量の少ない花崗岩山地や丘陵地、海成段丘に広く分布している。

(3) 気候

本県の気候は、緯度、経度、地形、海岸からの距離、海拔高度の違いによる各季節の気温、乾湿の変化から、三陸海岸、北上高地、内陸平野、西部山沿いの4つの気候地帯に区分されている。

本計画区は、その所在位置から三陸海岸の気候地帯に属している。この気候地帯は、同緯度、同標高の内陸部に比べ、冬の気温が1~2°C高く、逆に夏は2~3°C低くなる。

冬季の主風である北西季節風により、たびたびフェーン現象が発生し、強風と空気の乾燥した状態が続くため、冬から春にかけては林野火災の発生しやすい危険な気象状態となる。また、春先に太平洋岸を北上してくる低気圧の接近通過に伴う湿雪により、時には造林木に多くの被害を及ぼすことがある。

(4) 社会経済的背景

ア 土地利用の現況

本計画区の総面積は県土の24.5%にあたる37万4,739haで、土地の種類別の割合は、森林89%（民有林72%、国有林28%）、水田1%、畑3%、宅地1%である。

イ 人口の動態

本計画区の令和2年における人口は13万1,599人で、世帯数は6万1,110世帯となっており、平成27年に比べ人口は9.3%減少し、世帯数は2.0%減少している。

ウ 地域産業の概要

本計画区の平成27年における就業人口は6万9,189人で、産業別の割合は、第1次産業12%、第2次産業29%、第3次産業59%と、第3次産業の占める割合が高く、平成22年と比べると、第1次産業で8.1ポイント減少、第2次産業で3.7ポイント増加、第3次産業で4.2ポイント増加している。

また、平成30年度の純生産額は5,574億円である。これは県全体の12%を占めている。

(5) 森林・林業の概況

本計画区の民有林面積は約24万1千haで民有林全体の31%を占め、蓄積は4,982万m³で本県民有林の26%を占めている。

なお、基準年次（平成28年度～令和2年度）間の林地の異動状況については、計画対象森林以外への造林による増加と林地の開発等により、354haの減少となっている。

本計画区の令和2年度における民有林の現況は、次のとおりである。

ア 針葉樹、広葉樹別の割合については、立木地面積（約23万1千ha）が針葉樹38%、広葉樹62%で広葉樹の割合が高く、蓄積（4,982万m³）が針葉樹55%、広葉樹45%で針葉樹の割合が高くなっている。

また、人工林率は34%で、県全体の42%を下回っている。

イ 針葉樹の樹種別割合は、面積（約8万8千ha）でスギ25%、アカマツ57%、カラマツ17%、蓄積（2,733万m³）でスギ31%、アカマツ56%、カラマツ13%となっており、面積、蓄積ともにアカマツの割合が高くなっている。

ウ 所有形態別面積は私有林が19万6千haで、所有形態別の割合の82%を占め、次いで県有林13%、市町村有林6%となっている。

エ 林道等基幹路網の整備状況については、令和2年度末までに総延長で1,129kmが開設され、林道密度は4.7m/haで、県平均密度5.8m/haを下回っている。

また、林内道路延長は3,439kmとなっており、林内道路密度は14.3m/haで、県平均密度16.7m/haを下回っている。

オ 令和元年次の素材生産量（推定値）は約35万m³で県全体の23%となっており、針葉樹、広葉樹別では、針葉樹が約24万5千m³、広葉樹が約10万3千m³となっている。

カ 素材生産から加工・流通に至る体制については、木材市場や、製材、集成材、合板等の木材流通・加工施設が整備されており、川上から川中の連携の下、木材供給が行われている。

キ 令和2年次の乾しいたけ生産量は83t、生しいたけ生産量は原木19t、菌床3,254t、合計3,274tとなっており、特に、乾しいたけの生産量は県全体の69.7%、菌床生しいたけの生産量は県全体の69.2%を占めている。

また、わさびの生産も盛んであり、令和2次の根わさびの生産量は12t、葉わさびの生産量は287tで、合計299tとなっており、県全体の82.1%を占めている。

ク ナラ枯れ被害は、平成28年に宮古市及び山田町で被害が確認されて以降、被害量が拡大傾向にあり、令和2年度は久慈市が被害の北限となっており、洋野町を除く計画区内の7市町村で発生した被害量は2,459m³で、県全体の49%を占めている。

(6) 震災からの復旧・復興に向けた取組

平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波により、森林・林業関係においては、合板工場等の木材加工施設や治山海岸施設の防潮堤などが被災したことから、施設の復旧に取り組み、木材加工施設は平成26年度末に、防潮堤の復旧は平成30年6月に全て完了している。

2 前計画の実行結果の概要及びその評価

(1) 実行結果

本計画区の前計画（平成 29 年度～令和 8 年度）における前半 5 か年分（平成 29 年度～令和 3 年度）の主な計画の実行結果については以下のとおりとなっている。

計画事項	区分	前計画	実行	実行率
伐採	主伐材積	1,584 千m ³	1,298 千m ³	82 %
	間伐材積	740 千m ³	354 千m ³	48 %
	計	2,324 千m ³	1,651 千m ³	71 %
造林	人工造林面積	1,670 ha	807 ha	48 %
	天然更新面積	7,750 ha	8,116 ha	105 %
	計	9,420 ha	8,923 ha	95 %
間伐	間伐面積	13,240 ha	4,809 ha	36 %
林道開設	開設延長	63,000 m	7,698 m	12 %
	拡張延長	26,230 m	178 m	1 %
	計	89,230 m	7,876 m	9 %
保安林	指定面積	583 ha	178 ha	31 %
	解除面積	8 ha	9 ha	113 %
治山事業	施行地区数	36 地区	36 地区	100 %

注 主伐の実行量は、平成 29 年次～令和元年次の実績に令和 2 年次～令和 3 年次の見込み量を加えたもの。

その他の実行量は、平成 29 年度～令和 2 年度の実績に令和 3 年度の見込み量を加えたもの。

単位未満を四捨五入しているため、区分の合計と計が一致しない場合がある。

(2) 評価

伐採材積について、伐期を迎えたアカマツや広葉樹等を中心に伐採が進み、主伐材積は計画の 82% となったもの、間伐材積は計画の 48% の実行率となり、総量では計画の 71% の実行率となっている。

造林については、森林所有者の経営意欲の減退等から、人工造林面積の実行率は、計画量の 48% となっており、天然更新面積では計画量を 5 % 上回っている。

間伐については、県が策定した「特定間伐等及び特定母樹の増殖の実施の促進に関する基本方針」において間伐目標面積を設定し、目標達成に向けて取り組んでいる。本計画区では、台風や豪雨による作業道の被災や、災害復旧等他の事業に労務が優先されるなどの影響により、計画の 36% の実行率となっている。

林道について、社会経済情勢による公共事業予算の削減や、地域との調整に時間を要したことなどから、計画の 9 % の実行率となっている。

保安林の指定については、公益的機能の発揮が特に必要な森林について、保安林指定を推進し、計画面積の達成に向けて取り組んでいるが、森林所有者の理解が得られないなどの理由により、計画の 31% の実行率となっている。

治山事業については、県が策定した治山事業四箇年実施計画（第3期：令和元年度～令和4年度）に基づき取組を進めており、計画とおりの実行量となっている。

3 計画樹立に当たっての基本的な考え方

森林に対する県民の要請は、木材等の林産物の供給や水源の涵養^{かんよう}、県土の保全、保健・文化・教育的利用の場の提供、良好な生活環境を保全する機能の発揮に加え、地球温暖化の防止や生物多様性の保全など多様化している。

本計画樹立に当たっての基本的な考え方とは、令和3年6月に閣議決定された、森林・林業基本計画及び令和3年6月に変更が閣議決定された全国森林計画に基づくとともに、本県森林の持続的な森林経営を促進する観点から次のとおりとする。

なお、この実行に当たっては、森林所有者、林業・木材業者、森林組合等はもとより、県民一人ひとりが受益者としての立場で、森林の育成に向けた主体的な取組を行うことが必要である。

(1) 計画策定の基本方針

ア 森林資源の循環利用

将来にわたり木材の安定的な供給を確保し、質的な資源の充実を図るため、保育・間伐等の森林整備を実施する。また、近年の木材需要に対応して伐採された跡地については、再造林等により確実な更新を図り、森林資源の循環利用を促進する。



イ 公益的機能に配慮した多様な森林整備

森林の有する公益的機能が十分発揮されるよう、保育・間伐等の森林整備のほか、長伐期施業の導入、針広混交林や広葉樹林への誘導など多様な森林整備を促進する。



ウ 森林環境の保全の推進

県民の安全で安心な暮らしと豊かな環境づくりのため、森林の有する水源の涵養^{かんよう}、山地災害防止等の公益的機能を高度に発揮する森林について、計画的な保安林指定と保安施設事業を推進する。

また、自然環境や景観を維持する必要がある森林については、環境に与える影響に配慮した施業を行い、森林環境の保全に努める。

エ 林道等路網の整備

林道等路網整備の推進に当たっては、計画的な森林施業の実施と林産物の円滑な搬出等のため、効率的な路網配置やコストの縮減を図るとともに、自然環境の保全や景観との調和にも十分配慮する。

また、木材の搬出や多様な森林への誘導等に必要な森林施業を効果的かつ効率的に実施するため、作業を行う林業機械や、傾斜に応じて林道（林業専用道を含む）及び森林作業道を適切に組み合わせた整備を促進する。



オ 森林施業の合理化及び林業の担い手育成

効率的かつ安定的な森林経営を図るため、森林経営計画作成への助言・指導や林内路網整備、高性能林業機械の導入などにより、低コストで効率的な作業システムの構築を促進するとともに、これを担う林業経営体の育成を進める。

(2) 施業方法別の森林整備

ア 育成単層林

地形、土壌条件、植生等の自然条件から見て、高い林地生産力が期待される森林等に対して、林業機械の導入や路網整備等の基盤強化を通じ、健全な森林の維持造成や持続的な木材の安定供給を図るため、伐採後の植栽や保育・間伐等の作業を積極的に実施する。



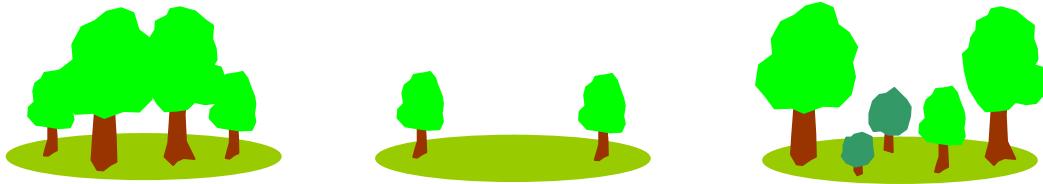
イ 育成複層林

公益的機能の発揮に対する要請が高い森林や、成長量が低い森林等において、林木を帯状若しくは群状又は単木で伐採し、一定の範囲又は同一空間において複数の樹冠層を構成するよう、自然環境に配慮した森林の形成を図る。



ウ 天然生林

主として天然力の活用により多様で健全な森林を育成し、その中で公益的機能や木材生産機能等の発揮を図る。



(3) 目標設定の考え方

この計画の策定に当たっては、上記の基本的な考え方方に沿って、森林に対する県民の多種多様なニーズに応えながら、全国森林計画に即し、他の計画区との調整を図り、森林整備や保全の目標、立木竹の伐採、造林、間伐、林道の開設等に関する事項を明らかにする。

なお、市町村においては、市町村森林整備計画の策定に当たり、本計画を指針として関係諸施策の実施状況を考慮し、森林施業の効果的な実行の確保が図られるよう配慮するものとする。

4 主な計画量の概要

本計画区における計画期間（令和4年度～令和13年度）の主な計画量については、全国森林計画で定める計画量に即し、次のとおりとする。

(1) 間伐立木材積その他の伐採立木材積

主伐及び間伐に関する伐採立木材積については、全国森林計画に即して以下のとおりとし、人工林が本格的な利用期を迎える中、森林の公益的機能の発揮と木材生産を両立させる森林経営の確立を目指すこととする。

また、長伐期化や針広混交林化を積極的に促進し、伐採方法については、皆伐から間伐・択伐への移行に努めることとする。

単位 材積：1,000 m³

区分	主 伐			間 伐
	針葉樹	広葉樹	計	針葉樹
前期 (R4-R8)	930	654	1,584	800
後期 (R9-R13)	940	672	1,612	900
計 (R4-R13)	1,870	1,326	3,196	1,700

(2) 造林・間伐面積

造林については、全国森林計画に即して以下のとおりとし、伐採後は、人工造林又は天然更新によって速やか、かつ、適確な更新を図り造林未済地の発生を抑制する。

また、間伐については、利用間伐を促進する。

単位 面積：ha

区分	造 林			間 伐
	人工造林	天然更新	計	針葉樹
前期 (R4-R8)	1,800	7,750	9,550	13,240
後期 (R9-R13)	2,200	7,898	10,098	15,030
計 (R4-R13)	4,000	15,648	19,648	28,270

(3) 林道の開設及び拡張

林道の開設及び拡張については、効率的な森林施業及び森林の適切な管理に必要な林道を計画的に整備する。

単位 延長：m

区分	開 設		拡 張	
	路線数	延 長	路線数	延 長
前期 (R4-R8)	31	82,820	40	109,570
後期 (R9-R13)	21	57,940	24	29,940
計 (R4-R13)	52	140,760	64	139,510

(4) 保安林の指定又は解除

保安林の指定については、保安林配備の現状を踏まえ、水源涵養等森林の有する公益的機能の確保のため、必要のある森林について計画的に保安林を指定する。

単位 面積 : ha

区分	指定面積	解除面積	期末面積
前期 (R4-R8)	1,917	11	34,138
後期 (R9-R13)	1,893	9	36,022
計 (R4-R13)	3,810	20	

注 指定面積については、重複して指定する保安林面積の累計であること。

(5) 治山事業

治山事業の施行地については、災害に強い地域づくりや豊かな環境づくりのため、荒廃地や機能の低下した保安林を対象として、計画的に整備する。

単位 地区

区分	保安林 整備	山地 治山	地すべり	計
前期 (R4-R8)	1	19	-	20
後期 (R9-R13)	-	17	-	17
計 (R4-R13)	1	36	-	37

5 本計画区内の特徴的な取組事例（トピック）

（1）新規就業者の確保・育成の取組

久慈地方「木の仕事」協議会は、林業や木材産業の新規就業者の確保・育成を地域全体で取り組むことを目的に、平成29年3月に設立されました。

協議会では、久慈東高等学校の生徒を対象とした林業の現場作業の体験講座を毎年開催しており、参加した生徒へのアンケート結果を実施したところ、体験講座に対する高い満足度と林業や木材産業に対する就業意識の高まりが伺える結果となっています。

また、これまでの活動が評価され、令和2年度いわて農林水産躍進大会において、活力とうるおいにあふれた「むらづくり」賞を受賞しました。



伐採現場でのフォワーダの体験



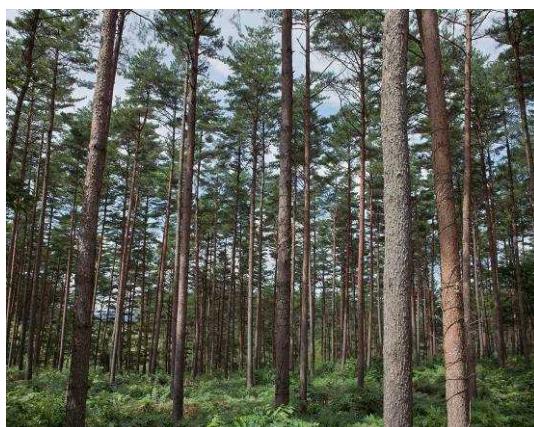
製材工場でのフォークリフトの体験

（2）アカマツ材の新たな需要の創出

平成4年に旧川井村の第3セクターとして地域木材の有効活用を目的に設立された（株）ウッティかわいでは、平成10年からカラマツ集成材の防腐土台を製造しています。

近年、カラマツ丸太の価格高騰により素材の安定的な確保が課題となっていることから、地域に豊富なアカマツ資源の活用を開始しました。

アカマツの特徴である輪生節の影響を受けにくい防腐土台用集成材の製造に取り組み、令和元年度に国土交通大臣認定、令和2年度にはAQ認証を取得しており、アカマツ資源の構造材としての利用が期待されています。



久慈・閉伊川計画区内のアカマツ林



アカマツ集成防腐土台

(3) 原木しいたけの産地再生の取組

東日本大震災津波に伴う原子力発電所事故の影響により、全国でも有数の高品質な原木しいたけの産地であった山田町においても、平成24年に出荷制限が指示されました。県、町及び関係団体では、ホダ場の環境整備の支援や栽培管理の指導を行い、これまでに町内の生産者21名が出荷制限の一部解除を受け、生産を再開しています。

令和3年度の全国の乾しいたけの品評会においては、生産者2名が最高位の農林水産大臣賞を受賞するなど、沿岸の冷涼な気候を生かした高品質な原木乾しいたけの生産に取り組んでいます。



原木しいたけ



農林水産大臣賞を受賞した乾しいたけ

(4) 岩泉町のまつたけ山再生の取組

全国有数のまつたけ産地である岩泉町では、いわての森林づくり県民税事業を活用し、県内外からのボランティアで結成された「岩泉まつたけ山づくり協力隊」によるアカマツ林の除伐作業や落ち葉搔きなどの整備を行っています。

このような環境整備の取組によりまつたけ山が再生し、まつたけを通じた交流人口の拡大や地域の活性化につながることが期待されます。



岩泉まつたけ山づくり協力隊



岩泉まつたけ山づくり協力隊によるアカマツ林整備

II 計画事項

第1 計画の対象とする森林の区域

市町村別面積

単位 面積 : ha

区分	面積	備考
総数	240,625	
市町村別内訳	久慈市	42,166
	洋野町	22,330
	野田村	5,023
	普代村	5,697
	宮古市	82,379
	山田町	9,933
	岩泉町	61,299
	田野畠村	11,799

注1 地域森林計画の対象とする地域は、森林計画図において表示する区域内の民有林とする。

- 2 本計画の対象森林は、森林法第10条の2第1項の開発行為の許可（保安林及び保安施設地区の区域内の森林並びに海岸法第3条の規定により指定された海岸保全区域内の森林を除く）、森林法第10条の7の2第1項の森林の土地の所有者になった旨の届出及び森林法第10条の8第1項の伐採及び伐採後の造林の届出（保安林及び保安施設地区の区域内の森林を除く）の対象となる。
- 3 森林計画図の縦覧場所は、岩手県農林水産部森林整備課、県北広域振興局林務部、沿岸広域振興局宮古農林振興センター林務室、岩泉林務出張所及び関係市町村とする。
- 4 単位未満を四捨五入しているため、市町村別内訳の合計と総数が一致しない場合がある。

第2 森林の整備及び保全に関する基本的な事項

1 森林の整備及び保全の目標その他森林の整備及び保全に関する基本的な事項

(1) 森林の整備及び保全の目標

森林の主な機能と各機能に応じた森林の望ましい姿は、以下のとおりである。

機能の区分	森林の望ましい姿	イメージ
水源涵養機能 かんよう	下層植生とともに樹木の根が発達することにより、水を蓄える隙間に富んだ浸透・保水能力の高い森林土壌を有する森林であって、必要に応じて浸透を促進する施設が整備されている森林	
山地災害防止機能／ 土壤保全機能	下層植生が生育するための空間が確保され、適度な光が射し込み、下層植生とともに樹木の根が深く広く発達し土壌を保持する能力に優れた森林であって、必要に応じて山地災害を防ぐ治山施設が整備されている森林	
快適環境形成機能	樹高が高く枝葉が多く茂っているなど遮蔽能力や汚染物質の吸着能力が高く、諸被害に対する抵抗性が高い森林	
保健・レクリエーション機能	身近な自然・自然とのふれあいの場として適切に管理され、多様な樹種等からなり、住民等に憩いと学びの場を提供している森林であって、必要に応じて保健・教育活動に適した施設が整備されている森林	
文化機能	史跡・名勝等と一体となって潤いのある自然景観や歴史的風致を構成している森林であって、必要に応じて文化活動に適した施設が整備されているなど、精神的・文化的・知的向上等を促す場としての森林	

機能の区分	森林の望ましい姿	イメージ
生物多様性保全機能	全ての森林が發揮するものであるが、属地的に機能が發揮されるものを示せば、原生的な森林生態系、希少な生物が生育・生息する森林、陸域・水域にまたがり特有の生物が生育・生息する溪畔林等、その土地固有の生物群集を構成する森林	
木材等生産機能	林木の生育に適した土壤を有し、木材として利用する上で有用な樹木により構成され、成長量が大きい森林であって、林道等の基盤施設が適切に整備されている森林	

(2) 森林の整備及び保全の基本方針

森林の整備及び保全に当たっては、森林の有する多面的機能を総合的かつ高度に發揮させるため、7つの機能（水源涵養機能、山地災害防止機能／土壤保全機能、快適環境形成機能、保健・レクリエーション機能、文化機能、生物多様性保全機能、木材等生産機能）を基礎的な指標とする。また、それぞれの森林が有する機能に応じて、適切な森林施業の実施、林道等の路網の整備、委託を受けて行う森林施業や経営の実施、保安林制度の適切な運用、山地災害の防止、森林病害虫や野生鳥獣による被害対策などの森林の保護等に関する取組を推進する。

森林の有する機能ごとの森林整備及び保全の基本方針については、次のとおりとする。

機能の区分	森林整備及び保全の基本方針
水源涵養機能	<p>ダム集水区域や主要な河川の上流に位置する森林及び地域の用水源として重要なため池、湧水地、溪流等の周辺に存する森林については、水源涵養機能の維持増進を図る森林として整備及び保全を推進する。</p> <p>具体的には、洪水の緩和や良質な水の安定供給を確保する観点から、適切な保育・間伐を促進しつつ、下層植生や樹木の根を発達させる施業を推進するとともに、伐採に伴って発生する裸地については、縮小及び分散を図る。また、自然条件や県民のニーズ等に応じ、奥地水源林等の人工林における針広混交の育成複層林化など天然力も活用した施業を推進する。</p> <p>ダム等の利水施設上流部等において、水源涵養の機能が十全に發揮されるよう、保安林の指定やその適切な管理を推進することを基本とする。</p>
山地災害防止機能／土壤保全機能	<p>山腹崩壊等により人命・人家等施設に被害を及ぼすおそれがある森林など、土砂の流出・崩壊その他山地災害の防備を図る必要のある森林は、山地災害防止機能／土壤保全機能の維持増進を図る森林として整備及び保全を推進する。</p> <p>具体的には、災害に強い県土を形成する観点から、地形、地質等の条件を考慮した上で、林床の裸地化の縮小及び回避を図る施業を推進する。また、自然条件や県民のニーズ等に応じ、天然力も活用した施業を推進する。</p> <p>集落等に近接する山地災害の発生の危険性が高い地域等において、土砂の流出防備等の機能が十全に發揮されるよう、保安林の指定やその適切な管理を推進するとともに、溪岸の侵食防止や山脚の固定等を図る必要がある場合には、谷止や土留等の施設の設置を推進することを基本とする。</p>

機能の区分	森林整備及び保全の基本方針
快適環境形成機能	<p>県民の日常生活に密接な関わりを持つ里山林等であって、騒音や粉塵等の影響を緩和する森林及び森林の所在する位置、気象条件からみて風害、霧害等の気象災害等を防止する効果が高い森林については、快適環境形成機能の維持増進を図る森林として整備及び保全を推進する。</p> <p>具体的には、地域の快適な生活環境を保全する観点から、風や騒音等の防備や大気の浄化のために有効な森林の構成の維持を基本とし、樹種の多様性を増進する施業や適切な保育・間伐等を推進する。</p> <p>快適な環境の保全のための保安林の指定やその適切な管理、防風、防潮等に重要な役割を果たしている海岸林等の保全を推進する。</p>
保健・レクリエーション機能	<p>観光的に魅力ある高原、渓谷等の自然景観や植物群落を有する森林、キャンプ場や森林公園等の施設を伴う森林など、県民の保健・教育的利用等に適した森林については、保健・レクリエーション機能の維持増進を図る森林として整備及び保全を推進する。</p> <p>具体的には、県民に憩いと学びの場を提供する観点から、自然条件や県民のニーズ等に応じ広葉樹の導入を図るなどの多様な森林整備を推進する。</p> <p>また、保健等のための保安林の指定やその適切な管理を推進する。</p>
文化機能	<p>史跡、名勝等の所在する森林や、これらと一体となり優れた自然景観等を形成する森林については、潤いある自然景観や歴史的風致を構成する観点から、文化機能の維持増進を図る森林として整備及び保全を推進する。</p> <p>具体的には、美的景観の維持・形成に配慮した森林整備を推進することとする。</p> <p>また、風致の保存のための保安林の指定やその適切な管理を推進する。</p>

機能の区分	森林整備及び保全の基本方針
生物多様性保全機能	<p>全ての森林は、多様な生物の生育・生息の場として生物多様性の保全に寄与している。</p> <p>このことを踏まえ、森林生態系の不確実性を踏まえた順応的管理の考え方に基づき、時間軸を通して適度な攪乱により常に変化しながらも、一定の広がりにおいてその土地固有の自然条件等に適した様々な生育段階や樹種から構成される森林がバランス良く配置されていることを目指す。</p> <p>とりわけ、原生的な森林生態系、希少な生物が生育・生息する森林、陸域・水域にまたがり特有の生物が生育・生息する溪畔林などの属地的に機能の発揮が求められる森林については、生物多様性保全機能の維持増進を図る森林として保全する。</p> <p>また、野生生物のための回廊の確保にも配慮した、適切な保全を推進する。</p>
木材等生産機能	<p>林木の生育に適した森林で、効率的な森林施業が可能な森林については、木材等生産機能の維持増進を図る森林として整備を推進する。</p> <p>具体的には、木材等の林産物を持続的、安定的かつ効率的に供給する観点から、森林の健全性を確保し、木材需要に応じた樹種、径級の林木を生育させるための適切な造林、保育、間伐等を推進することを基本として、将来にわたり育成单層林として維持する森林では、主伐後の植栽による確実な更新を行う。この場合、施業の集約化や機械化を通じた効率的な整備を推進することを基本とする。</p>

(3) 計画期間において到達し、かつ、保持すべき森林資源の状態等

森林の有する多面的機能の発揮に向けて、(2)の森林整備及び保全の基本方針を踏まえ、以下のとおり誘導する。

○計画期間において到達し、かつ、保持すべき森林資源の状態

単位 面積：ha 蓄積：m³／ha

区分		現況	計画期末
面積	育成単層林	88,401	86,399
	育成複層林	5,940	18,496
	天然生林	146,284	135,730
森林蓄積		207	205

注 1 育成単層林

森林を構成する林木を皆伐により伐採し、单一の樹冠層を構成する森林として人為により成立させ維持される森林

2 育成複層林

森林を構成する林木を帶状若しくは群状又は単木で伐採し、一定の範囲又は同一空間において複数の樹冠層を構成する森林として人為により成立させ維持される森林

3 天然生林

主として自然に散布された種子等により成立し、維持される森林

2 その他必要な事項

県及び市町村は、十分な連携のもと、発揮を期待する機能が高度に発揮されるよう、一体的な森林の整備及び保全に努める。

第3 森林の整備に関する事項

1 森林の立木竹の伐採に関する事項（間伐に関する事項を除く。）

森林施業を実施するに当たっては、第2に定める「森林の整備及び保全に関する基本的な事項」及び第6の1の伐採立木材積を踏まえ、次に掲げる事項によるものとする。

（1）立木の伐採（主伐）の標準的な方法に関する指針

市町村森林整備計画において立木の伐採（主伐）を行う際の規範として定められる「立木の伐採（主伐）の標準的な方法」についての指針は次のとおりとする。

なお、主伐に際しては以下の方法に加え、「主伐時における伐採・搬出指針の制定について」（令和3年3月16日付け2林整整第1157号林野庁長官通知）を踏まえた方法とする。

ア 森林を伐採する際には、森林の多面的機能の維持増進を図るため1か所当たりの伐採面積を現地の地形等状況に応じた面積とともに、伐採箇所の分散、帯状や群状といった伐採方法の多様化、伐期の長期化を図るほか、伐採後の確実な更新を確保するものとする。

伐採跡地間には、少なくとも周辺森林の成木の樹高程度の幅を確保することとし、また、保護樹帯を積極的に設置することにより、寒風害等の諸被害の防止及び風致の維持等を図るものとする。

伐採作業に伴う林業機械の走行等に必要な集材路の作設等に当たっては、伐採する区域の地形や地質等を十分に確認した上で配置の計画や施工等を行い、森林の更新及び森林の土地の保全への影響を極力抑えるものとする。

イ 伐採後に発生する不要な端材や枝条は林地に還元することを基本とするが、大雨の際に下流に被害を与えるおそれがあることから、渓流敷においては渓岸の侵食高、植生の生育範囲等から推定される最大水位高からさらに2m程度の余裕高をもって渓流敷外へ搬出する。

ウ 皆伐については、主伐のうち択伐以外のものとし、伐採跡地が連続することがないよう適切な伐採区域の形状、1か所当たりの伐採面積の規模及び伐採区域のモザイク的配置に配慮することとする。

人工林の皆伐に当たっては、資源の保続、齢級構成の平準化に向けて再造林等が確実と見込まれる場所で行うものとする。

天然林の皆伐に当たっては、気候等の自然条件、一般的な林業技術及び所有者の森林経営状況からみて、伐採後に人工林の造成が確実な森林、または天然下種更新やぼう芽による更新が確実と見込まれる森林で行うこととする。また、伐採後の更新を天然下種更新とする場合には、更新を確保するため、伐区の形状、母樹の保存等について配慮する。ぼう芽更新の場合には、優良なぼう芽を発生させるため、できるだけ11月から3月の間に伐採するものとする。

工 拝伐については、主伐のうち、伐採区域の森林を構成する立木の一部を伐採する方法であって、単木・帯状又は樹群を単位として、伐採区域全体ではおおむね均等な割合で行うこととし、材積に係る伐採率を30%以下（伐採後の造林が人工造林による場合にあっては40%以下）とする。

拜伐に当たっては、森林の有する多面的機能の維持増進が図られる適正な林分構造となるよう、一定の立木材積を維持するものとし、適切な伐採率によることとする。

オ 伐採作業方法（施業）別の主伐時期等の目安は、次のとおりとする。

伐採作業の方法		樹種	主伐時期の目安(年)	伐区の設定方法等
拜伐	単木拜伐作業	スギ	90以上	伐採率は30%以下
		アカマツ	80以上	
		カラマツ	70以上	
		有用広葉樹	100以上	
	群状拜伐作業	スギ	90以上	1伐区20m×20mで4箇所/ha程度以内
		アカマツ	80以上	
		カラマツ	70以上	
皆伐	長伐期作業	スギ	90以上	伐採幅は高木の樹高程度以内
		アカマツ	80以上	
		カラマツ	70以上	
		ケヤキその他	100以上	
		有用広葉樹		
	短・中伐期作業	スギ	50～65	伐区の大きさは、土砂の崩壊、流出に伴い下流域に被害を及ぼすおそれがない程度とする。
		アカマツ	45～60	
		カラマツ	40～55	
		ナラ類	25～30	

カ 森林の生物多様性の保全の観点から、施業の実施に当たっては、野生生物の営巣、餌場、隠れ場として重要な空洞木や枯損木、目的樹種以外の樹種であっても目的樹種の成長を妨げないものについては、保残に努めることとする。

(2) 立木の標準伐期齢に関する指針

市町村森林整備計画において定められる「樹種別の立木の標準伐期齢」についての指針は、主要樹種ごとに平均成長量が最大となる林齢を基準に、森林の有する公益的機能、平均伐採林齢及び森林の構成を勘案して次のとおりとする。

なお、「標準伐期齢」は市町村森林整備計画で定められるものであるが、当該林齢に達した森林の伐採を義務付けるものではない。

単位：年

地 区	樹 种					区 分
	ス ギ	アカマツ	カラマツ	その他 針葉樹	広葉樹	
久慈川	45	40	35	45	25	久慈市 洋野町 野田村 普代村
閉伊川	40	40	35	45	25	宮古市 山田町 岩泉町 田野畠村

(3) その他必要な事項

ア 県土の保全や自然環境の保全等の公益的機能を維持増進する必要のある森林については、市町村森林整備計画において伐採の方法を特定し、環境に配慮した伐採を行うよう努めるものとする。

イ 将来の安定した森林資源の保続を目指し、「択伐や利用間伐の促進」、「効率的な施業の促進」を進め、伐採作業の主体を皆伐から択伐・利用間伐への移行を図るものとする。

2 造林に関する事項

(1) 人工造林に関する指針

人工造林については、植栽によらなければ適確な更新が困難な森林や公益的機能の発揮の必要性から植栽を行うことが適当である森林のほか、木材等生産機能の発揮が期待され、将来にわたり育成単層林として維持する森林において行うこととする。

ア 人工造林の対象樹種に関する指針

市町村森林整備計画において人工造林を行う際の規範として定められる「人工造林の対象樹種」についての指針は、森林計画区の自然条件、既往の造林地の生育状況、林産物の需要動向等を勘案のうえ、適地適木を旨として次のとおりとし、苗木の選定に当たっては、特定苗木などの成長に優れた苗木や花粉症対策に資する苗木の増加に努めるものとする。

なお、アカマツの人工造林に当たっては、松くい虫被害抵抗性アカマツ品種を植栽すること。

対象樹種	スギ、アカマツ、カラマツ、造林実績のある有用広葉樹
------	---------------------------

市町村森林整備計画で上記以外の樹種を定める場合には、適地適木を旨とし、林業普及指導員等の指導を受けて定めるものとする。

また、森林所有者等が市町村森林整備計画に定める樹種以外の造林を行おうとする場合には、林業普及指導員等の指導を受けることとする。

イ 人工造林の標準的な方法に関する指針

市町村森林整備計画において人工造林を行う際の規範として定められる「人工造林の標準的な方法」についての指針は、次のとおりとする。

(ア) 人工造林の植栽本数

a 皆伐後の植栽本数

主要樹種の植栽本数については、次の植栽本数を標準とし、自然条件や既往の植栽本数等を勘案して定めるものとする。

なお、植栽に当たっては、施業体系や生産目標の多様化を考慮し、現地の状況に応じた柔軟な植栽本数の選択について配慮することとする。

樹種	スギ	アカマツ	カラマツ
	3,000 本/ha	4,000 本/ha	2,500 本/ha
植栽本数	$\begin{cases} \text{疎～密} \\ 1,000\sim4,000 \text{ 本/ha} \end{cases}$	$\begin{cases} \text{疎～密} \\ 2,800\sim5,000 \text{ 本/ha} \end{cases}$	$\begin{cases} \text{疎～密} \\ 1,000\sim3,000 \text{ 本/ha} \end{cases}$

市町村森林整備計画で上記の範囲を超えて標準植栽本数を定める場合には、確

実な更新が図られるよう、林業普及指導員等の指導を受けて定めるものとする。

また、森林所有者等が市町村森林整備計画に定める標準的植栽本数の範囲をこえて植栽しようとする場合には、林業普及指導員等の指導を受けることとする。

b 非皆伐後の植栽本数

複層林化や混交林化を図る森林では、疎仕立ての本数に下層木以外の立木の伐採率（樹冠占有面積又は材積による率）を乗じた本数以上の植栽本数となるように配慮する。

(イ) 人工造林の標準的な方法の指針

a 地拵えの方法

全面地拵え、筋地拵え、坪地拵えの方法の中から、支障となる植生の状況、地形、気象等の自然条件、対象物の量、更新の目的等に応じ最も適切なものを選定し行うこととする。

なお、地拵えの際に、渓流敷内に林地残材・枝条等を放置しないよう留意するとともに、大雨で流されないよう杭木により固定することとする。

b 植付けの方法

作業対象地の気象条件や土壤条件、苗木の特性・形状に応じ、活着及び植栽後の生育に最も有効とされる方法で適期に行うこととする。

c 低コスト造林の導入

伐採と造林の一貫作業システムの導入に努めるとともに、植栽に当たっては低密度の植栽やコンテナ苗の活用等、造林コストの低減に努めるものとする。

ウ 伐採跡地の人工造林をすべき期間に関する指針

市町村森林整備計画において人工造林を行う際の規範として定められる「伐採跡地の人工造林をすべき期間」についての指針は、公益的機能の維持のため森林の早期回復を旨として次のとおりとする。

なお、植栽によらなければ適確な更新が困難な森林においては、人工造林によるものとする。

伐採の方法	伐採跡地の人工造林をすべき期間
皆 伐	伐採が終了した日を含む年度の翌年度の初日から起算して2年以内
択 伐	伐採が終了した日を含む年度の翌年度の初日から起算して5年以内

(2) 天然更新に関する指針

天然更新は、前生稚樹の生育状況、母樹の存在などの対象森林の現況、気候、地形、土壤等の自然条件、林業技術体系等からみて、主として天然力の活用により適確な更新が図られる森林において行うものとする。

なお、天然更新の対象樹種や標準的な方法等、市町村森林整備計画において天然更新を行う際の規範として定められる「天然更新に関する事項」についての指針は、「天然更新完了基準（技術指針）」（平成20年4月23日付け森整第91号）により、次のとおりとする。

ア 天然更新の対象樹種に関する指針

更新対象樹種は、全ての針葉樹、ホオノキ※、クリ※、ナラ類※、カエデ類※、ミズキ※、ハリギリ、サクラ類※、ケヤキ※、クルミ類※、ブナ※等、将来樹冠を形成する樹種（高木性）とする。

※は、ぼう芽更新が期待できる樹種

イ 天然更新の標準的な方法に関する指針

更新の種類は、ぼう芽更新及び天然下種更新とし、更新補助の作業は次のとおりとする。

(ア) ぼう芽更新

根株又は地際部から発生しているぼう芽の優劣が区分できる時期（ぼう芽発生後4～7年目頃）に、一株あたりの仕立て本数2～5本を目安として芽かきを行うこととする。

また、目的樹種のぼう芽の状況や根株の配置等を勘案し、必要に応じて植え込みを行うこととする。

(イ) 天然下種更新

地表処理については、ササや粗腐植の堆積等により天然下種更新が阻害されている箇所において、かき起こし、枝条整理等の作業を行うこととする。

刈出しについては、ササなどの下層植生により天然稚樹の生育が阻害されている箇所について行うこととする。

植込みについては、天然稚樹等の生育状況等を勘案し、天然更新の不十分な箇所に必要な本数を植栽することとする。

ウ 伐採跡地の天然更新をすべき期間に関する指針

森林の有する公益的機能の維持及び早期回復を図るため、「天然更新完了基準（技術指針）」（平成20年4月23日付け森整第91号）に基づき、伐採後おおむね5年を経過した時点で更新状況を確認し、更新完了を判断することとする。

エ 更新完了基準

(ア) 後継樹は、更新対象樹種のうち樹高がおおむね30cm以上の稚樹、伐採時に残置した若齢木、ぼう芽枝等とする。

(イ) 完了した状態は、後継樹の密度がおおむね1haあたり2,000本以上であることとする。

(ウ) 上記(イ)の条件を満たす面積の割合が対象地全体のおおむね6割を下回る場合には、植栽若しくは追加的な更新補助の作業を実施する。

(エ) 上記(イ)の条件を満たす場合であっても、獣害等により健全な生育が期待できないおそれがある場合には、適切な防除方策を実施する。

オ 更新調査の方法

(ア) 更新調査の時期は、伐採後おおむね5年経過時点とする。

(イ) 調査の方法は、原則として標準地調査とする。

ただし、現地が明らかに更新完了基準を満たしていると判断される場合は目視による確認のみで良いこととする。この場合は野帳に現地の写真を添付し、保管する。

- a 1箇所あたりの標準地の大きさは、5 m × 4 mとする。
- b 標準地の数は、天然更新対象地全体が把握できるよう、下記を目安として現地の状況に応じて決定する。

天然更新対象地面積	1 ha 未満	2 箇所以上
	1 ha 以上 5 ha 未満	3 箇所以上
	5 ha 以上	5 箇所以上

C 標準地は、現地の状況を把握するうえで平均的と見られる箇所を選択する。

(3) 植栽によらなければ適確な更新が困難な森林に関する指針

市町村森林整備計画において定められる「植栽によらなければ適確な更新が困難な森林の基準」についての指針は、次のとおりとする。

森林の多面的機能を維持するため主伐後の適確な更新を確保することを旨とし、ぼう芽更新に適した立木や天然下種更新に必要な母樹の賦存状況のほか、天然更新に必要な稚幼樹の生育状況、林床や地表の状況、病虫獣害などの発生状況、当該森林及び近隣の森林における主伐箇所の天然更新の状況並びに森林の有する機能の早期回復に対する社会的要請等を勘案し、天然更新が期待できない森林について定めるものとする。

(4) その他必要な事項

ア 再造林の促進

針葉樹人工林の資源の保続、齢級構成の平準化に向け適地適木を基本としながら再造林を積極的に促進する。

なお、近年需要が高まり、将来の資源の枯渇が懸念されるカラマツについては、造林を奨励し将来資源の確保を図る。

イ 広葉樹資源の持続的利用

製紙用チップやしいたけ、木炭の原木として供給されている広葉樹の天然更新は、適期・適齢の更新を継承するとともに、林地保全等環境に配慮した施業を促進する。

3 間伐及び保育に関する事項

(1) 間伐を実施すべき標準的な林齡及び間伐の標準的な方法に関する指針

市町村森林整備計画において間伐を行う際の規範として定められる「間伐を実施すべき標準的な林齡及び間伐の標準的な方法」についての指針は、森林計画区の標準的な森林の自然条件、既往の間伐の方法等を勘案し、立木の生育促進、森林の健全化及び利用価値の向上を図ることを旨として、時期、回数、方法等を次のとおりとする。

また、高齢級の森林における間伐に当たっては、立木の成長力に留意する。

樹種	間伐の時期の目安	間伐時期(年)					備考
		初回	2回目	3回目	4回目	5回目	
スギ		19	25	33	46		
アカマツ	間伐の実施時期は上層木の隣接する枝葉が重なりはじめて3年以内を目安とする。	17	21	27	36	51	
カラマツ		16	21	29	48		

○ 間伐の方法

間伐の方法は原則として岩手県民有林林分密度管理図を利用することとし、材積間伐率は35%以下、伐採年度の翌年度の初日から起算しておおむね5年後においてその森林の樹冠疎密度が10分の8以上に回復することが確実であると認められる範囲で行うこととする。

(2) 保育の標準的な方法に関する指針

市町村森林整備計画において保育を行う際の規範として定められる「保育の種類別の標準的な方法」についての指針は、立木の生育促進及び森林の健全化を図ることを旨とし、次のとおりとする。

樹種	保育の種類	実施林齢														
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
スギ	下刈	○	○	○	○	○										
	つる切							○				○				
	除伐								○					○		
	枝打ち											○				○
アカマツ	下刈	○	○	○	○	○										
	つる切						○				○					
	除伐							○								○
カラマツ	下刈	○	○	○	○	○										
	つる切						○				○					
	除伐								○							○

○ 保育の考え方

保育作業	考え方
下刈	目的樹種の成長を阻害する草本植物等を除去し、目的樹種の健全な育成を図るために、特に作業の省力化・効率化にも留意しつつ、局地的気象条件、植生の繁茂状況等に応じた適切な時期に、適切な作業方法により行うこととする。 また、その終期は、目的樹種の生育状況、植生の種類及び植生高により判断することとする。
除伐	下刈の終了後、林冠がうつ閉する前の森林において、目的樹種の成長を阻害する樹木等を除去し、目的樹種の健全な成長を図るために、森林の状況に応じて適時適切に行うこととする。 また、目的外樹種であっても、その生育状況や将来の利用価値を勘案し、有用なものは保残し育成することとする。

(3) その他必要な事項

ア 間伐及び保育を行う際には林地の保全に配慮し、必要に応じ林地残材や枝条を集め、渓流敷に放置しないなど、災害の防止に努める。

イ 森林の状況に応じて、高性能林業機械の活用や列状間伐の導入など効率的な施業の実施を図り、利用間伐の定着を図る。

ウ 猛禽類の生息が確認されている地域においては、生息環境の確保のための列状間伐を導入するなど配慮する。

エ 地球温暖化防止や循環型社会の形成に向けて、未利用間伐材の利用促進に努める。

4 公益的機能別施業森林等の整備に関する事項

森林の有する多面的な機能を総合的かつ高度に発揮させるための森林施業を推進すべき森林の区域について、国は、水源の涵養の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林（以下「水源涵養機能維持増進森林」という。）、土地に関する災害の防止及び土壤の保全の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林（以下「山地災害防止／土壤保全機能維持増進森林」という。）、快適な環境の形成の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林（以下「快適環境形成機能維持増進森林」という。）、保健文化機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林（以下「保健文化機能維持増進森林」という。）、木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林（以下「木材等生産機能維持増進森林」という。）に区分し、発揮を期待する機能に応じた森林整備及び保全を図ることとしている。

本県における森林の機能区分は「生態系保全森林（悠久の森）」、「生活環境保全森林（ふれあいの森）」、「県土水源保全森林（ほぜんの森）」、「資源循環利用森林（循環の森）」の4タイプとしている。

国が示す公益的機能別施業森林等との関連は、「保健文化機能維持増進森林」を「生態系保全森林（悠久の森）」に、「快適環境形成機能維持増進森林」を「生活環境保全森林（ふれあいの森）」に、「山地災害防止／土壤保全機能維持増進森林」と「水源涵養機能維持増進森林」を併せ「県土水源保全森林（ほぜんの森）」に、「木材等生産機能維持増進森林」を「資源循環利用森林（循環の森）」とする。

市町村森林整備計画で定める公益的機能別施業森林等の区域の基準及び当該区域における森林施業の方法に関する指針は次のとおりとする。市町村森林整備計画の策定に当たっては、次の指針に準拠し、公益的機能別施業森林等の整備に関する事項を定めるものとする。

(1) 公益的機能別施業森林の区域の基準及び当該区域内における施業の方法に関する指針

ア 区域の設定の基準に関する指針

県の区分	区域の設定基準
生態系保全森林 (悠久の森)	<ul style="list-style-type: none">・ 国立公園、国定公園、県立自然公園の特別地域・ 鳥獣保護区特別保護地区・ 県指定自然環境保全地域特別地区・ 民有林緑の回廊

県の区分	区域の設定基準
生活環境保全森林 (ふれあいの森)	<p>「生態系保全森林（悠久の森）」以外の森林のうち、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保安林（飛砂防備、防風、潮害防備、防雪、防霧、防火、魚つき、航行目標、保健、風致） ・ 国立公園、国定公園、県立自然公園の普通地域等 ・ 都市計画法による風致地区 ・ 史跡名勝天然記念物にかかる森林 ・ 特別緑地保全地区、県指定環境緑地保全地域 ・ 生活環境保全機能又は保健文化機能が高位の森林
県土水源保全森林 (ほぜんの森)	<p>「生態系保全森林（悠久の森）」及び「生活環境保全森林（ふれあいの森）」以外の森林のうち、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保安林（水源かん養、土砂流出防備、土砂崩壊防備、水害防備、干害防備、なだれ防止、落石防止） ・ 保安施設地区、砂防指定地 ・ 急傾斜地崩壊危険区域 ・ 水源涵養機能又は山地災害防止機能が高位であつて、木材等生産機能が低位であり、かつ、傾斜20度以上、かつ、年平均成長量が5m³/ha未満である森林

イ 施業の方法に関する指針

県の区分	国の区分	該当する森林	森林施業の方法
生態系保全森林 (悠久の森)	保健文化機能維持増進森林	<ul style="list-style-type: none"> 湖沼、瀑布、渓谷等の景観と一体となって優れた自然美を構成する森林 紅葉等の優れた森林美を有する森林であって主要な眺望点から望見されるもの ハイキング、キャンプ等の保健・文化・教育的利用の場として特に利用されている森林 希少な生物の保護のため必要な森林(伐木に限る。) 	<p>① 伐木による複層林施業を推進すべき森林 左記森林のうち、これらの公益的機能の維持増進を特に図るために森林施業を推進すべき森林</p> <p>② 複層林施業を推進すべき森林 左記森林のうち、「伐木による複層林施業を推進すべき森林」以外の複層林施業を推進すべき森林</p> <p>③ 長伐期施業を推進すべき森林 左記森林のうち、適切な伐区の形状・配置等により、伐採後の林分においてこれらの機能の確保が可能な上記①、②以外の森林</p> <p><small>主伐の時期を標準伐期齢のおおむね2倍以上とともに、皆伐については伐採に伴って発生する裸地の縮小及び分散を図ること。</small></p>
生活環境保全森林 (ふれあいの森)	快適環境形成機能維持増進森林	<ul style="list-style-type: none"> 都市近郊林等に所在する森林であって郷土樹種を中心とした安定した林相をなしている森林 市街地道路等と一体となって優れた景観美を構成する森林 気象緩和、騒音防止等の機能を發揮している森林 	
県 土 水 源 保 全 森 林 (ほ ぜ ん の 森)	山地災害防止/土壤保全機能維持増進森林	<p>【地形】</p> <ul style="list-style-type: none"> 傾斜が急な箇所 傾斜の著しい変移点を持っている箇所 山腹の凹曲部等地表流下水又は地中水の集中流下する部分を持っている箇所 <p>【地質】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基岩の風化が異常に進んだ箇所 基岩の節理又は片理が著しく進んだ箇所 破碎帶又は断層線上にある箇所 流れ盤となっている箇所 <p>【土壤等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 火山灰地帯等で表土が粗じょうで凝集力の極めて弱い土壤から成っている箇所 土層内に異常な滞水層がある箇所 石礫地から成っている箇所 表土が薄く乾性な土壤から成っている箇所 	<p>なお、保健文化機能の維持増進を図るために森林施業を推進すべき森林のうち、特に、地域独自の景観等が求められる森林において、風致の優れた森林の維持又は造成のために特定の樹種の広葉樹を育成する森林施業を行うことが必要な場合には、これを推進する。</p>
	水源涵養機能維持増進森林	<p>【地形】</p> <ul style="list-style-type: none"> 標高の高い地域 傾斜が急峻な地域 谷密度の大きい地域 起伏量の大きい地域 溪床又は河床勾配の急な地域 掌状型集水区域 <p>【気象】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年平均又は季節的降水量の多い地域 短時間に強い雨の降る頻度が高い地域 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大面積の伐採が行われがちな地域 	下層植生や樹木の根を発達させる施業を基本とし、伐期の間隔の拡大とともに、皆伐によるものについては伐採面積の規模を縮小する。
		上記以外の森林	下層植生や樹木の根を発達させる施業を基本とし、伐期の間隔を拡大する。

注1 区域内において各公益的機能の維持増進を図るために森林の区域が重複する場合は、それぞれの機能の発揮に支障がないよう定めること。

2 次の森林は別途施業の方法に制限があることから、留意すること。

- 保安林、保安施設地区内の森林
- その他の法令により立木伐採に係る制限がある森林

(2) 木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林の区域の基準及び当該区域内における施業の方法に関する指針

ア 区域の設定の基準

県の区分	区域の設定基準
資源循環利用森林 (循環の森)	木材等の林産物を持続的、安定的かつ効率的に供給する木材等生産機能の発揮を重視する森林で、(1) のアの区分（生態系保全森林、生活環境保全森林、県土水源保全森林）以外の森林

イ 施業の方法に関する指針

県の区分	国の区分	該当する森林	森林施業の方法
～ 循 資 源 循 環 利 用 森 林 ～	木 材 等 生 産 機 能 維 持 増 進 森 林	<ul style="list-style-type: none"> ・ 材木の生育に適した森林で、路網の整備状況等から効率的な森林施業が可能な森林 ・ 木材生産等機能が高位であり、自然条件等から一体的に森林施業を行うことが適当と認められる森林 	<p>木材等林産物を持続的、安定的かつ効率的に供給するため、生産目標に応じた主伐の時期及び方法を定めるとともに、植栽による確実な更新、保育及び間伐等を推進することを基本とし、森林施業の集約化、路網整備、機械化等を通じた効率的な森林整備を推進する。</p> <p>また、特に効率的な施業が可能な森林における人工林の皆伐後は、原則として植栽による更新を行う。</p>

注1 木材等生産機能維持増進森林の区域が公益的機能別施業森林と重複する場合

は、公益的機能の発揮に支障がないように定めること。

2 次の森林は別途施業の方法に制限があることから、留意すること。

- ・ 保安林、保安施設地区内の森林
- ・ その他の法令により立木伐採に係る制限がある森林

(3) その他必要な事項

なし。

5 林道等の開設その他林産物の搬出に関する事項

(1) 林道等の開設及び改良に関する基本的な考え方

林道等路網の開設については、Ⅱ第2の1に定める「森林の整備及び保全の目標」の実現を図るため、傾斜等の自然条件、事業量のまとめり等地域の特性に応じて、環境負荷の低減に配慮することとする。

林道の整備については、森林経営計画作成森林等を主体に、効率的な森林施業や木材を輸送する車両の大型化等への対応を踏まえて推進することとする。

また、小動物が自力で脱出できる構造を有する側溝の設置や在来植生による緑化などにより、自然環境の保全に配慮しながら、森林の形態、森林整備状況等の諸条件、地元からの要望などを踏まえたうえで、地域の将来を見据えた整備を進めることとする。

○基幹路網の現状

単位 延長：km

区分	路線数	延長
基幹路網	313	951
うち林業専用道	0	0

注1 路網：一般車両の走行を想定する「林道」、主として森林施業用の車両の走行を想定する「林業専用道」、集材や造材等の作業を行う林業機械の走行を想定する「森林作業道」の総称

2 基幹路網：「林道」と「林業専用道」の総称

(2) 効率的な森林施業を推進するための路網密度の水準及び作業システムの基本的な考え方

路網開設に当たっては、「効率的な森林施業を推進するための路網密度の水準」を目安として、林道、林業専用道及び森林作業道を利用形態や地形・地質等に応じ適切に組み合わせ、丈夫で簡易な規格・構造を選択する。

なお、自然条件等が良好であり、将来にわたり育成单層林として維持する森林を主体に整備を加速化させるなど、森林施業の優先順位に応じた整備を推進することとする。

○効率的な森林施業を推進するための路網密度の水準

単位 路網密度：m/ha

区分	作業システム	路網密度	
		基幹路網	基幹路網
緩傾斜地（0°～15°）	車両系作業システム	110以上	30以上
中傾斜地（15°～30°）	車両系作業システム	85以上	23以上
	架線系作業システム	25以上	23以上
急傾斜地（30°～35°）	車両系作業システム	60〈50〉以上	16以上
	架線系作業システム	20〈15〉以上	16以上
急峻地（35°～）	架線系作業システム	5以上	5以上

- 注 1 路網密度の水準については、木材搬出予定箇所に適用すること。また、尾根、渓流、天然林等の除地には適用しないこと。
- 2 「架線系作業システム」とは、林内に架設したワイヤーロープに取り付けた搬器等を移動させて木材を吊り上げて集積するシステム。タワーヤーダ等を活用する。
- 3 「車両系作業システム」とは、林内にワイヤーロープを架設せず、車両系の林業機械により林内の路網を移動しながら木材を集積・運搬するシステム。フォワーダ等を活用する。
- 4 「急傾斜地」のくゝ書きは、広葉樹の導入による針広混交林化など育成複層林へ誘導する森林における路網密度。

(3) 路網整備と併せて効率的な森林施業を推進する区域（路網整備等推進区域）の基本的な考え方

路網整備等推進区域は、市町村森林整備計画における「路網整備等推進区域」の設定について（平成25年10月21日森整第500号森林整備課総括課長通知）により、林班ごとに傾斜、木材等生産機能、路網整備の現状等を勘案し、基幹路網整備と併せた効率的な森林施業を推進する区域とする。

区域の設定に当たっては、次の箇所について設定を検討することとする。

- ア 木材生産機能が高い森林（木材等生産機能維持増進森林のゾーニング区域）
- イ 森林経営計画が立てられている、又は予定がある森林
- ウ 林道・林業専用道等が整備されている、又は計画（開設・改良）予定の森林
- エ 特定間伐等促進計画が立てられている、又は予定がある森林

(4) 路網の規格・構造についての基本的な考え方

適切な規格・構造の路網の整備を図る観点等から、路網整備に当たっては、林道規程（昭和48年4月1日48林野道第107号林野庁長官通知）、林業専用道作設指針（平成22年9月24日22林整整第602号林野庁長官通知）及び森林作業道作設指針（平成22年11月17日林整整第656号林野庁長官通知）を基本として、県が定める林業専用道作設指針及び森林作業道作設指針に則り開設すること。

(5) 林産物の搬出方法等

ア 林産物の搬出方法

林産物の搬出に当たっては、「主伐時における伐採・搬出指針の制定について」（令和3年3月16日付け2林整整第1157号林野庁長官通知）を踏まえ、森林の更新や林地の保全への影響を極力抑えつつ、効率性を確保するよう、傾斜等の地形、地質、土壤等の条件に応じた適切な方法により行う。

イ 更新を確保するため林産物の搬出方法を特定する森林の所在及びその搬出方法

○ 更新を確保するため林産物の搬出方法を特定する必要のある森林及びその搬出方法

単位 面積 : ha

区分	森林の所在(林班)	面積	搬出方法
総数		56,070	
市	久慈市 洋野町 野田村 普代村	3,454 3,968 1,320 3,254	立木の伐採等による林産物の搬出方法については、土砂流出等の災害が発生しないよう、架線集材等林地の保全に留意した搬出方法とすること。 また、やむを得ず搬出のため作業路を開設する場合でも、切土等の土工は必要最小限とし、必要に応じて防災施設の設置を行い、林地の荒廃及び下流域への災害を未然に防止すること。
町	宮古市	19,895	
村	山田町	4,866	
別内訳			

区 分		森 林 の 所 在 (林 班)	面 積	搬 出 方 法
市 町 村 別 内	岩 泉 町	1, 2, 4, 5, 9~13, 21~27, 30, 31, 33, 34, 36, 37, 39~45, 47~50, 52~62, 64~69, 71~101, 104, 107~130, 134~136, 140~150, 155, 158~165, 168~172, 174, 176~180, 183~185, 187, 188, 193, 197, 198, 201, 202, 204, 206, 207, 209, 210, 213, 214, 228~241, 243~245, 247~253, 258, 261~263, 266, 267, 269~277, 280~283, 285, 289~292, 294~304, 308~312, 318, 319, 322, 323, 330, 331, 342, 356, 357, 362~366, 369, 373~384, 393~396, 398~400, 406, 436, 439, 441~443, 449, 452, 453, 455, 456, 464~469, 471, 520, 521, 526, 527, 532~539, 568, 569, 574, 575, 581~583, 586~588, 590, 599, 600, 609~614, 618~620, 622, 623, 625, 628, 637, 641~644, 647, 648, 655~660, 663~666	12,789	
訳	田 野 畑 村	1, 2, 4, 7, 8, 10, 11, 13~17, 19, 21, 22, 24~38, 40, 41, 43~46, 48, 52, 53, 55, 57~124, 126	6,523	

注 1 森林の所在は、当該林班の全部又は一部が該当するものであり、その詳細は森林簿による。

2 単位未満を四捨五入しているため、市町村別内訳の合計と総数は一致しない場合がある。

(6) その他必要な事項

搬出のため森林作業道を開設する場合は、極力地形に沿った路線形とし、切土、盛土、及び捨土は必要最小限にとどめ、必要に応じて、法面の安定のための法面保護工、雨水及び渓流による浸食を防ぐための排水施設などを施工することにより、林地の荒廃や下流への土砂の流出を未然に防止すること。

6 委託を受けて行う森林の施業又は経営の実施、森林施業の共同化その他森林施業の合理化に関する事項

流域内の市町村、林業・木材産業関係者の合意形成及び民有林と国有林の緊密な連携を図りつつ、森林施業の共同化、森林経営管理制度の活用促進、林業の担い手育成、林業機械の導入、地域材の流通・加工体制の整備等、生産から流通、加工に至る一連の条件整備を次のとおり計画的かつ総合的に促進することとする。

(1) 森林の経営の受委託等による森林の経営の規模の拡大及び森林施業の共同化に関する方針

ア 意欲と能力のある林業経営体等による施業集約化の促進

「岩手県意欲と能力のある林業経営体」など、長期にわたり持続的な林業経営と適正な森林管理を実現できる経営体による施業集約化や長期施業受委託を促進する。

また、長期の施業等の委託が円滑に進むよう、森林関連情報の提供や森林経営計画作成等による施業集約化を担う森林施業プランナーの育成など、支援体制の整備に積極的に努めることとする。

イ 国有林との連携の促進

効率的な森林整備や路網整備のため、民有林と国有林が連携して取り組む森林施業の共同化のための団地設定を促進する。

(2) 森林経営管理制度の活用の促進に関する方針

森林の経営管理（自然的経済的社会的諸条件に応じた適切な経営又は管理を持続的に行うこと）を森林所有者自らが実行できない場合には、市町村が経営管理の委託を受け、林業経営に適した森林については「岩手県意欲と能力のある林業経営体」に再委託するとともに、再委託できない森林及び再委託に至るまでの間の森林については市町村が自ら経営管理を実施する森林経営管理制度を活用し、森林の経営管理の集積・集約化を進める。

(3) 林業に従事する者の養成及び確保に関する方針

ア 林業従事者の養成・確保

林業従事者の養成・確保を図るため、いわて林業アカデミーによる森林・林業の知識や技術の習得を支援するとともに、林業労働力確保支援センターによる段階的かつ体系的な研修等との連携により林業従事者のキャリア形成を支援する。

また、林業従事者の通年雇用化、社会保険や退職金共済制度への加入促進、技能等の客観的な評価の促進等により、他産業並みの所得水準の確保に向けて取り組むとともに、労働安全対策を強化し、労働環境の改善を図る。

イ 意欲と能力のある林業経営体等の育成強化

長期にわたる持続的な森林経営の実現に向けて、ＩＣＴを活用した森林管理の省力化と、森林施業の集約化による事業量の安定的確保や生産性の向上などにより、「岩手県意欲と能力のある林業経営体」等の経営力強化を図る。

(4) 作業システムの高度化に資する林業機械の導入の促進に関する方針

路網と高性能林業機械を組み合わせた低コスト作業システムの普及・定着を促進するとともに、ＩＣＴの活用等により、木材の生産管理の効率化に努める。

また、傾斜等の自然条件や路網の整備状況等、地域の特性に応じて効率的な作業システムを開拓できる技術者の養成を計画的に推進する。

ア 高性能林業機械の導入促進

生産性の向上及び労働強度の軽減を図るために、高性能林業機械を利用した機械作業システムの構築を促進することとする。

導入促進に当たっては、オペレーターの養成、機械の共同利用の促進等を行うとともに、より効率的な森林施業のための路網整備になるよう、路網整備等推進区域の設定により、林道、林業専用道及び森林作業道を適切に組み合わせた路網整備を重点的に図ることとする。

なお、高性能林業機械の使用に当たっては、枝条の整理や林地のかく乱防止等森林の保全に配慮すること。

イ 機械作業システムの目標

機械作業システムの目標は、地形や経営形態等の地域の特性に応じて、次のとおりとする。

区分		車両架線系別	主な高性能林業機械
大規模	緩傾斜地	車両系	ハーベスター（伐倒・造材）、フォワーダ（搬出）
	急傾斜地	架線系	タワーヤーダ（搬出）、プロセッサ（造材）
小規模	緩傾斜地	車両系	木寄ワインチ付グラップル（搬出）、 プロセッサ（造材）
	急傾斜地	架線系	スイングヤーダ（搬出）、プロセッサ（造材）

(5) 林産物の利用の促進のための施設の整備に関する方針

ア 素材の安定供給体制の構築

意欲と能力のある林業経営体等の育成・強化や高性能林業機械導入、林内路網の整備などによる低コスト素材生産の促進及び関係団体等による県産材供給連絡会議を通じて、大口需要者などへの素材供給体制の一層の強化に取り組む。

イ 木材加工事業体の育成・強化

需要者のニーズに対応した乾燥材等の品質が確かな製材品等の供給体制の整備を図るとともに、素材生産から製品加工に至るまでの事業体間の連携強化により外材や県外製材品等との競争力の強化に取り組む。

ウ 林産物の需要拡大

木材市場、合板工場、集成材工場等の連携により地域材の需要拡大を図るとともに、木質資源の多段階的利用を推進するため、土木用資材等として間伐材等の中小径材の利用を促進する。

木質バイオマスについては、平成31年3月に策定した「いわて木質バイオマスエネルギー利用展開指針（第2期）」に即し、林地残材や製材工場で発生する木屑等を利用するなど、森林資源の有効活用を促進する。

(6) その他必要な事項

流域森林・林業活性化センター等の活動を中心に、市町村、林業関係者、地域住民等の合意形成の下、川上から川下まで連携し、森林整備及び地域材の安定供給を総合的に促進する。

第4 森林の保全に関する事項

1 森林の土地の保全に関する事項

(1) 樹根及び表土の保全その他森林の土地の保全に特に留意すべき森林の地区

○樹根及び表土の保全その他森林の土地の保全に特に留意すべき森林の地区

単位 面積 : ha

森 林 の 所 在		面 積	留意すべき事項	備 考
市 町 村	地 区 (林 班)			
総 数		89, 382		
久 慈 市	1~17, 20, 21, 23, 25, 26, 28, 30~45, 51~55, 58, 59, 63~65, 67~78, 80~90, 95, 97, 98, 104, 119~127, 130, 143, 144, 148, 149, 157, 158, 160, 166, 172, 175~183, 186, 188, 189, 191~197, 199~212, 215~220, 222~228, 230~232, 234~237, 239~250, 253, 255~258, 262~273, 275~279, 281, 282, 284, 285, 287~289, 291~293, 295, 297, 298, 300~303, 305~310, 312, 314~327, 1330, 1343, 1345, 1352, 1376, 1378, 1380, 1391~1394, 1399~1401, 1403~1406, 1408, 1422, 1424, 1425, 1427~1430, 1432, 1436, 1437, 1439, 1451~1453, 1458~1462, 1465, 1468, 1471~1473, 1475~1477, 1480~1488, 1493~1496, 1502, 1504~1507, 1510, 1512~1515, 1517~1519, 1524, 1525, 1527, 1528, 1531~1540, 1542, 1546~1548, 1551, 1552, 1555, 1557~1560	8, 596	1 保安林等制限林については、制限林の施業方法によることとする。 2 その他の区域（山地災害防止機能の高い森林）については、森林内の地表や土壤のかく乱及び林床の破壊の防止に留意することとし、伐採に当たっては、抾伐、小面積皆伐等の施業が望ましい。 また、搬出に当たっては、できるだけ積雪時の冬期搬出や架線集材が望ましい。	水かん 2, 270 土流 2, 243 土崩 238 飛砂 1 潮害 2 雪崩 11 落石 2 魚つき 172 保健 370
洋 野 町	1, 2, 4~12, 14~19, 21~26, 36, 43, 44, 46~51, 53~55, 58~61, 64~67, 70~76, 78, 79, 81~105, 107, 109~131, 133, 134, 138~141, 143, 144, 1145~1147, 1149, 1151~1154, 1156, 1157, 1160~1169, 1171, 1172, 1174~1178, 1181, 1182, 1184~1188, 1190~1193, 1195~1206, 1208~1210, 1214, 1220~1223, 1225, 1226, 1229, 1231, 1238	4, 265		水かん 68 土流 71 土崩 6 飛砂 1 潮害 2 干害 76 魚つき 30 保健 92
野 田 村	1~13, 21~42, 44~56, 58~80, 82, 83	2, 722		水かん 1, 236 土流 35 土崩 21 潮害 15 魚つき 80 保健 8
普 代 村	1~24, 27~47, 49~58, 60~63, 65	3, 589		水かん 16 土流 142 土崩 4 潮害 2 魚つき 110

単位 面積 : ha

森 林 の 所 在		面 積	留意すべき事項	備 考	
市 町 村	地 区 (林 班)				
宮 古 市	1~55, 57~135, 137~141, 144~161, 169, 170, 174~178, 181~277, 279, 282~320, 1321~1348, 1351~1398, 1400, 1402, 1404~1419, 1421, 1422, 1424, 1426~1431, 1433~1436, 2437, 2440, 2443, 2444, 2450~2457, 2459, 2460, 2464~2466, 2469~2480, 2482, 2483, 2485, 2486, 2489~2492, 2494~2496, 2498, 2501~2508, 2513~2515, 2524, 2525, 2532, 2534~2576, 2579, 2581~2584, 2586~2591, 2594~2597, 2599~2609, 2616, 2617, 2620~2656, 2658, 2659, 2661, 2664~2677, 2679~2682, 2684~2711, 2714~2719, 2721, 2723~2744, 2746~2748, 2750, 2751, 2757, 2758, 2762, 2763, 2765~2774, 2776~2803, 3001, 3003, 3005~3016, 3018, 3020, 3025~3027, 3030, 3034~3037, 3041, 3044~3047, 3050, 3053, 3054, 3060, 3063~3065, 3068, 3069, 3072~3074, 3076~3080, 3083~3087, 3089, 3091, 3095~3097, 3104~3108, 3110, 3111, 3117, 3119~3126, 3129, 3130, 3135, 3138, 3143, 3148, 3149, 3156~3160, 3165, 3166, 3177, 3181~3183, 3188, 3189, 3192~3199, 3207, 3211, 3212, 3216~3219, 3222, 3228, 3229, 3237~3240, 3246~3256, 3263, 3265, 3266, 3273~3280, 3282~3284, 3287, 3291~3296, 3298~3300, 3303~3319, 3323, 3324, 3329~3348, 3350, 3351, 3353~3358, 3360, 3361	34, 320		水かん 土流 土崩 防風 潮害 雪崩 落石 魚つき 保健 風致	7, 840 3, 649 541 1 43 153 74 803 30 2
山 田 町	1~41, 43, 44, 46~59, 61~78, 80~98, 100, 104~110, 112, 114~117, 119, 121~125, 127	5, 572		土流 土崩 飛砂 潮害 魚つき 保健	93 18 3 30 193 34
岩 泉 町	1~17, 19~34, 36~62, 64~69, 71~104, 106~130, 134~136, 139~150, 155~172, 174~181, 183~194, 196~216, 220, 228~253, 258~263, 266~277, 279~283, 285, 286, 289~292, 294~320, 322, 323, 326, 327, 330, 331, 335, 342, 344, 351, 353, 354, 356, 357, 361~369, 371~384, 386, 388~391, 393~400, 404, 406~411, 420~434, 436~446, 449, 450, 452, 453, 455, 456, 461, 462, 464~469, 471, 474, 476~479, 481~483, 487, 489~497, 500, 504, 505, 511~521, 523~529, 531~542, 545~555, 559~563, 565~571, 574, 575, 577~583, 586~588, 590, 599, 600, 607, 609~614, 618~620, 622, 623, 625, 628, 637, 641~644, 647, 648, 655~666	23, 172		水かん 土流 土崩 防風 潮害 雪崩 魚つき 保健	2, 327 6, 514 1, 073 59 2 7 33 204

単位 面積 : ha

森 林 の 所 在		面 積	留意すべき事項	備 考	
市 町 村	地 区 (林 班)				
田 野 畑 村	1, 2, 4~19, 21, 22, 24~46, 48, 50~53, 55, 57~127	7, 148		水かん 250 土流 64 土崩 11 潮害 5 干害 21 魚つき 144 保健 21	

注1 制限林の種類名の略字は下記のとおりである。

水かん = 水源かん養保安林	土 流 = 土砂流出防備保安林	土 崩 = 土砂崩壊防備保安林
飛 砂 = 飛砂防備保安林	防 風 = 防風保安林	潮 害 = 潮害防備保安林
干 害 = 干害防備保安林	雪 崩 = なだれ防止保安林	落 石 = 落石防止保安林
魚つき = 魚つき保安林	保 健 = 保健保安林	風 致 = 風致保安林

2 備考欄の数字は重複する保安林面積である。

3 森林の所在は、当該林班の全部又は一部が該当するものであり、その詳細は森林簿による。

4 単位未満を四捨五入しているため、市町村別内訳の合計と総数は一致しない場合がある。

(2) 森林の土地の保全のため林産物の搬出方法を特定する必要のある森林及びその搬出方法

○森林の土地の保全のため林産物の搬出方法を特定する必要のある森林及びその搬出方法

単位 面積 : ha

区 分	森 林 の 所 在 (林 班)	面 積	搬 出 方 法
総 数		56,070	
市 町 村 別 内 訳	久慈市 洋野町 野田村 普代村 宮古市 山田町	3,454 3,968 1,320 3,254 19,895 4,866	立木の伐採等による林産物の搬出方法については、土砂流出等の災害が発生しないよう、架線集材等林地の保全に留意した搬出方法とすること。 また、やむを得ず搬出のため作業路を開設する場合でも、切土等の土工は必要最小限とし、必要に応じて防災施設の設置を行い、林地の荒廃及び下流域への災害を未然に防止すること。
	1~11, 14, 17, 21, 23, 25, 28, 30, 31, 33~45, 53, 54, 67~72, 75~78, 80~85, 89, 90, 95, 97, 98, 104, 119, 121~127, 143, 144, 148, 149, 157, 158, 160, 175~183, 186, 191~197, 199~207, 209~212, 215~220, 223~227, 230, 231, 236, 242~248, 265, 266, 271, 275, 277~279, 281, 282, 284, 285, 287~289, 292, 293, 295, 297, 298, 301~303, 305~309, 312, 314~327, 1330, 1343, 1345, 1352, 1380, 1391~1394, 1399~1401, 1403~1406, 1408, 1424, 1425, 1427~1430, 1436, 1437, 1458~1462, 1471~1473, 1475, 1480~1487, 1493~1496, 1505~1507, 1512~1515, 1517, 1524, 1525, 1527, 1528, 1533, 1535, 1538~1540, 1546, 1547, 1555, 1557~1559		
	1, 2, 4~12, 14~19, 21~26, 43, 44, 46~51, 53~55, 58~61, 64~67, 70~76, 78, 79, 81~102, 104, 105, 107, 109~131, 133, 134, 138~141, 144, 1145~1147, 1149, 1151~1154, 1156, 1157, 1160~1169, 1171, 1172, 1174~1178, 1181, 1182, 1184~1188, 1190~1193, 1195~1206, 1208~1210, 1220~1223, 1225, 1226, 1229		
	1, 2, 38~42, 44~46, 51~56, 58~77, 79, 80	1,320	
	1~24, 27~47, 49~51, 53~58, 60, 61	3,254	
	1~21, 23~29, 31, 38, 41, 43~55, 57~121, 123~135, 137~141, 144~147, 149~160, 169, 170, 174~178, 181~231, 233~277, 282~320, 1321~1348, 1351~1359, 1361~1370, 1372~1379, 1381~1398, 1402, 1404, 1405, 1407~1415, 1417~1419, 1421, 1424, 1426~1430, 1435, 1436, 2437, 2450~2457, 2459, 2464~2466, 2469, 2470, 2472~2480, 2482, 2483, 2485, 2489~2492, 2495, 2496, 2501, 2502, 2504, 2505, 2507, 2513~2515, 2524, 2525, 2534~2541, 2543, 2545, 2548~2550, 2571~2576, 2579, 2581~2584, 2587~2590, 2594~2597, 2599~2605, 2607, 2654, 2666, 2669, 2670, 2697, 2708~2711, 2714~2719, 2723, 2726~2744, 2746~2748, 2750, 2751, 2757, 2758, 2765~2768, 2770~2774, 2776~2778, 2781~2788, 2792~2802, 3001, 3003, 3008~3010, 3014, 3015, 3018, 3025, 3035~3037, 3060, 3064, 3068, 3069, 3073, 3076~3078, 3080, 3083~3087, 3104~3108, 3110, 3111, 3119, 3120, 3124, 3135, 3222, 3275, 3277, 3323, 3324, 3350, 3351, 3357, 3358		
	1, 8~41, 44, 46~59, 61, 63~78, 80~98, 104, 106~110, 114~117, 119, 121~124, 127	4,866	

単位 面積 : ha

区 分		森 林 の 所 在 (林 班)	面 積	搬 出 方 法
市 町 村 別 内	岩 泉 町	1, 2, 4, 5, 9~13, 21~27, 30, 31, 33, 34, 36, 37, 39~45, 47~50, 52~62, 64~69, 71~101, 104, 107~130, 134~136, 140~150, 155, 158~165, 168~172, 174, 176~180, 183~185, 187, 188, 193, 197, 198, 201, 202, 204, 206, 207, 209, 210, 213, 214, 228~241, 243~245, 247~253, 258, 261~263, 266, 267, 269~277, 280~283, 285, 289~292, 294~304, 308~312, 318, 319, 322, 323, 330, 331, 342, 356, 357, 362~366, 369, 373~384, 393~396, 398~400, 406, 436, 439, 441~443, 449, 452, 453, 455, 456, 464~469, 471, 520, 521, 526, 527, 532~539, 568, 569, 574, 575, 581~583, 586~588, 590, 599, 600, 609~614, 618~620, 622, 623, 625, 628, 637, 641~644, 647, 648, 655~660, 663~666	12,789	
訳	田 野 畑 村	1, 2, 4, 7, 8, 10, 11, 13~17, 19, 21, 22, 24~38, 40, 41, 43~46, 48, 52, 53, 55, 57~124, 126	6,523	

注 1 森林の所在は、当該林班の全部又は一部が該当するものであり、その詳細は森林簿による。

2 単位未満を四捨五入しているため、市町村別内訳の合計と総数は一致しない場合がある。

(3) 土地の形質の変更に当たって留意すべき事項

土地の形質の変更に当たっては、森林の適切な保全と利用との調整を図ることとし、飲用水等の水源として依存度の高い森林、良好な自然環境を形成する森林等、安全で潤いのある居住環境の保全・形成に重要な役割を果たしている森林の他用途への転用は極力避ける。

また、土地の形質を変更する場合には、気象、地形、地質等の自然条件、地域における土地利用と森林の現況、土地の形質を変更する目的・内容を総合的に勘案しつつ、実施地区の選定を適切に行うこととし、次の事項に留意する。

なお、太陽光発電施設を設置する場合には、太陽光パネルによる地表面の被覆により雨水の浸透能や景観へ及ぼす影響が大きいことから、適切な防災施設の設置など開発行為の許可基準を適正に運用するとともに、地域住民の理解を得るための取組の実施等に配慮する。

ア 土砂の流出又は崩壊その他災害の防止に関するこ

- (ア) 土地の形質を変更する行為が現地形に沿って行われること及び土砂の移動量が必要最小限度であること。
 - (イ) 切土、盛土又は捨土を行う場合は、法面の安定を確保する工法で行うとともに、切土、盛土又は捨土を行った後に法面が生ずるときは、その法面の地質、土質、高さからみて崩壊のおそれのない勾配とすること。また、必要に応じて排水施設や小段の設置、又はその他の措置を適切に行うこと。
 - (ウ) 切土、盛土又は捨土を行った後の法面の勾配が(イ)によることが困難であるか、若しくは適当でない場合、又は周辺の土地利用の実態からみて必要がある場合には、擁壁又はその他の法面崩壊防止の措置を適切に行うこと。
 - (エ) 切土、盛土又は捨土を行った後の法面が雨水、溪流等により侵食されるおそれがある場合には、法面保護の措置を行うこと。
 - (オ) 土地の形質を変更する行為に伴い、相当量の土砂が流出し、下流流域に災害が発生するおそれがある場合には、先行して十分な容量及び構造のえん堤等の設置、森林の残置等の措置を適切に行うこと。
 - (カ) 雨水等を適切に排水しなければ災害が発生するおそれがある場合には、十分な能力及び構造を持つ排水施設を設置すること。
 - (キ) 下流の流下能力を超える水量が排水されることにより災害が発生するおそれがある場合には、洪水調節池の設置やその他の措置を適切に行うこと。
 - (ク) 飛砂、落石、なだれ等の災害が発生するおそれがある場合には、静砂垣又は落石防止柵若しくはなだれ防止柵の設置やその他の措置を適切に行うこと。

イ 水害の発生の防止に関するこ

現に森林の有する水害の防止機能に依存している地域において、土地の形質の変更により流量が増加し水害が発生するおそれがある場合は、洪水調節池の設置やその他の措置を適切に行うこと。

ウ 水源の確保に関すること

- (ア) 飲用水、かんがい用水等の水源として依存している森林において、土地の形質を変更しようとする場合、周辺における水利用の実態等からみて、水量を確保する必要があるときは、貯水池や導水路の設置又はその他の措置を適切に行うこと。
- (イ) 周辺における水利用の実態等からみて、土砂の流出による水質の悪化を防止する必要がある場合には、沈砂池の設置、森林の残置、その他の措置を適切に行うこと。

エ 環境の保全に関すること

- (ア) 土地の形質を変更する目的、態様、周辺における土地利用の実態等に応じ、土地の形質を変更する箇所の周辺に、森林・緑地の残置又は造成を適切に行うこと。
- (イ) 騒音、粉じん等の著しい影響の緩和、風害等からの周辺の植生の保全等の必要がある場合には、土地の形質を変更しようとする森林の区域内の適切な箇所に、必要な森林の残置又は造成を行うこと。
- (ウ) 景観の維持に著しい支障を及ぼすことのないよう配慮を行うこと。特に市街地、主要道路等からの景観を維持する必要がある場合には、土地の形質の変更により生ずる法面を極力縮小するとともに、可能な限り法面の緑化を図り、また土地の形質の変更後に設置される施設の周辺に森林を残置、造成する等の適切な措置を行うこと。

(4) その他必要な事項

なし。

2 保安施設に関する事項

(1) 保安林の整備に関する方針

森林に関する自然条件、社会的要請及び保安林の配備状況等を踏まえ、水源の涵養、災害の防備、保健、風致の保存等の目的を達成するため保安林に指定する必要がある森林について、保安林の配備を計画的に推進するとともに、必要に応じて指定施業要件を見直し、その保全を確保する。

(2) 保安施設地区の指定に関する方針

該当なし。

(3) 治山事業の実施に関する方針

地域住民の安全・安心を確保し、災害に強い地域づくりや水源地域の機能強化を図るため、近年、大雨や短時間豪雨の発生頻度の増加により災害の発生形態が変化していることを踏まえ、治山施設の整備や海岸防災林の保全、保安林機能が低下している荒廃森林を早期に復旧する治山事業を計画的に進めるとともに、豪雨、地震、地すべり等により山地災害が発生した場合には、速やかに必要な措置を講ずるものとする。

なお、流木災害リスクを軽減させる流木捕捉式治山ダムの設置や、渓流域での危険木の伐採等の実施に際しては、流域治水の取組との連携を図るものとする。

(4) 特定保安林の整備に関する事項

指定の目的に即して機能していないと認められる保安林を特定保安林として指定するとともに、間伐等の必要な施業等を積極的かつ計画的に推進して、当該目的に即した機能の確保を図るものとする。

特に、造林、保育、伐採、その他の施業を早急に実施する必要があると認められる森林については、要整備森林とし、森林の現況等に応じて、必要な施業方法及び時期を明らかにした上で、その実施の確保を図るものとする。

(5) その他必要な事項

保安林の適切な管理を確保するため、地域住民、地方公共団体等の協力・参加が得られるよう努めるとともに、保安林台帳の調製、標識の設置、巡視及び指導を適正に行う。

3 鳥獣害の防止に関する事項

(1) 鳥獣害防止森林区域の基準及び当該区域内における鳥獣害の防止の方法に関する方針

ア 区域の設定の基準

「鳥獣害防止森林区域の設定に関する基準について」（平成28年10月20日付け28林整研第180号林野庁長官通知）に基づき、ニホンジカ等の対象鳥獣別に、当該対象鳥獣により被害を受けている森林及び被害発生のおそれがある森林について、被害状況等を把握できる「森林生態系多様性基礎調査」の調査結果を基礎データとし、鳥獣害を防止するための措置を実施すべき森林の区域（以下「鳥獣害防止森林区域」という。）を設定するものとする。

その際、「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」に基づき県が定めている各種計画、その他対象鳥獣による森林被害の情報等を参考とするものとする。

イ 鳥獣害の防止の方法に関する方針

森林の適確な更新及び造林木の確実な育成を図るため、地域の実情に応じて、対象鳥獣の別に、当該対象鳥獣による被害を防止するために効果を有すると考えられる方法により、植栽木の保護措置又は当該対象鳥獣の捕獲による鳥獣害防止対策を推進するものとする。

その際、関係行政機関等と連携した対策を推進することとし、鳥獣保護管理施策や農業被害対策等と連携・調整を図るものとする。

(2) その他必要な事項

鳥獣害防止森林区域内における鳥獣害防止対策の実施状況については、必要に応じて、現地調査や各種会議での情報交換、森林所有者等からの情報収集等により、鳥獣害防止対策の実施状況を確認するものとする。

4 森林病害虫の駆除及び予防その他の森林の保護に関する事項

(1) 森林病害虫等の被害対策の方針

森林病害虫等の被害対策について、松くい虫やカシノナガキクイムシによるナラ枯れ等の森林被害の拡大を防止するため、監視体制の強化を図り総合的かつ計画的に被害対策を推進する。

被害対策の推進に当たっては、森林所有者や地域住民等の理解と防除活動への協力・参加が得られるよう、普及啓発に努めるものとする。

ア ナラ枯れ被害対策の方針

被害が未発生の地域では、被害地域からの被害侵入を防止するため、監視体制を整備し早期発見に努めるとともに、被害木が発見された場合は、カシノナガキクイムシが羽化脱出する6月20日までに駆除を実施し、被害の拡大、定着を阻止するものとする。

被害地域やその周辺地域では、ナラ類の伐採を進め、若返りによる森林の健全化と被害木のチップ化による駆除を推進するものとする。

(2) 鳥獣害対策の方針（③の掲げる事項を除く。）

対象鳥獣以外の鳥獣による森林被害及び鳥獣害防止森林区域外における対象鳥獣による森林被害対策については、その防止に向け、鳥獣保護管理施策や農業被害対策等との連携を図りつつ、野生鳥獣との共存にも配慮するものとする。

適時適切な間伐の実施、広葉樹林や針広混交林等の多様な森林の維持造成を図るとともに、個体数調整等の実施状況を踏まえながら、防護柵の設置等による被害対策を実施する。

(3) 林野火災の予防の方針

林野火災の大部分は人為的原因によることから、関係者が連携して巡視を強化するとともに、入山者、農業者等への啓発を行うこととする。

延焼防止に資する防火帯を兼ねた路網の整備や、適切な間伐の実施が林野火災を予防する上で有効な対策であることから、計画的に整備を行うものとする。

また、森林またはその周囲1kmの範囲内で、立木竹や雑草、堆積物等を面的に焼却する場合は、森林法第21条の規定に基づく市町村の長による許可を受けて行うよう徹底する。

(4) その他必要な事項

なし。

第5 保健機能森林の区域の基準その他保健機能森林の整備に関する事項

保健機能森林は、森林の有する保健機能を高度に発揮させるための森林の施業及び公衆の利用に供する施設の整備を一体的に推進することにより、森林の保健機能の増進を図るべき森林である。市町村森林整備計画で定める「森林の保健機能の増進に関する事項」についての指針は、次のとおりとする。

1 保健機能森林の区域の基準

保健機能森林の区域は、保健文化機能の高い森林のうち、次に掲げる基準に基づき設定するものとする。

- (1) 湖沼、渓谷等と一体となって優れた自然美を構成している森林、多様な樹種、林相からなり、明暗、色調に変化を有する森林、史跡、名勝等と一体となって潤いのある自然景観を構成している森林等の保健機能の高い森林であること。
- (2) 地域の実情、利用者の意向等を踏まえ、森林の施業と施設の整備を一体的かつ計画的に行い、森林資源の総合的な利用を促進することが適当であること。
- (3) 施業の担い手となる森林組合等が存在し、森林の有する保健機能を高度に発揮させるための森林の施業が可能であること。
- (4) その森林の区域内における施設整備の状況及び見込み等からみて森林所有者による施設の整備が行われる見込みのこと。
- (5) 施設の設置により、その森林が現に有する保健機能以外の県土保全等の諸機能に著しい支障を及ぼすおそれがないこと。

2 その他保健機能森林の整備に関する事項

(1) 保健機能森林の区域内の森林における施業の方法に関する指針

保健機能森林の施業は、森林の保健機能の一層の増進を図るとともに、施設の設置に伴い低下する水源の涵養、県土保全等の機能を補完するため次の点に留意するものとする。

ア 造林

原則として、育成複層林にあっては、これを維持するための造林を推進すること。育成単層林、天然生林にあっては、必要に応じて樹下植栽、受光伐、間伐等を行うことにより育成複層林への誘導を推進すること。

イ 保育

健全な林分の維持とともに、利用者が快適に散策等を行えるよう適度な林内照度を維持するため、間伐、除伐等の保育を積極的に行うこと。

ウ 伐採

自然環境の保全と景観の維持向上を図るため、原則として、皆伐以外の方法とすること。

エ その他

- (ア) 保健機能森林の有する優れた自然景観等の特色を踏まえた多様な森林の施業を行うこと。
- (イ) 森林の所有者、森林組合等森林施業の担い手が連携して森林の施業を行うこと。

(2) 保健機能森林の区域内における森林保健施設の整備に関する指針

施設の整備に当たっては、自然環境の保全、県土の保全及び文化財の保護に配慮しつつ、地域の実情、利用者の意向等を踏まえて、各種の施設を適切に整備することによって、森林の保健機能の増進が適切に図られるよう努めるものとする。整備する施設の具体的な内容としては、多数の利用者が見込まれる次の施設とする。

(ア) 休養施設	<p>【森林を利活用した快適性の増進のための施設】</p> <p>休憩施設、森林浴施設、展望施設及びこれらに類する施設</p>
(イ) 教養文化施設	<p>【森林を利活用した学習活動、美術、工芸等の活動のための施設】</p> <p>森林博物館、樹木園、林業体験学習施設、野外劇場及びこれらに類する施設</p>

(ウ) スポーツ又はレクリエーション施設	【森林を利活用したスポーツ施設又はレクリエーションに資するための施設】 野営場、遊歩道、広場、フィールド・アスレチック、サイクリングロード、クロスカントリースキー場、バードウォッチング施設、ロッジ、キャビン、バンガロー及びこれらに類する施設
(エ) 宿泊施設	【森林への滞在及び森林内の活動の利便性を増進するための施設】 貸し別荘、ペンション及びこれらに類する施設
(オ) これらの施設の利用上必要な施設	【(イ)から(エ)までに掲げる施設の利用上必要な施設】 販売施設、飲食施設、駐車場、案内施設、管理施設及びこれらに類する施設

(3) その他必要な事項

ア 保健機能森林の管理及び運営の指針

森林の保全と両立した森林の保健機能の増進が図られることを旨とし、地域の実情、利用者の意向等を踏まえて次の点に留意するものとする。

- (ア) 森林の巡視、施設の保守点検等日常の管理を通じて、森林の保全及び施設の維持・管理を行うとともに、これらの実施体制の確立に努めること。
- (イ) 利用者の防火意識の啓発等山火事の未然防止に努めるとともに、防火体制の整備及び防火施設の設置を図ること。
- (ウ) 安全施設の設置等利用者の安全及び交通の安全確保と円滑化に努めること。

イ 保健機能森林における建築物の高さの指針

施設に係る建築物の高さは、対象森林の樹冠を構成する立木の期待平均樹高(その立木が標準伐期齢に達したときに期待される樹高)未満とすること。

第6 計画量等

1 間伐立木材積その他の伐採立木材積

(1) 計画期間総数（令和4年度～令和13年度）

単位 材積：1,000m³

区分	総 数			主 伐			間 伐		
	総 数	針葉樹	広葉樹	総 数	針葉樹	広葉樹	総 数	針葉樹	広葉樹
総 数	4,896	3,570	1,326	3,196	1,870	1,326	1,700	1,700	-
市 町 村 別 内 訳	宮 古 市	1,613	1,136	477	1,139	662	477	474	474
	山 田 町	251	214	37	160	123	37	91	91
	岩 泉 町	1,209	846	363	691	328	363	518	518
	田 野 畑 村	235	172	63	138	75	63	97	97
	久 慈 市	769	556	213	486	273	213	283	283
	洋 野 町	626	518	108	443	335	108	183	183
	野 田 村	85	65	20	56	36	20	29	29
	普 代 村	108	63	45	83	38	45	25	25

(2) 前半5年分の計画量（令和4年度～令和8年度）

単位 材積：1,000m³

区分	総 数			主 伐			間 伐		
	総 数	針葉樹	広葉樹	総 数	針葉樹	広葉樹	総 数	針葉樹	広葉樹
総 数	2,384	1,730	654	1,584	930	654	800	800	-
市 町 村 別 内 訳	宮 古 市	787	551	236	565	329	236	222	222
	山 田 町	122	104	18	79	61	18	43	43
	岩 泉 町	586	407	179	342	163	179	244	244
	田 野 畑 村	114	83	31	68	37	31	46	46
	久 慈 市	374	269	105	241	136	105	133	133
	洋 野 町	306	253	53	220	167	53	86	86
	野 田 村	42	32	10	28	18	10	14	14
	普 代 村	53	31	22	41	19	22	12	12

2 人工造林及び天然更新別の造林面積

(1) 計画期間総数（令和4年度～令和13年度）

単位 面積：ha

区分	計画期間総数 (R 4～R 13)		
	総数	人工造林	天然更新
総 数	19,648	4,000	15,648
市 町 村 別 内 訳	宮 古 市	7,038	1,420
	山 田 町	700	260
	岩 泉 町	4,990	710
	田 野 畑 村	910	160
	久 慶 市	3,100	580
	洋 野 町	1,980	710
	野 田 村	320	80
	普 代 村	610	80

(2) 前半5年分の計画量（令和4年度～令和8年度）

単位 面積：ha

区分	前半5年分の計画量 (R 4～R 8)		
	総数	人工造林	天然更新
総 数	9,550	1,800	7,750
市 町 村 別 内 訳	宮 古 市	3,410	630
	山 田 町	340	120
	岩 泉 町	2,440	320
	田 野 畑 村	440	70
	久 慶 市	1,510	260
	洋 野 町	950	320
	野 田 村	160	40
	普 代 村	300	40

3 間伐面積

単位 面積 : ha

区分	面 積	
	計画期間総数 (R4～R13)	前半5年分の計画量 (R4～R8)
総 数	28,270	13,240
市 町 村 別 内 訳	宮 古 市	7,862
	山 田 町	1,522
	岩 泉 町	8,607
	田 野 畑 村	1,611
	久 慈 市	4,711
	洋 野 町	3,056
	野 田 村	479
	普 代 村	423

4 林道の開設及び拡張に関する計画

単位 延長 : km、面積 : ha

開設/ 拡張	種類	区分	位置 (市町村)	路線名	延長及び 箇所数	利用区 域面積	うち前半 5年分	対図 番号	備考	
開設	自動車道	指定林道	久慈市	水無	2.10	87	-			
				間瀬	1.50	71	○			
				間瀬明神	10.00	628	-			
		計		3路線	13.60					
		前期		1路線	1.50					
		後期		2路線	12.10					
		林道	洋野町	八木玉川	9.53	594	○			
				八木玉川2号	0.94	33	-			
				赤石南	3.40	150	○			
		計		3路線	13.87					
		前期		2路線	12.93					
		後期		1路線	0.94					
		林業専用道	野田村	玉川和野平	1.90	134	○			
		計		1路線	1.90					
		前期		1路線	1.90					
		後期		0路線	0.00					
	林道	宮古市	指定林道	巢食沢	1.00	100	○			
				高倉沢	5.50	1,300	○			
				牛伏高徳	7.40	729	○			
				沖	2.00	70	○			
				落合	2.30	100	○			
				平沢	3.20	544	○			
				押角岩穴	4.30	486	○			
				根田茂区界	1.30	1,000	○			
				尻石土沢	2.00	450	○			
				小国	1.50	240	○			

開設/ 拡張	種類	区分	位置 (市町村)	路線名	延長及び 箇所数	利用区 域面積	うち前半 5年分	対図 番号	備考
開設	林道	宮古市		西 家	0.50	41	○		
				山桑飛の沢	2.70	275	-		
				柴 野 飛	3.50	353	-		
				八木沢・花輪	3.50	70	-		
				花輪・老木	3.50	50	-		
				千 鷄	3.00	90	-		
				前刈倉ノ沢	6.50	1,162	-		
				高 取	3.30	876	-		
				伊 佐 内	2.50	308	-		
				小 槌	2.10	122	-		
				うまだの沢	0.60	161	-		
				ブドウ沢	1.20	68	-		
				西山岩田	4.50	2,500	-		
				明戸達曾部	2.00	361	-		
自動車道	自動車道	山田町		川 内	2.00	640	-		
				中 の 又	1.50	400	-		
				大 洞 沢	0.50	140	-		
				向 大 烟	1.50	370	-		
				門 馬	0.50	49	-		
				計	39 路線	89.40			
				前 期	21 路線	44.50			
				後 期	18 路線	44.90			
				林道	山田町	那智畠	1.50	86	○
				計	1 路線	1.50			
				前 期	1 路線	1.50			
				後 期	0 路線	0.00			
指定林道	指定林道	岩泉町		三 田 貝	4.39	310	○		
				松 橋	1.20	1,192	○		
				関 の 沢	6.20	620	○		
				作 沢	3.50	303	○		
				計	4 路線	15.29			
				前 期	4 路線	15.29			
				後 期	0 路線	0.00			
				指定林道	田野畠村	平波沢	5.20	288	○
				計	1 路線	5.20			
				前 期	1 路線	5.20			
				後 期	0 路線	0.00			

開設/ 拡張	種類	区分	位置 (市町村)	路線名	延長及び 箇所数	利用区 域面積	うち前半 5年分	対図 番号	備考
計画区			合計	52 路線	140.76				
			前期	31 路線	82.82				
			後期	21 路線	57.94				
改良 舗装	改良 舗装	林道 久慈市	岡沢	0.02	760	○			
			矢野沢	0.02	579	○			
			岩井川	0.03	736	○			
			間刈沢	0.01	233	○			
			明神沢	0.01	607	○			
			赤川	0.02	151	-			
			つなぎ沢橋	0.01	62	-			
			石宇	0.01	52	-			
			茅森	0.04	771	-			
			寺里	1.80	42	-			
			柏木	3.70	159	-			
			赤川	1.90	151	-			
			計	12 路線	7.57				
			前期	5 路線	0.09				
			後期	7 路線	7.48				
拡張	改良 舗装	林道 野田村	中沢広内	1.30	35	○			
			玉川2号	1.78	161	○			
			中沢広内	1.30	35	○			
			計	3 路線	4.38				
			前期	3 路線	4.38				
			後期	0 路線	0.00				
改良	改良	林道 宮古市	相沢	0.75	240	○			
			倉の沢	2.50	1,872	○			
			坂本沢	2.00	1,492	○			
			土沢	1.00	536	○			
			桜庭	0.50	137	○			
			向田	0.50	358	○			
			坂本	0.50	53	○			
			折巣内沢	1.00	180	○			
			夏屋	1.00	95	○			
			留内	1.00	243	○			
			明戸	0.50	40	○			
			小坂	1.20	233	○			
			川目	18.02	5,774	○			
			末前鋤の沢	10.50	520	○			

開設/ 拡張	種類	区分	位置 (市町村)	路線名	延長及び 箇所数	利用区 域面積	うち前半 5年分	対図 番号	備考		
拡張	改良	林道	宮古市	芋野	1.21	1,216	○				
				豊峰沢	0.01	322	○				
				平沢	0.01	544	○				
				安谷沢	0.01	447	○				
				三ツ石	0.01	3,245	○				
				三垂	0.01	441	○				
				鬼米内	0.01	810	○				
				大鰐谷	0.01	249	○				
				うまだの沢	1.20	103	-				
				大柴	1.00	130	-				
				横沢荒川	1.00	7,255	-				
				折壁	1.50	506	-				
				安庭害鷹森	1.00	757	-				
				櫻野	1.00	58	-				
	舗装			野星	1.00	71	-				
				板木沢2号	1.00	148	-				
				三垂	1.00	441	-				
				寺の沢	1.00	227	-				
				向の沢	1.00	104	-				
				岩突張	0.50	162	-				
				片金	0.30	112	-				
				末前青倉	0.01	61	-				
				沼の浜新田	2.40	111	○				
				坂本沢	0.60	1,492	○				
				大鰐谷	2.50	249	-				
				芋野	2.00	269	-				
				青倉	3.00	465	-				
舗装	計			40路線	65.26						
	前期			24路線	45.25						
	後期			17路線(1)	20.01						
	舗装	林道	山田町	間木戸	2.14	226	○				
	計			1路線	2.14						
改良	前期			1路線	2.14						
	後期			0路線	0.00						
	指定林道	岩泉町		メンズクメ	0.30	1,118	○				
				松橋	5.80	1,192	○				
				大沢	1.50	703	○				
				惣畠向	0.88	85	○				

単位 延長 : km、面積 : ha

開設/ 拡張	種類	区分	位置 (市町村)	路線名	延長及び 箇所数	利用区 域面積	うち前半 5年分	対図 番号	備考	
拡張	改良 林道	指定林道	岩泉町	ナイヨウ沢	1.52	58	○			
				八戸・川内	0.08	6,988	○			
				泉沢	0.01	1,320	○			
		計		7路線	10.09					
		前期		7路線	10.09					
		後期		0路線	0.00					
計画区			合計	63路線	89.44					
			前期	40路線	61.95					
			後期	24路線(1)	27.49					

注 () 内の数値は、前期からの継続路線で内数字である。

5 保安林の整備及び治山事業に関する計画

(1) 保安林として管理すべき森林の種類別面積等

① 保安林として管理すべき森林の種類別の計画期末面積

単位 面積 : ha

保 安 林 の 種 類	面 積		備 考
		うち前半5年分	
総 数 (実 面 積)	36,022	34,138	
水源涵養のための保安林	17,773	16,003	
災害防備のための保安林	15,841	15,731	
保健、風致の保存等のための保安林	2,408	2,404	

注 総数欄は、2以上の目的を達成するために指定される保安林があるため、水源涵養のための保安林等の内訳の合計に一致しないことがある。

② 計画期間内において保安林の指定又は解除を相当とする森林の種類別の所在及び面積等

単位 面積 : ha

指定 ／ 解除	種 類	森 林 の 所 在		面 積		指 定 又 は 解 除 を 必 要 と す る 理 由	備 考
		市 町 村	区 域		うち前半 5 年 分		
指 定 定	水 源 か ん 養	宮 古 市	刈 屋	100	50	水源の涵養	
			腹 帯	200	100		
			墓 目	50	25		
			茂 市	50	25		
			和 井 内	100	50		
			江 繫	250	125		
			小 国	50	25		
			片 巢	50	25		
			川 井	280	140		
			川 内	50	25		
			鈴 久 名	50	25		
			夏 屋	50	25		
			箱 石	50	25		
			古 田	50	25		
		山 田 町	豊 間 根	90	45		
			荒 川	50	25		

単位 面積 : ha

指定 解除	種類	森林の所在		面積	指定又は解除を必要とする理由	備考
		市町村	区域			
指 定 か ん 養	水 源	岩 泉 町	浅 内	50	25	水源の涵養
			安 家	100	50	
			穴 沢	50	25	
			尼 額	50	25	
			岩 泉	50	25	
			大 川	50	25	
			乙 茂	50	25	
			小 本	50	25	
			門	50	25	
			上 有 芸	50	25	
			鼠 入	50	25	
			中 里	50	25	
			中 島	50	25	
			二 升 石	50	25	
	ん 養	田 野 畑 村	襲 野	50	25	
			襲 綿	50	25	
			萩 牛	50	25	
			沼 袋	50	25	
			田 代	50	25	
	久 慈 市	久 慈 市	蝦 夷 森	50	25	
			三 沢	50	25	
		野 田 村	山 根 町	402	201	
			山 形 町	402	201	
	野 田 村		玉 川	122	61	
	計			3,546	1,773	
	前 期			1,773		
	後 期			1,773		

単位 面積 : ha

指定 解除	種類	森林の所在		面積	うち前半 5年分	指定又は解除を 必要とする理由	備考
		市町村	区域				
指 害 防 定 備	災 害 防 定 備	宮古市	板屋	2	1	土砂の流出の防備 土砂の崩壊の防備	
			重茂	5	3		
			小沢	2	1		
			津軽石	2	1		
			長沢	5	3		
			長根	2	1		
			根市	2	1		
			山口	5	3		
			老木	5	3		
			田老	10	5		
			和井内	5	3		
			小国	5	3		
			川井	25	13		
			古田	2	1		
		山田町	荒川	10	5		
			飯岡	2	1		
			大沢	5	3		
			織笠	2	1		
			船越	5	3		
			山田	5	3		
	岩泉町	岩泉町	二升石	20	10		
			岩泉	10	5		
			乙茂	5	3		
	田野畠村	田野畠村	島越	20	10		
			年呂部	10	5		
			田野畠	20	10		
			羅賀	5	3		
	久慈市	小久慈、宇部ほか	32	21			
	野田村	野田、玉川	12	6			
	普代村	普代、太田名部ほか	12	6			
	計		252	137			
	前期		137				
	後期		115				

単位 面積 : ha

指定 解除	種類	森林の所在		面積		指定又は解除を必要とする理由	備考
		市町村	区域		うち前半 5年分		
指 定	保健 ・ 風致 等	宮古市	田老	2	1	公衆の保健	
		山田町	船越	3	2		
		久慈市	山形町	7	4		
		計		12	7		
		前期		7			
		後期		5			
	合 計			3,810	1,917		
	前 期			1,917			
	後 期			1,893			
解 除	水源 かん 養	久慈市	山根町、山形町ほか	4	2	公益上の理由	
		野田村	玉川	2	1		
		計		6			
		前 期		3			
		後 期		3			
	災 害 防 備	宮古市	腹帶	2	1	公益上の理由	
		宮古市	川内	2	2		
		岩泉町	釜津田	2	1		
		久慈市	小久慈、宇部ほか	2	1		
		野田村	野田、玉川	2	1		
		普代村	普代、太田名部ほか	2	1		
		計		12			
		前 期		7			
		後 期		5			
	保健 ・ 風致 等	久慈市	大川目町、山形町	2	1	公益上の理由	
		計		2			
		前 期		1			
		後 期		1			
	合 計			20			
	前 期			11			
	後 期			9			

注 該当がないものは「-」で示した。

③ 計画期間内において指定施業要件の整備を相当とする森林の面積

単位 面積：ha

種類	指定期間内における指定施業要件の整備区分				
	伐採の方法の変更面積	皆伐面積の変更面積	択伐率の面積	間伐率の面積	植栽の変更面積
水源かん養	—	—	100	500	100
災害防備	—	—	500	2,000	500
保健、風致の保存等	—	—	—	300	—
計	—	—	600	2,800	600

注 該当がないものは「-」で示した。

(2) 保安施設地区として指定することを相当とする土地の所在及び面積等

該当なし。

(3) 実施すべき治山事業の数量

単位 地区

種類	森 林 の 所 在		治 山 事 業 施 行 地 区 数		主 な 工 種	備 考
	市 町 村	区 域		うち前半 5 年 分		
保 安 林 整 備	野 田 村	前 浜	1	1	森林整備	
	計		1	1		
	前 期		1			
	後 期		-			
山 地 治 山	宮 古 市	赤 前	1	1	渓間工	
		刈 屋	2			
		和 井 内	2	1		
		川 井	2	2		山腹工、渓間工
		鈴 久 名	1	1	山腹工	
	山 田 町	飯 岡	2	1	山腹工	
		織 笠	1		渓間工	
		船 越	1	1		
	岩 泉 町	岩 泉	1	1	山腹工	
		安 家	1		渓間工	
		浅 内	1	1		
		大 川	1	1		
		釜 津 田	1			
		鼠 入	3			
		中 里	1	1		
	田 野 畑 村	明 戸	1	1	渓間工	
		七 滝	1			
	久 慈 市	日 吉	1	1	渓間工	
		生 平	1	1		
		門 ノ 沢	1	1		
		枝 成 沢	1	1		
		早 坂	1	1		
		寺 里	2			
		小 出 町	1			
		玉 の 脇	1		山腹工	
山	洋 野 町	鹿 糖	1		山腹工	
	野 田 村	小 谷 地	1		山腹工	
	普 代 村	中 村	1	1	渓間工	
		普 代	1	1		
	計		36	19		
	前 期		19			
	後 期		17			

単位 地区

種類	森 林 の 所 在		治 山 事 業 施 行 地 区 数	主 な 工 種	備 考
	市 町 村	区 域			
合 計	合 計		37	20	
	前 期		20		
	後 期		17		

6 要整備森林の所在及び面積並びに要整備森林について実施すべき森林施業の方法及び時期

該当なし。

第7 その他必要な事項

1 保安林その他制限林の施業方法

単位 面積 : ha

種類	森 林 の 所 在 (林 班)		面 積	施業方法	備考
	市 町 村	区 域			
水 源 か ん	久慈市 (土流) (保健) (県立二)	84, 120, 130, 160, 166, 182, 196, 1439, 1451, 1459, 1462, 1475~1477, 1485, 1487, 1488, 1531~1534, 1537, 1542, 1547, 1548, 1560	2, 269. 74 (14. 56) (223. 03) (233. 09)	別紙1の とおり	注3 参照
	洋野町	1231, 1238	68. 31		
	野田村 (土流)	2~13, 21~41	1, 235. 53 (0. 12)		
	普代村	29	15. 50		
養 保 安 林	宮古市 (雪崩) (砂防指定)	59~63, 122, 1380, 1383, 2542, 2551~2570, 2609, 2621~2629, 2631~2655, 2667, 2668, 2671~2677, 2679~2682, 2684~2696, 2701~2707, 2777~2780, 2789~2792, 3027, 3045, 3050, 3074, 3080, 3148, 3149, 3181, 3182, 3273, 3274, 3275, 3278~3280, 3282~3284, 3287, 3304, 3306~3319, 3338, 3339, 3360, 3361	7, 839. 53 (0. 20) (5. 19)		
	岩泉町 (土流) (保健) (県立二)	109, 116, 186, 207, 215, 236, 367, 404, 407~411, 420~434, 549~551, 569~571, 577	2, 326. 92 (0. 80) (56. 30) (736. 45)		
	田野畠村	119, 125~127	250. 25		
	種類計 (土流) (雪崩) (保健) (砂防指定) (県立二)		14, 005. 78 (15. 48) (0. 20) (279. 33) (5. 19) (969. 54)		
土 砂 流 出 防 備 保 安 林	久慈市 (水かん) (飛砂) (魚つき) (保健) (砂防指定) (県立二)	2~4, 10~17, 21, 28, 33, 36~38, 55, 58, 59, 63~65, 71~75, 82~89, 175, 176, 178, 203~209, 218, 222, 228, 230~232, 234~237, 239~244, 246~248, 255~258, 262~264, 266~271, 291, 292, 1378, 1422, 1432, 1452, 1453, 1468, 1472, 1476, 1486, 1487, 1493, 1510, 1533, 1534, 1536, 1540, 1542, 1552	2, 243. 21 (14. 56) (0. 35) (1. 42) (104. 12) (0. 15) (91. 34)		
	洋野町 (干害) (保健)	86, 120, 123	71. 29 (15. 63) (40. 62)		
	野田村 (水かん) (土崩)	40, 48, 50, 51, 53, 70, 79, 82, 83	35. 22 (0. 12) (0. 19)		
	普代村 (土崩) (砂防指定) (国立二) (国立三)	9, 15, 16, 18, 19, 21, 32, 38, 39, 49~51, 53, 62	142. 39 (0. 17) (1. 49) (4. 66) (4. 54)		
	宮古市 (土砂) (雪崩) (砂防指定) (国立二) (国立三)	7, 15, 19, 20, 24, 32~34, 36, 55, 60, 62, 109, 110, 131, 132, 134, 144, 147, 148, 156, 158, 159, 161, 174, 177, 182, 186, 192, 214, 219, 233, 234, 240, 249~251, 309, 314, 1337, 1340, 1354~1356, 1389, 1395, 1398, 1402, 1407, 1414, 1415, 1429, 1430, 1434, 2444, 2450, 2452, 2453, 2456, 2464, 2471, 2532, 2544, 2546~2548, 2590, 2591, 2594, 2606, 2608, 2630, 2656, 2697~2701, 2721, 2724, 2725, 2762, 2763, 2769, 2803, 3006, 3007, 3013, 3026, 3030, 3034, 3036, 3037, 3041, 3046, 3047, 3063, 3065, 3072, 3073, 3074, 3079, 3089, 3091, 3095~3097, 3117, 3123, 3148, 3156~3160, 3165, 3166, 3177, 3183, 3188, 3189, 3192~3199, 3207, 3216~3219, 3222, 3228, 3229, 3237, 3240, 3246~3250, 3252~3256, 3265, 3266, 3274, 3287, 3291~3294, 3296, 3299, 3300, 3303~3305, 3329~3335, 3340, 3342~3345, 3347, 3348, 3350, 3354, 3355	3, 648. 71 (0. 03) (3. 58) (2. 95) (3. 43) (65. 72)		

種類	森 林 の 所 在 (林 班)		面 積	施業方法	備考
	市 町 村	区 域			
土砂流出防備保安装林	山田町 (国立二)	14, 17, 25, 30, 31, 37, 62, 66, 105, 114, 115, 121, 125	93.43 (1.01)	別紙1の とおり	注3 参照
	岩泉町 (水かん) (土崩) (砂防指定) (国立特) (史跡名勝)	3, 7~9, 11~15, 28~34, 36~38, 43, 45~52, 54, 59, 60, 62, 90, 92, 93, 94, 102~104, 106~108, 110, 112, 117, 118, 124, 125, 134, 143, 156, 157, 164~168, 181, 201, 202, 220, 231, 233, 241~250, 269~271, 281, 290, 291, 307, 308, 320, 327, 335, 344, 351, 354, 361, 364, 368, 369, 371~373, 379, 386, 388, 437~440, 443, 450, 452, 453, 461, 462, 474, 476~479, 481, 482, 487, 495, 505, 511~513, 515, 519, 524, 525, 540, 541, 546~548, 552~555, 559, 560, 565, 566, 569, 571, 578, 607, 609, 661, 662	6,513.50 (0.80) (8.31) (7.57) (0.12) (107.14)		
	田野畠村	11, 14, 15, 22, 40, 50~52, 59, 75, 76, 78, 87, 88, 124	64.26		
	種類計 (水かん) (土崩) (飛砂) (干害) (雪崩) (魚つき) (保健) (砂防指定) (国立特) (国立二) (国立三) (県立二) (史跡名勝)		12812.01 (15.48) (8.70) (0.35) (15.63) (3.58) (1.42) (144.74) (12.16) (0.12) (9.10) (70.26) (91.34) (107.14)		
	久慈市 (魚つき) (保健) (砂防指定) (国立二) (県立二)	2, 5, 14, 34, 42, 53, 54, 68~70, 75, 87~90, 177~179, 195~197, 200, 206, 223, 234, 236, 237, 239, 244, 255, 262, 266, 267, 269, 271, 272, 276 1542, 1555	237.75 (14.53) (30.17) (6.13) (11.85) (30.67)		
	洋野町	1197, 1214	5.64		
	野田村 (土流) (魚つき) (国立二) (国立三)	1, 45, 47, 48, 73, 80, 82, 83	20.51 (0.19) (15.92) (1.22) (3.06)		
	普代村 (土流)	9, 32, 54	4.42 (0.17)		
	宮古市 (土流) (魚つき) (国立一) (国立二) (鳥保護) (都市風致) (急傾斜)	71, 76, 93, 145, 154, 155, 158, 159, 177, 192, 222, 269, 1352, 1384, 1389, 1422, 1428, 1429, 1431, 1433, 2437, 2440, 2443, 2457, 2459, 2485, 2486, 2491, 2494, 2495, 2498, 2501, 2505, 2555, 2556, 2569, 2586, 2590, 2597, 2620, 2630, 2661, 2664, 2665, 3005, 3012, 3016, 3018, 3020, 3044, 3053, 3054, 3068, 3143, 3192, 3211, 3212, 3238, 3239, 3250, 3252~3254, 3256, 3292 ~3296, 3298, 3299, 3335~3337, 3339, 3341, 3345, 3346, 3353, 3356, 3357	540.74 (0.03) (2.58) (0.92) (1.68) (0.35) (0.35) (0.35)		
	山田町 (潮害) (魚つき) (国立二) (史跡名勝)	21, 24, 52~54, 56	17.89 (0.53) (12.80) (13.33) (3.28)		
	岩泉町 (土流) (保健) (砂防指定) (史跡名勝)	13, 29, 30, 33, 142~144, 149, 159, 161, 162, 164, 165, 168, 170, 174, 175, 177, 179~181, 184, 185, 187~193, 199, 200, 203, 204, 207~209, 211~214, 216, 220, 229, 233, 234, 238, 239, 242~244, 248, 251~253, 268, 279, 280, 286, 296, 299~301, 303, 305~308, 311, 313~317, 327, 353, 354, 361, 364, 365, 373~376, 388~391, 397~400, 436, 440, 444, 445, 450, 465, 482, 483, 487, 489~492, 494, 496, 497, 516, 523, 528, 529, 545, 551, 561, 566, 567, 575, 580	1,073.04 (8.31) (147.62) (4.56) (61.17)		

種類	森 林 の 所 在 (林 班)		面 積	施業方法	備考
	市 町 村	区 域			
土砂崩壊防備保安林	田野畠村 (魚つき) (国立特) (国立二) (史跡名勝)	24, 26, 37, 39, 58, 97	10.73 (1.24) (0.46) (0.14) (0.46)	別紙1の とおり	注3 参照
	種類計 (土流) (潮害) (魚つき) (保健) (砂防指定)		1,910.72 (8.70) (0.53) (47.07) (177.79)		
	(国立特)		(10.69)		
	(国立一)		(0.46)		
	(国立二)		(0.92)		
	(国立三)		(28.22)		
	(県立二)		(3.06)		
	(鳥保護)		(30.67)		
	(都市風致)		(0.35)		
	(史跡名勝)		(0.35)		
	(急傾斜)		(64.91)		
			(0.35)		
	久慈市 (土流) (魚つき)	37, 243	0.51 (0.35) (0.06)		
	洋野町	99	0.52		
飛砂防備保安林	宮古市	131	0.08		
	山田町	13	3.30		
	種類計 (土流) (魚つき)		4.41 (0.35) (0.06)		
	久慈市	294~296	6.59		
	洋野町	142, 143	14.88		
	野田村	43	25.37		
	普代村	61	0.62		
防風保安林	宮古市 (急傾斜)	219, 220	0.92 (0.92)		
	岩泉町	36, 41, 42, 114, 115, 122	132.13		
	種類計 (急傾斜)		180.51 (0.92)		
	久慈市	244, 295	2.36		
	洋野町	99, 105	2.47		
潮害防備保安林	野田村 (保健) (国立三)	50, 78, 80	14.82 (7.20) (5.68)		

種類	森 林 の 所 在 (林 班)		面 積	施業方法	備考
	市 町 村	区 域			
潮 害 防 備 保 安 林	普代村 (国立二)	52	1.65 (1.65)	別紙1の とおり	注3 参照
	宮古市 (保健) (国立特) (国立一) (国立二) (鳥保護) (都市風致) (史跡名勝) (急傾斜)	222, 255, 1321, 1374, 1417, 1430	42.99 (22.41) (3.04) (22.91) (8.40) (32.68) (34.35) (13.61) (3.38)		
	山田町 (土崩) (国立一) (国立二) (鳥保護) (史跡名勝)	13, 15, 17, 23, 53	29.97 (0.53) (21.89) (3.02) (21.89) (24.38)		
	岩泉町 (国立二)	1	1.90 (1.90)		
	田野畠村 (国立二)	13	4.85 (4.85)		
	種類計 (土崩) (保健) (国立特) (国立一) (国立二) (国立三) (鳥保護) (都市風致) (史跡名勝) (急傾斜)		101.01 (0.53) (29.61) (3.04) (44.80) (19.82) (5.68) (54.57) (34.35) (37.99) (3.38)		
	洋野町 (土流) (保健)	86	76.47 (15.63) (51.73)		
	田野畠村 (保健) (国立三)	5~8	21.20 (21.20) (0.75)		
	種類計 (土流) (保健) (国立三)		97.67 (15.63) (72.93) (0.75)		
干 害 防 備 保 安 林 な だ れ 防 止 保 安 林	久慈市	172, 183, 188, 189, 194	10.65		
	宮古市 (水かん) (土流)	1380, 1383, 1384, 1436, 2496, 2507, 3237, 3239, 3240, 3250~3252	152.82 (0.20) (3.58)		
	岩泉町 (史跡名勝)	243, 247, 618	6.83 (1.17)		
	種類計 (水かん) (土流) (史跡名勝)		170.30 (0.20) (3.58) (1.17)		

種類	森 林 の 所 在 (林 班)		面 積	施業方法	備考
	市 町 村	区 域			
落石防 止保 安林	久慈市 (魚つき) (国立二)	305	2.09 (2.09) (2.09)	別紙1の とおり	注3 参照
	宮古市	2506, 2508, 3358	73.96		
	種類計 (魚つき) (国立二)		76.05 (2.09) (2.09)		
	久慈市 (土流) (土崩) (飛砂) (落石) (砂防指定) (国立一) (国立二)	32~34, 36~38, 41~43, 52, 54, 295, 297, 300, 305, 306, 308~310, 312, 314, 315	172.01 (1.42) (14.53) (0.06) (2.09) (7.75) (10.71) (80.68)		
	洋野町	9, 10, 25, 26, 43, 53, 59, 99, 104, 143	30.26		
	野田村 (土崩) (国立二) (国立三)	1, 40, 44, 45, 48~50, 80	79.63 (15.92) (20.85) (25.69)		
	普代村 (国立一) (国立二) (国立三)	1, 2, 10, 18, 19, 53, 54, 61~63, 65	109.64 (13.15) (79.56) (2.93)		
	宮古市 (土崩) (保健) (国立特) (国立一) (国立二) (国立三) (鳥保護) (都市風致) (史跡名勝)	2, 4, 7, 12~14, 21, 22, 28, 30, 34, 35, 37~42, 45, 46, 74~76, 87, 221, 228 ~233, 235, 239, 240, 255, 256, 259, 1321~1324, 1387~1390, 1393, 1395, 1396, 1405~1407, 1412, 1413, 1416, 1417, 1430, 1431	802.50 (2.58) (7.32) (35.25) (199.66) (332.07) (166.33) (5.82) (13.17) (29.37)		
	山田町 (土流) (国立特) (国立二) (国立三) (史跡名勝)	2~8, 13, 17, 18, 24, 25, 54, 70, 78	193.15 (12.80) (39.08) (102.94) (1.15) (16.25)		
	岩泉町 (国立二)	1, 2	33.36 (28.02)		
林	田野畠村 (土崩) (国立特) (国立二) (国立三) (史跡名勝)	1, 2, 8, 9, 12, 13, 24, 26, 27, 37, 39, 40, 42, 43, 124	143.88 (1.24) (59.32) (56.32) (0.26) (13.36)		
	種類計 (土流) (土崩) (飛砂)		1, 564.43 (1.42) (47.07) (0.06)		

種類	森 林 の 所 在 (林 班)		面 積	施業方法	備考
	市 町 村	区 域			
魚 つ き 保 安 林	種類計 (落石) (保健) (砂防指定) (国立特) (国立一) (国立二) (国立三) (鳥保護) (都市風致) (史跡名勝)		(2.09) (7.32) (7.75) (133.65) (223.52) (700.44) (196.36) (5.82) (13.17) (58.98)	別紙1の とおり	注3 参照
	久慈市 (水かん) (土流) (土崩) (県立二)	196, 197, 200, 203~208, 230, 1459, 1462, 1487, 1533, 1534, 1536, 1537, 1542	386.97 (223.03) (104.12) (30.17) (366.07)		
	洋野町 (土流) (干害)	86	92.35 (40.62) (51.73)		
	野田村 (潮害) (国立三)	77, 78	12.66 (7.20) (5.68)		
	宮古市 (潮害) (魚つき) (国立一) (国立二) (鳥保護) (都市風致) (史跡名勝) (急傾斜)	222, 231	30.41 (22.41) (7.32) (22.01) (8.40) (21.24) (22.91) (1.67) (3.38)		
	山田町	19	34.24		
	岩泉町 (水かん) (土崩) (砂防指定) (県立二)	213, 214, 430~432	203.93 (56.30) (147.62) (2.02) (56.31)		
	田野畠村 (干害) (国立三)	5~8	21.20 (21.20) (0.75)		
	種類計 (水かん) (土流) (土崩) (潮害) (干害) (魚つき) (砂防指定) (国立一) (国立二) (国立三) (県立二) (鳥保護) (都市風致) (史跡名勝) (急傾斜)		781.76 (279.33) (144.74) (177.79) (29.61) (72.93) (7.32) (2.02) (22.01) (8.40) (6.43) (422.38) (21.24) (22.91) (1.67) (3.38)		

種類	森 林 の 所 在 (林 班)		面 積	施業方法	備考
	市 町 村	区 域			
風致保安林	久慈市	1414, 1423	2.61	別紙1の とおり	注3 参照
	宮古市	180, 184, 2460, 2462, 3205, 3212, 3252	18.07		
	岩泉町	195	0.68		
	種類計		21.36		
砂防指定期地	久慈市 (土流) (土崩) (魚つき) (国立二)	20, 26, 32~34, 37, 38, 40, 41, 51, 52, 54, 230, 235, 239, 240, 243, 249, 250, 253, 273, 1376, 1462, 1465, 1493, 1502, 1504, 1518, 1519, 1551, 1552	100.69 (0.15) (6.13) (7.75) (6.21)	別紙2の とおり	
	洋野町	79, 82, 116, 127, 1222	10.36		
	野田村	53, 54, 62, 68, 69	18.31		
	普代村 (土流)	3, 41~45, 50, 53	14.37 (1.49)		
	宮古市 (水かん) (土流) (国立二) (鳥保護) (都市風致) (急傾斜)	47, 53, 54, 69, 70, 71, 118, 119, 127, 131, 139, 145, 150, 151, 152, 197, 198, 210, 213, 218, 221, 222, 234, 235, 275, 276, 279, 282, 284, 290~293, 316, 1346, 1354, 1356, 1357, 1359, 1360, 1371~1373, 1375, 1376, 1386, 1410, 2494, 2503, 2504, 2547, 2548, 2616, 2617, 2658, 2659, 2684, 2686, 2696~2699, 2701, 2707, 3045~3047, 3121, 3122, 3125, 3126, 3129, 3130, 3138, 3263, 3276, 3277, 3299, 3336, 3337, 3341, 3342	147.19 (5.19) (2.95) (0.07) (0.07) (0.07) (0.03)		
	山田町	23, 41, 43, 62, 63, 100, 104, 105, 112, 114	17.34		
	岩泉町 (土流) (土崩) (保健)	1, 5, 6, 8, 9, 16, 17, 19~21, 23, 38, 39, 43~45, 126, 139, 194, 196, 197, 205, 206, 213, 214, 244, 245, 247, 250~252, 259~262, 326, 356, 361, 362, 366, 374, 380, 397, 440, 441, 444, 446, 468, 492, 493, 500, 504, 514, 517, 518, 523, 527~529, 531, 536~538, 542, 545, 562, 563, 565, 578, 579	118.33 (7.57) (4.56) (2.02)		
	田野畠村	15, 16, 18, 19, 30, 35~38, 58, 92, 93, 95, 105, 112, 116, 119, 120, 122	18.37		
	種類計 (水かん) (土流) (土崩) (魚つき) (保健) (国立二) (鳥保護) (都市風致) (急傾斜)		444.96 (5.19) (12.16) (10.69) (7.75) (2.02) (6.28) (0.07) (0.07) (0.03)		
特別保護公園地区	宮古市 (潮害) (魚つき) (鳥保護) (都市風致) (史跡名勝)	222, 232, 1321~1323	46.38 (3.04) (35.25) (8.86) (3.04) (21.32)		

種類	森 林 の 所 在 (林 班)		面 積	施業方法	備考
	市 町 村	区 域			
國 立 公 園 特 別 保 護 地 區	山田町 (魚つき) (史跡名勝)	2, 3	39.08 (39.08) (8.30)	別紙2の とおり	
	岩泉町 (土流)	7	0.12 (0.12)		
	田野畠村 (土崩) (魚つき) (史跡名勝)	6, 8, 9, 12, 13, 24, 26, 27	64.47 (0.46) (59.32) (10.09)		
	種類計 (土流) (土崩) (潮害) (魚つき) (鳥保護) (都市風致) (史跡名勝)		150.05 (0.12) (0.46) (3.04) (133.65) (8.86) (3.04) (39.71)		
	久慈市 (魚つき)	297, 300, 314, 315	15.52 (10.71)		
	普代村 (魚つき)	62, 63, 65	38.40 (13.15)		
	宮古市 (土崩) (潮害) (魚つき) (保健) (鳥保護) (都市風致) (史跡名勝)	14, 21, 22, 27, 28, 30, 34, 35, 37, 38, 222, 228~231, 233, 1387~1389	291.81 (0.92) (22.91) (199.66) (22.01) (28.90) (28.90) (14.19)		
	山田町 (潮害) (鳥保護) (史跡名勝)	13, 17	24.62 (21.89) (21.89) (23.52)		
	種類計 (土崩) (潮害) (魚つき) (保健) (鳥保護) (都市風致) (史跡名勝)		370.35 (0.92) (44.80) (223.52) (22.01) (50.79) (28.90) (37.71)		
國 立 公 園 第 一 種 特 別 地 域	久慈市 (土崩) (落石) (魚つき) (砂防指定)	34~37, 41, 42, 297, 300, 305, 306, 308~310, 312, 314, 315	123.96 (11.85) (2.09) (80.68) (6.21)		
	野田村 (土崩) (魚つき)	41, 44, 45, 48, 49	29.99 (1.22) (20.85)		
	普代村 (土流) (潮害) (魚つき)	1, 10, 18, 19, 52~54, 61, 62	164.40 (4.66) (1.65) (79.56)		

種類	森 林 の 所 在 (林 班)		面 積	施業方法	備考
	市 町 村	区 域			
国 立 公 園 第 一 種 特 別 地 域	宮古市 (土流) (土崩) (潮害) (魚つき) (保健) (砂防指定) (鳥保護) (都市風致) (史跡名勝) (急傾斜)	2, 4, 11~14, 23, 39~41, 221, 222, 228, 229, 231, 233, 235, 239, 240, 255, 256, 259, 1321, 1323, 1324, 1387, 1389, 1390, 1392, 1393, 1395, 1396, 1404~1407, 1412, 1413, 1416, 1417, 1430, 1431	560.02 (3.43) (1.68) (8.40) (332.07) (8.40) (0.07) (17.56) (33.16) (15.65) (14.95)	別紙2の とおり	
	山田町 (土流) (土崩) (潮害) (魚つき) (史跡名勝)	2~8, 13~18, 24, 25, 53, 54	335.22 (1.01) (13.33) (3.02) (102.94) (10.44)		
	岩泉町 (潮害) (魚つき)	1, 2, 40	46.38 (1.90) (28.02)		
	田野畠村 (土崩) (潮害) (魚つき)	1, 2, 6, 9, 11~13, 24, 27, 40, 42, 43, 124	129.29 (0.14) (4.85) (56.32)		
	種類計 (土流) (土崩) (潮害) (落石) (魚つき) (保健) (砂防指定) (鳥保護) (都市風致) (史跡名勝) (急傾斜)		1,389.26 (9.10) (28.22) (19.82) (2.09) (700.44) (8.40) (6.28) (17.56) (33.16) (26.09) (14.95)		
	久慈市	310	14.30		
	野田村 (土崩) (潮害) (魚つき) (保健)	41, 44, 45, 47~50, 78	53.15 (3.06) (5.68) (25.69) (5.68)		
	普代村 (土流) (魚つき)	61~65	33.13 (4.54) (2.93)		
	宮古市 (土流) (魚つき)	31~34, 36, 39, 40, 1389, 1390	432.80 (65.72) (166.33)		
	山田町 (魚つき)	4~8	281.46 (1.15)		

種類	森 林 の 所 在 (林 班)		面 積	施業方法	備考
	市 町 村	区 域			
国 立 公 園	田野畠村 (干害) (魚つき) (保健)	1, 2, 5, 6, 8, 9, 11	50.76 (0.75) (0.26) (0.75)	別紙2の とおり	
第 三 種 特 別 地 域	種類計 (土流) (土崩) (潮害) (干害) (魚つき) (保健)		865.60 (70.26) (3.06) (5.68) (0.75) (196.36) (6.43)		
県 立 自 然 公 園	久慈市 (水かん) (土流) (土崩) (保健)	180, 181, 190, 196, 197, 200, 203~209, 1383, 1384, 1459~1462, 1471, 1487, 1533, 1534, 1536, 1537, 1542, 1560	601.96 (233.09) (91.34) (30.67) (366.07)		
園 第 二 種 特 別 地 域	岩泉町 (水かん) (保健)	423~434, 667	920.81 (736.45) (56.31)		
種 特 別 地 域	種類計 (水かん) (土流) (土崩) (保健)		1,522.77 (969.54) (91.34) (30.67) (422.38)		
第 県 三 立 種 自 然 公 園	久慈市	1460, 1499, 1560	206.78		
	岩泉町	667	27.39		
	種類計		234.17		
鳥 獸 保 護 区 特 別 保 護 地 区	宮古市 (土崩) (潮害) (魚つき) (保健) (砂防指定) (国立特) (国立一) (国立二) (都市風致) (史跡名勝) (急傾斜)	222, 232	55.32 (0.35) (32.68) (5.82) (21.24) (0.07) (8.86) (28.90) (17.56) (47.51) (23.34) (13.78)		

種類	森 林 の 所 在 (林 班)		面 積	施業方法	備考
	市 町 村	区 域			
鳥 獸 保 護 区 特 別 保 護 地 区	山田町 (潮害) (国立一) (史跡名勝)	17	(21.89) (21.89) (21.89) (21.89)	別紙2の とおり	
都 市 計 画 法 に よ る 風 致 地 区	種類計 (土崩) (潮害) (魚つき) (保健) (砂防指定) (国立特) (国立一) (国立二) (都市風致) (史跡名勝) (急傾斜)	221, 222	77.21 (0.35) (54.57) (5.82) (21.24) (0.07) (8.86) (50.79) (17.56) (47.51) (45.23) (13.78)		
史 に 跡 か 名 か 勝 天 る 然 森 記 念 林 物	宮古市 (土崩) (潮害) (魚つき) (保健) (砂防指定) (国立特) (国立一) (国立二) (鳥保護) (史跡名勝) (急傾斜)	221, 222, 228, 232, 234, 236, 1321, 1322	110.77 (0.35) (34.35) (13.17) (22.91) (0.07) (3.04) (28.90) (33.16) (47.51) (32.75) (11.79)		
	種類計 (土崩) (潮害) (魚つき) (保健) (砂防指定) (国立特) (国立一) (国立二) (鳥保護) (史跡名勝) (急傾斜)		110.77 (0.35) (34.35) (13.17) (22.91) (0.07) (3.04) (28.90) (33.16) (47.51) (32.75) (11.79)		
	宮古市 (潮害) (魚つき) (保健) (国立特) (国立一) (国立二) (鳥保護) (史跡名勝) (都市風致)		54.81 (13.61) (29.37) (1.67) (21.32) (14.19) (15.65) (23.34) (32.75)		

種類	森 林 の 所 在 (林 班)		面 積	施業方法	備考
	市 町 村	区 域			
史跡名勝	山田町 (土崩) (潮害) (魚つき) (国立特) (国立一) (国立二) (鳥保護)	2, 13, 15, 17, 54	43.41 (3.28) (24.38) (16.25) (8.30) (23.52) (10.44) (21.89)	別紙2の とおり	
	岩泉町 (土流) (土崩) (雪崩)	207, 239, 242, 314, 347, 351, 387, 388, 615, 617~619, 661	456.55 (107.14) (61.17) (1.17)		
	田野畠村 (土崩) (魚つき) (国立特)	26, 27, 47	15.80 (0.46) (13.36) (10.09)		
	種類計 (土流) (土崩) (潮害) (雪崩) (魚つき) (保健) (国立特) (国立一) (国立二) (鳥保護) (都市風致)		570.57 (107.14) (64.91) (37.99) (1.17) (58.98) (1.67) (39.71) (37.71) (26.09) (45.23) (32.75)		
	岩泉町	205~207	165.34		
	田野畠村	65, 69, 70, 85~87, 89~91	76.38		
	種類計		241.72		
県指定特別自然環境保全地区	宮古市	218	22.49		
	種類計		22.49		
急傾斜地崩壊危険区域	久慈市	32, 230	1.03		
	洋野町	36, 1205	1.54		
	野田村	72, 77, 83	0.27		
	普代村	20	0.15		
	宮古市 (土崩) (防風) (潮害) (保健) (砂防指定) (国立二) (鳥保護) (都市風致)	76, 87, 210, 213, 219~222, 1374~1376, 1378, 1388, 2494, 2504, 3256, 3341	56.81 (0.35) (0.92) (3.38) (3.38) (0.03) (14.95) (13.78) (11.79)		

種類	森 林 の 所 在 (林 班)		面 積	施業方法	備考
	市 町 村	区 域			
急 傾 斜	山田町	15, 16, 23, 52, 56	4.30		
地 崩 壊 危 険 区 域	岩泉町	3, 194, 561	1.86		
	種類計 (土崩) (防風) (潮害) (保健) (砂防指定) (国立二) (鳥保護) (都市風致)		65.96 (0.35) (0.92) (3.38) (3.38) (0.03) (14.95) (13.78) (11.79)		別紙2の とおり

注1 制限林の種類名の略字は下記のとおりである。

水かん	= 水源かん養保安林	砂防指定	= 砂防指定地
土流	= 土砂流出防備保安林	国立特	= 国立公園特別保護地区
土崩	= 土砂崩壊防備保安林	国立一	= 国立公園第1種特別地域
飛砂	= 飛砂防備保安林	国立二	= 国立公園第2種特別地域
防風	= 防風保安林	国立三	= 国立公園第3種特別地域
潮害	= 潮害防備保安林	県立二	= 県立自然公園第2種特別地域
干害	= 干害防備保安林	県立三	= 県立自然公園第3種特別地域
雪崩	= 雪崩防止保安林	鳥保護	= 鳥獣保護区特別保護地区
魚つき	= 魚つき保安林	都市風致	= 都市計画区域風致地区
保健	= 保健保安林	史跡名勝	= 史跡名勝天然記念物にかかる森林
		急傾斜	= 急傾斜地崩壊危険区域

2 市町村欄の（ ）書きは重複する他の制限林の種類であり、面積欄の（ ）書きはその面積の内数である。

3 表の備考の記載は下記のとおり

備考

ただし、平成13年度以前に指定した保安林で法改正による指定施業要件を変更していない保安林の指定施業要件は下記のとおりである。

1 拗伐

伐採年度ごとに拗伐による伐採をすることができる立木材積の限度は、当該伐採年度の初日におけるその森林の立木の材積に拗伐率（当該伐採年度の初日における当該森林の立木材積から前回の拗伐を終えたときの当該森林の立木の材積を減じて得た材積を当該伐採年度の初日における当該森林の立木の材積で除して得た割合をいい、その割合が10分の3を超えるときは10分の3とする。）を乗じた材積とする。ただし、保安林の指定後最初に行う拗伐にあっては、指定箇所ごとに定められている率を乗じた材積とする。

2 間伐

伐採年度ごとに間伐に係る伐採をすることができる立木の材積の限度は、原則として、当該伐採年度の初日における森林の立木の材積の10分の2を超えず、かつ、その伐採によりその森林に係る樹冠疎密度が10分の8を下ったとしても当該伐採年度の翌伐採年度の初日から起算しておおむね5年後においてその森林の当該樹冠疎密度が10分の8までに回復することが確実であると認められる範囲内の材積とする。

3 植栽

立木を伐採した後において当該伐採地が植栽によらなければ的確な更新が困難と認められるものについては、伐採が終了した日を含む伐採年度の翌伐採年度の初日から起算して2年以内に、満1年以上の苗をおおむね1ha当たり3,000本以上の割合で均等に分布するように植栽しなければならない。なお、樹種については各保安林ごとに定められているものに限る。

別紙1 保安林の指定施業要件

事 項	基 準
1 伐採の方法	<p>(1) 主伐に係るもの</p> <p>イ 水源の涵養又は風害、干害若しくは霧害の防備をその指定の目的とする保安林にあっては、原則として、伐採種の指定をしない。</p> <p>ロ 土砂の流出の防備、土砂の崩壊の防備、飛砂の防備、水害、潮害若しくは雪害の防備、魚つき、航行の目標の保存、公衆の保健又は名所若しくは旧跡の風致の保存をその指定の目的とする保安林にあっては、原則として、択伐による。</p> <p>ハ なだれ若しくは落石の危険の防止若しくは火災の防備をその指定の目的とする保安林又は保安施設地区内の森林にあっては、原則として、伐採を禁止する。</p> <p>ニ 伐採の禁止を受けない森林につき伐採をすることができる立木は、原則として、標準伐期齢以上のものとする。</p> <p>(2) 間伐に係るもの</p> <p>イ 主伐に係る伐採の禁止を受けない森林にあっては、伐採をすることができる箇所は、原則として、農林水産省令で定めるところにより算出される樹冠疎密度が10分の8以上の箇所とする。</p> <p>ロ 主伐に係る伐採の禁止を受ける森林にあっては、原則として、伐採を禁止する。</p>
2 伐採の限度	<p>(1) 主伐に係るもの</p> <p>イ 同一の単位とされる保安林等において伐採年度ごとに皆伐による伐採をすることができる面積の合計は、原則として、当該同一の単位とされる保安林等のうちこれに係る伐採の方法として択伐が指定されている森林及び主伐に係る伐採の禁止を受けている森林以外のものの面積の合計に相当する数を、農林水産省令で定めるところにより、当該指定の目的を達成するため相当と認められる樹種につき当該指定施業要件を定める者が標準伐期齢を基準として定める伐期齢に相当する数で除して得た数に相当する面積を超えないものとする。</p> <p>ロ 地形、気象、土壤等の状況により特に保安機能の維持又は強化を図る必要がある森林については、伐採年度ごとに皆伐による伐採をすることができる一箇所当たりの面積の限度は、農林水産省令で定めるところによりその保安機能の維持又は強化を図る必要の程度に応じ当該指定施業要件を定める者が指定する面積とする。</p> <p>ハ 風害又は霧害の防備をその指定の目的とする保安林における皆伐による伐採は、原則としてその保安林のうちその立木の全部又は相当部分がおおむね標準伐期齢以上である部分が幅20メートル以上にわたり帶状に残存することとなるようにするものとする。</p> <p>ニ 伐採年度ごとに択伐による伐採をすることができる立木の材積は、原則として、当該伐採年度の初日におけるその森林の立木の材積に相当する数に農林水産省令で定めるところにより算出される択伐率を乗じて得た数に相当する材積を超えないものとする。</p> <p>(2) 間伐に係るもの</p> <p>伐採年度ごとに伐採をすることができる立木の材積は、原則として、当該伐採年度の初日におけるその森林の立木の材積の10分の3.5を超えず、かつ、その伐採によりその森林に係る第1号(2)イの樹冠疎密度が10分の8を下ったとしても当該伐採年度の翌伐採年度の初日から起算しておおむね5年後においてその森林の当該樹冠疎密度が10分の8以上に回復することが確実であると認められる範囲内の材積を超えないものとする。</p>
3 植栽	<p>(1) 方法に係るもの</p> <p>満1年以上の苗を、おおむね、1ヘクタール当たり伐採跡地につき適確な更新を図るために必要なものとして農林水産省令で定める植栽本数以上の割合で均等に分布するように植栽するものとする。</p> <p>(2) 期間に係るもの</p> <p>伐採が終了した日を含む伐採年度の翌伐採年度の初日から起算して2年以内に植栽するものとする。</p> <p>(3) 樹種に係るもの</p> <p>保安機能の維持又は強化を図り、かつ、経済的利用に資することができる樹種として指定施業要件を定める者が指定する樹種を植栽するものとする。</p>

森林法施行令第4条別表第2 抜粋

別紙2 自然公園等の施業方法

区分	施業の方法
国立公園 特別保護地区	禁伐とする。 木竹に損傷を及ぼす行為等については、「自然公園法」第21条第3項の規定に基づき環境大臣の許可を受ける必要がある。
国立公園 第1種特別地区	1 単木択伐法によるものであること。この場合、「自然公園法」第20条第3項の規定に基づき環境大臣の許可を受ける必要がある。 2 単木択伐法は、次の基準に適合するものであること。 (1) 伐期齢は、標準伐期齢に見合う年齢に10年を加えたもの以上であること。 (2) 択伐率は、現在蓄積の10%以下であること。
国立公園 第2種特別地域	1 択伐法によるものにあっては、次の基準に適合するものであること。 (1) 伐期齢は標準伐期齢に見合う年齢以上であること。 (2) 択伐率は用材林においては、現在蓄積の30%以下とし、薪炭林においては、現在蓄積の60%以下であること。 (3) 公園事業に係る施設及び集団施設地区（以下「利用施設等」という。）の周辺において行われる場合にあっては、単木択伐法によるものであること。 2 皆伐法による場合その伐区は、次の基準に適合するものであること。 (1) 伐期齢は標準伐期齢に見合う年齢以上であること。 (2) 1伐区の面積は2ヘクタール以内とする。ただし、樹冠疎密度が3を超える場合又は利用施設等その他の主要な公園利用地点から望見されない場合は、伐区面積を増やすことができる。 (3) 当該伐区が、皆伐法による伐採が行われた後、更新して5年を経過していない伐区に隣接していないこと。 (4) 利用施設等の周辺において行われるものでないこと。 いずれも「自然公園法」第20条第3項の規定に基づき環境大臣の許可を受ける必要がある。
国立公園 第3種特別地域	全般的な風致の維持を考慮して施業を実施し、特に施業の制限を受けないものとする。 木竹に損傷を及ぼす行為等については、「自然公園法」第20条第3項の規定に基づき環境大臣の許可を受ける必要がある。
県立自然公園 第2種特別地域	伐採の方法は、国立公園第2種特別地域と同様とする。 木竹を伐採する場合は、「県立自然公園条例」第10条第4項の規定に基づき知事の許可を受ける必要がある。
県立自然公園 第3種特別地域	伐採の方法は、国立公園第3種特別地域と同様とする。 木竹を伐採する場合は、「県立自然公園条例」第10条第4項の規定に基づき知事の許可を受ける必要がある。
鳥獣保護区 特別保護地区	1 木竹を伐採する場合は、「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」第29条第7項の規定に基づき知事等の許可を受ける必要がある。 2 ただし、鳥獣の保護に支障がないと認められる単木択伐等を行う場合を除く。
都市計画法による 風致地区	1 皆伐 皆伐後の成林が確実と認められ、伐採区域の面積が1ヘクタールを越えないこと。 2 皆伐以外の伐採 建築物の建築その他工作物の建築または宅地の造成等の行為をするために必要最小限の伐採、森林の択伐または森林区域外の伐採であり、伐採の行われる土地及びその周辺の土地の区域における風致を損なう恐れが少ないと認められる場合。 3 木竹を伐採する場合には、風致地区内の建築等の規制に関する条例第3条に基づき知事の許可を受ける必要がある。
史跡名勝天然記念物	指定の目的に応じた施業を行う。 史跡名勝天然記念物に関し、その現状を変更し、又は保存に影響を及ぼす行為をする場合は、「文化財保護法」第125条第1項の規定に基づき文化庁長官の許可を受ける必要がある。
県指定自然環境保全地域 特別地区	1 30%以内の択伐とする。ただし、森林の群落構成に大きな変化を招くおそれの少ない場合は、例外として2ヘクタール以内の皆伐を行うことができるものとし、伐区はつとめて分散することとする。 2 特別地区内の野生動植物保護地区については、禁伐とする。ただし、森林の群落構成に大きな変化を招くおそれの少ない場合は、単木択伐をできるものとし、択伐率は現在蓄積の10%以内とする。 3 木竹を伐採する場合は、「岩手県自然環境保全条例」第15条第4項の規定に基づき知事の許可を受ける必要がある。

区分	施業の方法
県環境緑地保全地域	伐採は、自然環境の保全に支障をおよぼさないよう配慮して行うものとする。 木竹を伐採する場合には、「岩手県自然環境保全条例」第23条に基づき知事に届出を行う必要がある。
急傾斜地崩壊危険区域	抾伐とする。 伐採を行う場合は、「急傾斜地の崩壊による災害防止に関する法律」第7条の規定に基づき知事の許可を受ける必要がある。
砂防指定地	抾伐とする。 伐採を行う場合は、「砂防法施行条例」第5条の規定に基づき知事の許可を受ける必要がある。

2 その他必要な事項

(1) 森林関連情報の収集・精度向上の推進

県は、森林所有者に対する適切な森林施業等の指導や、森林経営計画の作成に必要な情報提供等を行うため、森林関連情報の収集・精度向上を推進する。特に、森林所有者情報については、森林法の一部改正により、平成24年4月以降、新たに森林の土地の所有者となった者は市町村長への届出義務が課せられたことから、市町村と情報の共有化を図るほか、国土利用計画法（昭和49年法律第92号）に基づく土地売買届出、国土調査法（昭和26年法律第180号）に基づく地籍調査の成果等について情報収集に努める。

(2) 林地保全等に配慮した森林施業に関する取組の促進

県は、伐採を行おうとする林業経営体に対して、伐採届出の提出時や県有林の立木販売時等において、「伐採等森林施業に関する基本的な考え方とその指標」（平成12年5月 森林施業に関する懇話会報告）等を踏まえた森林施業を指導してきたところであり、引き続き、市町村や関係団体等と連携し、林地の保全等に配慮した森林施業を指導していく。

(附) 參 考 資 料

1 森林計画区の概況

(1) 市町村別土地面積及び森林面積

単位 面積：ha、比率：%

区分	区域面積 ①	森 林 面 積			森林比率 ②／①×100
		総数②	国有林	民有林	
総 数	374,739	332,710	92,085	240,625	88.8
市町村別内訳	久慈市	62,350	53,544	11,378	42,166
	洋野町	30,292	22,848	518	22,330
	野田村	8,080	6,918	1,895	5,023
	普代村	6,966	5,970	273	5,697
	宮古市	125,915	114,763	32,384	82,379
	山田町	26,281	23,780	13,847	9,933
	岩泉町	99,236	91,468	30,169	61,299
	田野畠村	15,619	13,420	1,621	11,799

注1 区域面積は、全国都道府県市区町村別面積調(R元)による。

2 国有林面積は、東北森林管理局による林野庁所管面積(官行造林を含む)。

3 単位未満を四捨五入しているため、各数値の積み上げと総数が一致しないことがある。

(2) 地況（気候）

単位 気温：℃、降水量：mm、積雪量：cm

観測地	気 温			年間降水量	最深積雪量	主風の方向
	最 高	最 低	年平均			
久慈	34.8	-11.3	10.5	1,321	21	西
種市	33.5	-9.7	10.0	1,363	-	西北西
山形	34.9	-13.4	9.7	1,206	-	南西
普代	35.1	-10.3	10.4	1,527	-	南南西
宮古	35.2	-8.7	11.3	1,494	18	西南西
山田	35.4	-8.4	11.6	1,585	-	西南西
川井	35.5	-11.0	10.9	1,262	-	西南西
岩泉	35.2	-10.2	10.6	1,301	26	西南西
小本	34.0	-9.7	11.1	1,490	-	南西

注 気象庁アメダスデータ(2016～2020年)の平均値による。

(3) 土地利用の現況

単位 : ha

区分	総 数	森 林	農 地			そ の 他		
			総 数	うち田	うち畠	総 数	うち宅地	
総 数	374,739	332,711	13,984	3,759	10,225	28,044	3,988	
市 町 村 別 内 訳	久慈 市	62,350	53,544	3,302	960	2,342	5,504	1,049
	洋 野 町	30,292	22,848	3,380	1,103	2,277	4,064	662
	野 田 村	8,080	6,918	439	137	302	723	150
	普 代 村	6,966	5,970	396	19	377	600	92
	宮 古 市	125,915	114,763	2,591	615	1,976	8,561	1,225
	山 田 町	26,281	23,780	857	413	444	1,644	352
	岩 泉 町	99,236	91,468	2,073	448	1,625	5,695	304
	田 野 畑 村	15,619	13,420	946	64	882	1,253	154

注1 田、畠、宅地の面積は、岩手県統計年鑑（令和元年）による。

2 単位未満を四捨五入しているため、各数値の積み上げと総数が一致しないことがある。

(4) 産業別生産額

単位：百万円

区分	総生産額	第1次産業				第2次産業	第3次産業
		総数	農業	林業	水産業		
総 数	557,417	31,574	12,612	5,172	13,791	217,575	304,716
市町村別内訳	久慈市	129,756	5,704	3,044	1,020	1,640	40,111
	洋野町	48,501	7,699	5,930	656	1,113	13,893
	野田村	15,847	1,064	434	86	545	7,438
	普代村	14,885	1,747	158	96	1,493	8,277
	宮古市	228,505	8,321	767	1,271	6,282	90,898
	山田町	55,820	2,153	364	219	1,571	24,879
	岩泉町	42,420	3,385	1,365	1,458	562	18,191
	田野畠村	21,683	1,501	550	366	585	13,888
							6,156

注1 市町村民経済計算年報 平成30年度による。

2 単位未満を四捨五入しているため、各数値の積み上げと総数が一致しないことがある。

3 総生産額は分類不能産業を含むため、産業別生産額の計と一致しない。

(5) 産業別就業者数

単位：人

区分	総数	第1次産業				第2次産業	第3次産業
		計	農業	林業	水産業		
総 数	69,189	8,510	4,782	900	2,828	19,771	40,532
市町村別内訳	久慈市	17,134	1,607	987	262	358	4,852
	洋野町	7,781	1,566	1,105	90	371	2,348
	野田村	1,986	298	179	18	101	600
	普代村	1,407	273	77	6	190	453
	宮古市	26,507	2,099	955	190	954	7,411
	山田町	7,632	967	231	85	651	2,474
	岩泉町	5,004	1,276	972	209	95	1,168
	田野畠村	1,738	424	276	40	108	465
							848

注1 平成27年国勢調査による。

2 単位未満を四捨五入しているため、各数値の積み上げと総数が一致しないことがある。

3 総数は分類不能産業を含むため、産業別就業者数の計と一致しない。

2 森林の現況
 (1) 齡級別森林資源表
 ア 総 数

区 分		総 数			1 齡 級			2 齡 級			3 齡 級			単位 面積 : ha、材積 : m ³ 、成長量 : m ³	
総 数		240,625.37	49,815,565	707,053	577.59	-	-	9,337.26	400,594	30,409	7,193.75	432,423	28,775		
総 数	総 数	230,558.39	49,815,565	707,053	577.59	-	-	9,337.26	400,594	30,409	7,193.75	432,423	28,775		
針 葉 樹	針 葉 樹	88,076.00	27,330,963	387,096	495.90	-	-	275.33	7,024	2,392	553.71	37,212	5,751		
広 葉 樹	広 葉 樹	142,482.39	22,484,602	319,957	81.69	-	-	9,061.93	393,570	28,017	6,640.04	395,211	23,024		
人 立	総 数	79,971.73	24,379,199	369,829	562.25	-	-	346.59	10,611	2,631	554.33	40,841	5,632		
青 成	針 葉 樹	78,617.40	24,208,584	366,491	495.90	-	-	272.56	6,981	2,377	461.82	34,276	5,253		
单 層 林	広 葉 樹	1,354.33	170,615	3,338	66.35	-	-	74.03	3,630	254	92.51	6,565	379		
青 成	総 数	77,875.01	23,733,538	360,884	562.08	-	-	341.85	10,468	2,617	551.94	40,664	5,620		
针 膜 林	針 葉 樹	76,603.94	23,577,284	357,739	495.73	-	-	270.82	6,951	2,367	461.51	34,267	5,251		
单 层 林	広 葉 樹	1,271.07	156,254	3,145	66.35	-	-	71.03	3,517	250	90.43	6,397	369		
工 林	青 成	2,096.72	645,661	8,945	0.17	-	-	4.74	143	14	2.39	177	12		
青 成	針 葉 樹	2,013.46	631,300	8,752	0.17	-	-	1.74	30	10	0.31	9	2		
复 层 林	広 葉 樹	83.26	14,361	193	-	-	-	3.00	113	4	2.08	168	10		
青 成	総 数	150,586.66	25,436,366	337,224	15.34	-	-	8,990.67	389,983	27,778	6,639.42	391,582	23,143		
针 膜 林	針 葉 樹	9,458.60	3,122,379	20,605	-	-	-	2.77	43	15	91.89	2,936	498		
青 成	広 葉 樹	141,128.06	22,313,987	316,619	15.34	-	-	8,987.90	389,940	27,763	6,547.53	388,646	22,645		
单 层 林	総 数	8,196.48	2,639,386	17,717	-	-	-	17.00	778	55	81.95	2,698	453		
青 成	針 葉 樹	8,005.05	2,606,891	17,304	-	-	-	-	-	-	81.43	2,663	451		
复 层 林	広 葉 樹	191.43	32,495	413	-	-	-	17.00	778	55	0.52	35	2		
青 成	総 数	3,547.79	930,255	5,434	-	-	-	0.43	17	1	28.26	1,354	106		
针 膜 林	針 葉 樹	1,407.38	499,486	3,203	-	-	-	-	-	-	9.50	243	42		
天 然 林	広 葉 樹	2,140.41	430,769	2,231	-	-	-	0.43	17	1	18.76	1,111	64		
青 成	総 数	138,842.39	21,866,725	314,073	15.34	-	-	8,973.24	389,188	27,722	6,529.21	387,530	22,584		
复 层 林	針 葉 樹	46.17	16,002	98	-	-	-	2.77	43	15	0.96	30	5		
青 成	広 葉 樹	138,796.22	21,850,723	313,975	15.34	-	-	8,970.47	389,145	27,707	6,528.25	387,500	22,579		
竹 林	竹 林	20.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
無 立	木 地	10,046.95	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

区分		4 齡 級		5 齡 級		6 齡 級		7 齡 級		齡 級	
		面 積	材 積	面 積	材 積	面 積	材 積	面 積	材 積	面 積	材 積
総 数	5,373.95	482,986	25,840	14,026.46	1,580,989	65,596	17,120.17	2,551,146	83,043	15,101.66	2,734,021
針葉樹	5,373.95	482,986	25,840	14,026.46	1,580,989	65,596	17,120.17	2,551,146	83,043	15,101.66	2,734,021
総 数	66,575	5,923	1,402.82	224,799	12,822	3,088.13	626,026	23,539	5,362.08	1,231,268	32,965
広葉樹	4,795.91	416,411	19,917	12,623.64	1,356,190	52,774	14,032.04	1,925,120	59,504	9,739.58	1,502,753
総 数	692.70	76,861	6,216	1,473.52	232,981	13,010	3,152.11	633,605	23,716	5,449.63	1,244,137
針葉樹	533.27	62,401	5,534	1,346.96	218,230	12,435	3,053.85	620,015	23,300	5,337.65	1,226,138
広葉樹	159.43	14,460	682	126.56	14,751	575	98.26	13,590	416	111.98	17,999
総 数	690.06	76,663	6,205	1,456.04	230,671	12,906	3,081.88	618,694	23,125	5,254.43	1,194,203
針葉樹	532.99	62,369	5,531	1,338.11	216,837	12,369	2,986.79	605,582	22,724	5,146.65	1,176,898
広葉樹	157.07	14,294	674	117.93	13,834	537	95.09	13,112	401	107.78	17,305
総 数	2.64	198	11	17.48	2,310	104	70.23	14,911	591	195.20	49,934
針葉樹	0.28	32	3	8.85	1,393	66	67.06	14,433	576	191.00	49,240
広葉樹	2.36	166	8	8.63	917	38	3.17	478	15	4.20	694
総 数	4,681.25	406,125	19,624	12,552.94	1,348,008	52,586	13,968.06	1,917,541	59,327	9,652.03	1,489,884
針葉樹	44.77	4,174	389	55.86	6,569	387	34.28	6,011	239	24.43	5,130
広葉樹	4,636.48	401,951	19,235	12,497.08	1,341,439	52,199	13,933.78	1,911,530	59,088	9,627.60	1,484,754
総 数	50.52	4,618	407	57.60	6,694	390	35.32	5,769	223	55.68	10,035
針葉樹	44.15	4,098	382	55.44	6,516	384	29.47	4,950	197	19.79	4,045
広葉樹	6.37	520	25	2.16	178	6	5.85	819	26	35.89	5,990
総 数	6.06	558	26	1.31	145	6	36.20	5,367	178	26.90	4,617
針葉樹	-	-	-	0.33	39	2	4.81	1,061	42	4.64	1,085
広葉樹	6.06	558	26	0.98	106	4	31.39	4,306	136	22.26	3,532
天然林	4,624.67	400,949	19,191	12,494.03	1,341,169	52,190	13,896.54	1,906,405	58,926	9,569.45	1,475,232
針葉樹	0.62	76	7	0.09	14	1	-	-	-	-	-
広葉樹	4,624.05	400,873	19,184	12,493.94	1,341,155	52,189	13,896.54	1,906,405	58,926	9,569.45	1,475,232
竹林	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無立木地	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

区分		8 歳 級			9 歳 級			10 歳 級			11 歳 級		
		面 積	材 積	成 長 量	面 積	材 積	成 長 量	面 積	材 積	成 長 量	面 積	材 積	成 長 量
総 数	15,449.49	3,281,559	70,606	13,934.84	3,559,016	63,337	17,537.49	4,798,680	68,391	21,358.38	6,073,406	67,587	
総 数	15,449.49	3,281,559	70,606	13,934.84	3,559,016	63,337	17,537.49	4,798,680	68,391	21,358.38	6,073,406	67,587	
針葉樹	7,775.21	1,992,427	45,742	10,215.64	2,916,080	54,190	12,429.02	3,848,855	58,385	13,877.56	4,597,350	55,371	
広葉樹	7,674.28	1,289,132	24,864	3,719.20	642,936	9,147	5,108.47	949,825	10,006	7,480.82	1,476,056	12,216	
総 数	7,788.11	1,990,221	45,602	10,206.55	2,900,555	53,716	12,369.38	3,804,822	57,504	13,364.49	4,437,591	53,621	
針葉樹	7,685.28	1,972,452	45,291	10,079.47	2,880,332	53,581	12,187.40	3,779,771	57,472	13,311.56	4,429,006	53,574	
広葉樹	102.83	17,769	311	127.08	20,223	135	181.98	25,051	32	52.93	8,585	47	
総 数	7,586.12	1,938,894	44,378	10,020.09	2,849,069	52,816	12,085.99	3,720,995	56,250	12,977.68	4,314,742	52,159	
針葉樹	7,491.48	1,922,661	44,096	9,905.45	2,831,344	52,717	11,913.06	3,697,303	56,218	12,932.59	4,307,632	52,125	
広葉樹	94.64	16,233	282	114.64	17,725	99	172.93	23,692	32	45.09	7,110	34	
総 数	201.99	51,327	1,224	186.46	51,486	900	283.39	83,827	1,254	386.81	122,849	1,462	
針葉樹	193.80	49,791	1,195	174.02	48,988	864	274.34	82,468	1,254	378.97	121,374	1,449	
広葉樹	8.19	1,536	29	12.44	2,498	36	9.05	1,359	-	7.84	1,475	13	
総 数	7,661.38	1,291,338	25,004	3,728.29	658,461	9,621	5,168.11	993,858	10,887	7,993.89	1,635,815	13,966	
針葉樹	89.93	19,975	451	136.17	35,748	609	241.62	69,084	913	566.00	168,344	1,797	
広葉樹	7,571.45	1,271,363	24,553	3,592.12	622,713	9,012	4,926.49	924,774	9,974	7,427.89	1,467,471	12,169	
総 数	87.16	19,238	427	143.43	36,210	610	228.92	62,964	815	491.56	143,889	1,509	
針葉樹	83.86	18,712	421	130.34	33,992	579	207.87	59,125	774	468.60	139,107	1,474	
広葉樹	3.30	526	6	13.09	2,218	31	21.05	3,839	41	22.96	4,782	35	
総 数	46.53	8,940	175	93.50	17,089	259	152.80	33,423	394	288.38	69,819	654	
針葉樹	5.83	1,207	29	5.77	1,739	30	33.54	9,917	138	94.67	28,579	314	
広葉樹	40.70	7,733	146	87.73	15,350	229	119.26	23,506	256	193.71	41,240	340	
天然林	7,527.69	1,263,160	24,402	3,491.36	605,162	8,752	4,786.39	897,471	9,678	7,213.95	1,422,107	11,803	
針葉樹	0.24	56	1	0.06	17	-	0.21	42	1	2.73	658	9	
広葉樹	7,527.45	1,263,104	24,401	3,491.30	605,145	8,752	4,786.18	897,429	9,677	7,211.22	1,421,449	11,794	
竹林	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無立木地	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

区 分		12 齡 級		13 齡 級		14 齡 級		15 齡 級	
		面 積	材 積	成 長 量	面 積	材 積	成 長 量	面 積	材 積
総 数	25,551.75	7,070,256	59,130	25,639.71	6,412,355	38,020	18,704.59	4,595,531	21,122
総 数	25,551.75	7,070,256	59,130	25,639.71	6,412,355	38,020	18,704.59	4,595,531	21,122
針 葉 樹	12,511.29	4,368,898	42,691	9,190.22	3,281,090	25,359	4,859.15	1,888,043	12,939
広 葉 樹	13,040.46	2,701,358	16,439	16,449.49	3,131,265	12,661	13,845.44	2,707,488	8,183
総 数	11,526.90	4,044,620	39,770	7,496.11	2,707,342	21,165	2,999.55	1,242,438	9,084
針 葉 樹	11,472.77	4,034,289	39,729	7,444.85	2,699,225	21,149	2,975.51	1,239,351	9,082
広 葉 樹	54.13	10,331	41	51.26	8,117	16	24.04	3,087	2
総 数	11,223.65	3,941,434	38,817	7,223.81	2,613,526	20,516	2,896.43	1,203,519	8,846
針 葉 樹	11,183.40	3,934,331	38,794	7,180.44	2,607,009	20,506	2,872.39	1,200,432	8,844
広 葉 樹	40.25	7,103	23	43.37	6,517	10	24.04	3,087	2
総 数	303.25	103,186	953	272.30	93,816	649	103.12	38,919	238
針 葉 樹	289.37	99,958	935	264.41	92,216	643	103.12	38,919	238
広 葉 樹	13.88	3,228	18	7.89	1,600	6	-	-	-
総 数	14,024.85	3,025,636	19,360	18,143.60	3,705,013	16,855	15,705.04	3,353,093	12,038
針 葉 樹	1,038.52	334,609	2,962	1,745.37	581,865	4,210	1,883.64	648,692	3,857
広 葉 樹	12,986.33	2,691,027	16,398	16,398.23	3,123,148	12,645	13,821.40	2,704,401	8,181
総 数	895.79	285,982	2,516	1,421.70	467,675	3,353	1,586.51	537,903	3,174
針 葉 樹	885.74	283,821	2,502	1,408.93	465,070	3,344	1,573.51	535,224	3,165
広 葉 樹	10.05	2,161	14	12.77	2,605	9	13.00	2,679	9
総 数	433.77	111,689	801	679.60	188,055	1,113	661.92	187,362	897
針 葉 樹	149.79	49,697	450	334.03	116,000	860	310.13	113,468	692
広 葉 樹	283.98	61,992	351	345.57	72,055	253	351.79	73,894	205
天 然 林	12,695.29	2,627,965	16,043	16,042.30	3,049,283	12,389	13,456.61	2,627,828	7,967
総 数	12,695.29	2,627,965	16,033	16,039.89	3,048,488	12,383	13,456.61	2,627,828	7,967
針 葉 樹	2.99	1,091	10	2.41	795	6	-	-	-
広 葉 樹	12,692.30	2,626,874	16,033	-	-	-	-	-	-
竹 林	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無 立 木 地	-	-	-	-	-	-	-	-	-

區 分		16 歲 級		17 歲 級		18 歲 級		19 歲 級		齡 級		齡 級		
		面 積	材 積	面 積	成 長 量	面 積	材 積	成 長 量	面 積	材 積	成 長 量	面 積	材 積	成 長 量
人 立	總 數	5,341.54	1,279,289	3,526	3,040.14	758,911	1,591	2,502.00	647,089	1,215	1,178.35	326,718	550	
	針 葉 樹 總 數	5,341.54	1,279,289	3,526	3,040.14	758,911	1,591	2,502.00	647,089	1,215	1,178.35	326,718	550	
	針 葉 樹	1,051.79	432,310	2,087	700.92	292,846	1,170	630.29	273,225	963	393.33	169,402	445	
	広葉 樹	4,289.75	846,979	1,439	2,339.22	466,065	421	1,871.71	373,864	252	785.02	157,316	105	
	總 數	434.31	211,632	1,182	252.34	136,159	693	212.93	125,871	522	145.07	84,250	277	
	針 葉 樹	422.83	209,073	1,178	250.95	135,831	693	210.96	125,528	522	143.77	83,986	277	
	広葉 樹	11.48	2,559	4	1.39	328	-	1.97	343	-	1.30	264	-	
	總 數	422.62	206,032	1,157	243.54	131,643	674	207.59	123,016	512	140.43	81,880	270	
	針 葉 樹	411.14	203,473	1,153	242.68	131,444	674	205.62	122,673	512	139.13	81,616	270	
	広葉 樹	11.48	2,559	4	0.86	199	-	1.97	343	-	1.30	264	-	
林 天 然 林	青 成 複 層 林	11.69	5,600	25	8.80	4,516	19	5.34	2,855	10	4.64	2,370	7	
	針 葉 樹	11.69	5,600	25	8.27	4,387	19	5.34	2,855	10	4.64	2,370	7	
	広葉 樹	-	-	-	0.53	129	-	-	-	-	-	-	-	
	總 數	4,907.23	1,067,657	2,344	2,787.80	622,752	898	2,289.07	521,218	693	1,033.28	242,468	273	
	針 葉 樹	628.96	223,237	909	449.97	157,015	477	419.33	147,697	441	249.56	85,416	168	
	広葉 樹	4,278.27	844,420	1,435	2,337.83	465,737	421	1,869.74	373,521	252	783.72	157,052	105	
	總 數	582.38	203,290	820	405.72	139,209	419	372.35	129,792	391	235.62	79,411	157	
	針 葉 樹	572.16	201,288	816	405.72	139,209	419	371.90	129,702	391	229.73	78,420	156	
	広葉 樹	10.22	2,002	4	-	-	0.45	90	-	-	5.89	991	1	
	青 成 複 層 林	149.69	40,728	121	66.41	22,163	55	108.82	30,855	56	59.62	15,817	16	
竹 林	針 葉 樹	56.20	21,732	92	42.40	17,258	55	47.43	17,995	50	19.64	6,887	12	
	広葉 樹	93.49	18,996	29	24.01	4,905	-	61.39	12,860	6	39.98	8,930	4	
	總 數	4,175.16	823,639	1,403	2,315.67	461,380	424	1,807.90	360,571	246	738.04	147,240	100	
	針 葉 樹	0.60	217	1	1.85	548	3	-	-	-	0.19	109	-	
無 立 木 地	広葉 樹	4,174.56	823,422	1,402	2,313.82	460,832	421	1,807.90	360,571	246	737.85	147,131	100	
	竹 林	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

面積 : ha、材積 : m³、成長量 : m³
単位

区 分		20 歳		材 積		成 長 量		21 歳		材 積		成 長 量	
		面 積	材 積	面 積	材 積	面 積	材 積	面 積	材 積	面 積	材 積	面 積	材 積
総 数		846.86	245.140	425	1,582.63	427.490		335					
総 数	総 数	846.86	245.140	425	1,582.63	427.490		335					
針 葉 樹	針 葉 樹	353.40	149.310	356	637.75	262.664		328					
広 葉 樹	広 葉 樹	493.46	95.830	69	944.88	164.826		7					
総 数	総 数	110.64	64.046	199	142.00	84.388		127					
人 工 立 林	人 工 立 林	108.83	63.738	199	140.65	84.141		127					
青 成 単 層 林	青 成 单 层 林	1.81	308	-	1.35	247		-					
総 数	総 数	108.09	62.654	196	137.02	81.381		123					
針 葉 樹	針 葉 樹	106.28	62.346	196	135.67	81.134		123					
広 葉 樹	広 葉 樹	1.81	308	-	1.35	247		-					
青 成 複 層 林	青 成 复 层 林	2.55	1,392	3	4.98	3,007		4					
針 葉 樹	針 葉 樹	2.55	1,392	3	4.98	3,007		4					
広 葉 樹	広 葉 樹	-	-	-	-	-		-					
総 数	総 数	736.22	181.094	226	1,440.63	343.102		208					
針 葉 樹	針 葉 樹	244.57	85.572	157	497.10	178.523		201					
広 葉 樹	広 葉 樹	491.65	95.522	69	943.53	164.579		7					
総 数	総 数	201.55	69.885	128	373.48	130.383		141					
針 葉 樹	針 葉 樹	197.12	68.924	127	372.80	130.243		141					
青 成 单 层 林	青 成 单 层 林	4.43	961	1	0.68	140		-					
総 数	総 数	80.13	19.347	23	300.38	76.892		58					
針 葉 樹	針 葉 樹	28.12	9.514	16	119.86	46.081		58					
広 葉 樹	広 葉 樹	52.01	9.833	7	180.52	30.811		-					
天 然 林	天 然 林	454.54	91.862	75	766.77	135.827		9					
針 葉 樹	針 葉 樹	19.33	7.134	14	4.44	2.199		2					
広 葉 樹	広 葉 樹	435.21	84.728	61	762.33	133.628		7					
竹 林	竹 林	-	-	-	-	-		-					
無 立 木 地	無 立 木 地	-	-	-	-	-		-					

單位 面積：ha、材積： m^3 、成長量： m^3

制限林

區 分		總 數			1			齡 級			2			齡 級			3		
		面 積	材 積	成 長 量	面 積	材 積	成 長 量	面 積	材 積	成 長 量	面 積	材 積	成 長 量	面 積	材 積	成 長 量	面 積	材 積	成 長 量
立 工 林 天 然 林	總 數	34,003.08	7,218,325	90,115	117.08	-	-	608.41	22,543	2,584	550.15	35,470	3,830						
	總 針 葉 樹	32,647.68	7,218,325	90,115	117.08	-	-	608.41	22,543	2,584	550.15	35,470	3,830						
	針 葉 樹	16,937.41	4,628,165	67,108	107.39	-	-	113.65	3,480	1,196	255.34	18,592	2,848						
	總 針 葉 樹	15,710.27	2,590,160	23,007	9.69	-	-	494.76	19,063	1,388	294.81	16,878	982						
	總 針 葉 樹	16,143.35	4,350,605	65,856	114.00	-	-	117.04	3,656	1,208	255.13	18,668	2,847						
	青 成 単 層 林	16,044.55	4,335,734	65,651	107.39	-	-	113.65	3,480	1,196	253.13	18,532	2,839						
	青 成 針 葉 樹	98.80	14,871	205	6.61	-	-	3.39	176	12	2.00	136	8						
	青 成 針 葉 樹	15,602.46	4,197,600	63,703	114.00	-	-	115.30	3,626	1,198	254.93	18,662	2,846						
	青 成 針 葉 樹	15,534.63	4,188,204	63,588	107.39	-	-	111.91	3,450	1,186	252.93	18,526	2,838						
	青 成 針 葉 樹	67.83	9,396	115	6.61	-	-	3.39	176	12	2.00	136	8						
木 地 林	總 數	540.89	153,005	2,153	-	-	-	1.74	30	10	0.20	6	1						
	總 針 葉 樹	509.92	147,530	2,063	-	-	-	1.74	30	10	0.20	6	1						
	總 針 葉 樹	30.97	5,475	90	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
	總 針 葉 樹	16,504.33	2,867,720	24,259	3.08	-	-	491.37	18,887	1,376	295.02	16,802	983						
	青 成 檜 層 林	15,611.47	2,575,289	22,802	3.08	-	-	491.37	18,887	1,376	292.81	16,742	974						
木 地 林	總 數	704.10	220,052	1,197	-	-	-	-	-	-	-	2.21	60	9					
	青 成 針 葉 樹	665.07	213,341	1,104	-	-	-	-	-	-	-	2.21	60	9					
	青 成 針 葉 樹	39.03	6,711	93	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
	青 成 針 葉 樹	699.69	166,655	674	-	-	-	0.43	17	1	-	-	-						
	青 成 針 葉 樹	221.92	76,449	347	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
木 竹 無	天然 生 林	477.77	90,206	327	-	-	-	0.43	17	1	-	-	-						
	天然 針 葉 樹	15,100.54	2,481,013	22,388	3.08	-	-	490.94	18,870	1,375	292.81	16,742	974						
	天然 針 葉 樹	5.87	2,641	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
	天然 針 葉 樹	15,094.67	2,478,372	22,382	3.08	-	-	490.94	18,870	1,375	292.81	16,742	974						
	竹 林	1.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
無 立 木 地	無 立 木 地	1,353.90	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						

區 分		4 齡 級		5 齡 級		6 齡 級		7 齡 級		齡 級	
		面 積	材 積	成 長 量	面 積	材 積	成 長 量	面 積	材 積	成 長 量	面 積
總 數	549.73	58,389	4,075	1,401.29	171,044	7,700	1,394.60	230,802	7,978	1,654.69	329,050
總 數	549.73	58,389	4,075	1,401.29	171,044	7,700	1,394.60	230,802	7,978	1,654.69	329,050
針 葉 樹	270.47	34,191	2,909	400.71	66,012	3,600	733.89	145,053	5,307	1,160.90	255,476
廣 葉 樹	279.26	24,198	1,166	1,000.58	105,032	4,100	660.71	85,749	2,671	493.79	73,574
總 數	273.91	34,467	2,920	410.98	67,126	3,644	729.12	144,539	5,286	1,165.01	256,151
針 葉 樹	270.22	34,168	2,906	399.86	65,919	3,594	727.92	144,362	5,279	1,160.74	255,433
廣 葉 樹	3.69	299	14	11.12	1,207	50	1.20	177	7	4.27	718
人 工	育 成	總 數	273.74	34,553	2,919	398.20	65,540	3,574	719.50	142,628	5,198
	單 層 林	針 葉 樹	270.13	34,160	2,905	392.82	64,878	3,548	718.91	142,541	5,195
	複 層 林	廣 葉 樹	3.61	293	14	5.38	662	26	0.59	87	3
林	育 成	總 數	0.17	14	1	12.78	1,586	70	9.62	1,911	88
	複 層 林	針 葉 樹	0.09	8	1	7.04	1,041	46	9.01	1,821	84
	單 層 林	廣 葉 樹	0.08	6	-	5.74	545	24	0.61	90	4
木	總 數	275.82	23,922	1,155	990.31	103,918	4,056	665.48	86,263	2,692	489.68
	針 葉 樹	0.25	23	3	0.85	93	6	5.97	691	28	0.16
	廣 葉 樹	275.57	23,899	1,152	989.46	103,825	4,050	659.51	85,572	2,664	489.52
天	育 成	總 數	3.02	220	13	0.85	93	6	6.62	801	30
	複 層 林	針 葉 樹	0.25	23	3	0.85	93	6	5.53	618	25
	單 層 林	廣 葉 樹	2.77	197	10	-	-	1.09	183	5	15.31
然	育 成	總 數	-	-	-	-	-	3.76	512	17	2.26
	複 層 林	針 葉 樹	-	-	-	-	-	0.44	73	3	-
林	天 然 生 林	廣 葉 樹	-	-	-	-	-	3.32	439	14	2.26
	無 立 木 地	竹 林	272.80	23,702	1,142	989.46	103,825	4,050	655.10	84,950	2,645
			-	-	-	-	-	-	-	-	-

區 分		8 齡 級		9 齡 級		10 齡 級		11 齡 級		齡 級	
		面 積	材 積	成 長 量	面 積	材 積	成 長 量	面 積	材 積	成 長 量	面 積
總 數	1,905.34	424,081	8,935	1,569.32	402,153	6,601	2,289.89	605,635	8,226	4,368.31	1,218,233
總 數	1,905.34	424,081	8,935	1,569.32	402,153	6,601	2,289.89	605,635	8,226	4,368.31	1,218,233
針 葉 樹	1,385.81	340,807	7,326	1,330.30	361,278	6,010	1,873.99	529,495	7,412	3,394.36	1,029,774
廣 葉 樹	519.53	83,274	1,609	239.02	40,875	591	415.90	76,140	814	973.95	188,459
總 數	1,393.36	342,123	7,343	1,337.50	361,710	5,996	1,867.59	526,664	7,364	3,348.25	1,016,512
針 葉 樹	1,379.44	339,551	7,297	1,319.41	358,492	5,959	1,861.39	525,861	7,364	3,347.57	1,016,390
廣 葉 樹	13.92	2,572	46	18.09	3,218	37	6.20	803	-	0.68	122
人 工 立	育 成 単 層 林	1,347.44	330,931	7,071	1283.01	348,760	5,815	1779.57	503,489	7,049	3197.35
	針 葉 樹	7.05	1,269	21	8.99	1,433	11	5.87	763	-	0.68
	廣 葉 樹	38.87	9,923	251	45.50	11,517	170	82.15	22,412	315	150.22
木 林	育 成 檢 単 層 林	32.00	8,620	226	36.40	9,732	144	81.82	22,372	315	150.22
	針 葉 樹	6.87	1,303	25	9.10	1,785	26	0.33	40	-	-
	廣 葉 樹	511.98	81,958	1,592	231.82	40,443	605	422.30	78,971	862	1,020.06
	總 數	6.37	1,256	29	10.89	2,786	51	12.60	3,634	48	46.79
	針 葉 樹	505.61	80,702	1,563	220.93	37,657	554	409.70	75,337	814	973.27
天 然 地 林	育 成 天 然 単 層 林	3.40	778	17	10.89	2,786	51	17.00	4,225	53	26.49
	針 葉 樹	3.15	731	16	10.89	2,786	51	11.25	3,229	42	26.22
	廣 葉 樹	0.25	47	1	-	-	5.75	996	11	0.27	49
	總 數	9.92	1,819	37	13.11	2,395	35	18.54	3,689	42	62.40
	針 葉 樹	3.22	525	13	-	-	1.14	363	5	19.89	4,770
	廣 葉 樹	6.70	1,294	24	13.11	2,395	35	17.40	3,326	37	42.51
	總 數	498.66	79,361	1,538	207.82	35,262	519	386.76	71,057	767	931.17
	針 葉 樹	-	-	-	-	-	0.21	42	1	0.68	205
	廣 葉 樹	498.66	79,361	1,538	207.82	35,262	519	386.55	71,015	766	930.49
竹 林	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無 立 木 地	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

区 分		12 齡 級		13 齡 級		14 齡 級		15 齡 級	
		面 積	材 積	成 長 量	面 積	材 積	成 長 量	面 積	材 積
総 数	4,461.49	1,228,000	10,227	4,101.23	854,040	4,791	3,141.08	652,676	2,606
総 数	4,461.49	1,228,000	10,227	4,101.23	854,040	4,791	3,141.08	652,676	2,606
針 葉 樹	2,973.30	937,690	8,406	1,497.51	418,134	2,871	670.57	213,038	1,176
広 葉 樹	1,488.19	290,310	1,821	2,603.72	435,906	1,920	2,470.51	439,638	1,430
総 数	2,897.57	912,575	8,180	1,379.41	381,007	2,597	569.82	177,175	964
針 葉 樹	2,894.10	911,933	8,178	1,371.21	379,319	2,591	566.61	176,831	963
広 葉 樹	3.47	642	2	8.20	1,688	6	3.21	344	1
育 成 単 層 林	2801.81	883,463	7,920	1339.40	370,068	2,535	550.86	171,827	942
針 葉 樹	3.47	642	2	1.22	201	-	3.21	344	1
広 葉 樹	92.29	28,470	258	38.79	10,738	62	18.96	5,348	22
育 成 極 単 層 林	92.29	28,470	258	31.81	9,251	56	18.96	5,348	22
針 葉 樹	-	-	-	6.98	1,487	6	-	-	-
広 葉 樹	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総 数	1,563.92	315,425	2,047	2,721.82	473,033	2,194	2,571.26	475,501	1,642
針 葉 樹	79.20	25,757	228	126.30	38,815	280	103.96	36,207	213
広 葉 樹	1,484.72	289,668	1,819	2,595.52	434,218	1,914	2,467.30	439,294	1,429
育 成 単 層 林	64.55	20,442	181	86.53	26,072	187	79.33	27,378	161
針 葉 樹	64.55	20,442	181	86.33	26,027	187	78.48	27,182	160
広 葉 樹	-	-	-	0.20	45	-	0.85	196	1
総 数	62.59	15,252	110	68.35	17,576	111	67.94	16,649	77
針 葉 樹	14.65	5,315	47	39.97	12,788	93	25.48	9,025	53
広 葉 樹	47.94	9,937	63	28.38	4,788	18	42.46	7,624	24
天 然 生 林	1,436.78	279,731	1,756	2,566.94	429,385	1,896	2,423.99	431,474	1,404
地 林	-	-	-	-	-	-	-	-	-
竹 林	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無 立 木 地	-	-	-	-	-	-	-	-	-

區 分		16 歲		17 歲		18 歲		19 歲	
		面 積	材 積	成 長 量	面 積	材 積	成 長 量	面 積	材 積
總 數	945,93	192,816	455	530,60	111,126	173	607,68	128,615	165
總 數	945,93	192,816	455	530,60	111,126	173	607,68	128,615	165
針 葉 樹	99,85	35,659	165	77,50	26,689	96	69,83	26,613	88
広 葉 樹	846,08	157,157	290	453,10	84,437	77	537,85	102,002	77
總 數	59,16	20,100	97	19,67	9,149	41	21,61	11,400	46
針 葉 樹	49,64	17,916	93	19,67	9,149	41	21,61	11,400	46
広 葉 樹	9,52	2,184	4	-	-	-	-	-	-
人 工	育 成 總 數	58,19	19,584	94	19,35	8,971	40	20,70	11,034
針 葉 樹	48,67	17,400	90	19,35	8,971	40	20,70	11,034	44
広 葉 樹	9,52	2,184	4	-	-	-	-	-	-
林	育 成 總 數	0,97	516	3	0,32	178	1	0,91	366
針 葉 樹	0,97	516	3	0,32	178	1	0,91	366	2
広 葉 樹	-	-	-	-	-	-	-	-	-
木 天	育 成 總 數	886,77	172,716	358	510,93	101,977	132	586,07	117,215
針 葉 樹	50,21	17,743	72	57,83	17,540	55	48,22	15,213	42
広 葉 樹	836,56	154,973	286	453,10	84,437	77	537,85	102,002	77
然 林	育 成 總 數	49,28	15,863	60	55,38	16,595	53	40,40	12,477
針 葉 樹	42,12	14,501	57	55,38	16,595	53	40,40	12,477	34
広 葉 樹	7,16	1,362	3	-	-	-	-	-	-
地 林	育 成 總 數	17,94	5,011	18	9,23	2,437	2	41,60	10,046
針 葉 樹	7,55	3,047	14	2,45	945	2	7,82	2,736	8
広 葉 樹	10,39	1,964	4	6,78	1,492	-	33,78	7,310	4
天 然 生 林	育 成 總 數	819,55	151,842	280	446,32	82,945	77	504,07	94,692
針 葉 樹	0,54	195	1	-	-	-	-	-	-
広 葉 樹	819,01	151,647	279	446,32	82,945	77	504,07	94,692	73
竹 林	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無 立 木 地	-	-	-	-	-	-	-	-	-

面積 : ha、材積 : m³、成長量 : m³

區 分		20 歲		21 歲		22 歲		成長量	
		面 積	材 積	成 長量	面 積	材 積	成 長量	以 上	
總 數	247.99	64,338	108	623,55	151,017	80			
總 數	247.99	64,338	108	623,55	151,017	80			
針 葉 樹	75.68	30,610	81	197.31	74,480	78			
廣 葉 樹	172.31	33,728	27	426.24	76,537	2			
人 工 立	總 數	22.63	11,683	38	17.43	9,244	13		
	針 葉 樹	20.95	11,401	38	16.98	9,157	13		
	廣 葉 樹	1.68	282	-	0.45	87	-		
育 成 单 層 林	總 數	22.63	11,683	38	16.58	8,957	13		
	針 葉 樹	20.95	11,401	38	16.13	8,870	13		
	廣 葉 樹	1.68	282	-	0.45	87	-		
育 成 檢 層 林	總 數	-	-	-	0.85	287	-		
	針 葉 樹	-	-	-	0.85	287	-		
	廣 葉 樹	-	-	-	-	-	-		
木 天 然 地	總 數	225.36	52,655	70	606.12	141,773	67		
	針 葉 樹	54.73	19,209	43	180.33	65,323	65		
	廣 葉 樹	170.63	33,446	27	425.79	76,450	2		
育 成 单 層 林	總 數	45.64	16,590	40	98.87	33,523	29		
	針 葉 樹	43.11	15,970	39	98.87	33,523	29		
	廣 葉 樹	2.53	620	1	-	-	-		
育 成 複 層 林	總 數	34.26	7,711	7	223.81	54,004	34		
	針 葉 樹	11.62	3,239	4	77.02	29,601	34		
	廣 葉 樹	22.64	4,472	3	146.79	24,403	-		
天 然 生 林	總 數	145.46	28,354	23	283.44	54,246	4		
	針 葉 樹	-	-	-	4.44	2,199	2		
	廣 葉 樹	145.46	28,354	23	279.00	52,047	2		
竹 林	-	-	-	-	-	-	-		
無 立 木 地	-	-	-	-	-	-	-		

普通林

單位 面積：ha、材積： m^3 、成長量： m^3

區 分		總 數			1			齡 級			2			齡 級			3			齡 段
		面 積	材 積	成 長 量	面 積	材 積	成 長 量	面 積	材 積	成 長 量	面 積	材 積	成 長 量	面 積	材 積	成 長 量	面 積	材 積	成 長 量	
木 立 人 工 林 天 然 地 林	總 數	206,622.29	42,597.240	616,938	460,51	-	-	8,728.85	378,051	27,825	6,643.60	396,953	24,945							
	針 葉 樹	197,910.71	42,597.240	616,938	460,51	-	-	8,728.85	378,051	27,825	6,643.60	396,953	24,945							
	広 葉 樹	71,138.59	22,702.798	319,988	388,51	-	-	161.68	3,544	1,196	298.37	18,620	2,903							
	針 葉 樹	126,772.12	19,894.442	296,950	72.00	-	-	8,567.17	374,507	26,629	6,345.23	378,333	22,042							
	針 葉 樹	63,828.38	20,028.594	303,973	448.25	-	-	229.55	6,955	1,423	299.20	22,173	2,785							
	針 葉 樹	62,572.85	19,872.850	300,840	388.51	-	-	158.91	3,501	1,181	208.69	15,744	2,414							
	針 葉 樹	1,255.53	155.744	3,133	59.74	-	-	70.64	3,454	242	90.51	6,429	371							
	針 葉 樹	62,272.55	19,535.938	297,181	448.08	-	-	226.55	6,842	1,419	297.01	22,002	2,774							
	針 葉 樹	61,069.31	19,389.080	294,151	388.34	-	-	158.91	3,501	1,181	208.58	15,741	2,413							
	針 葉 樹	1,203.24	146.858	3,030	59.74	-	-	67.64	3,341	238	88.43	6,261	361							
木 天 然 地 林	青 成 単 層 林	1,555.83	492.656	6,792	0.17	-	-	3.00	113	4	2.19	171	11							
	青 成 複 層 林	1,503.54	483.770	6,689	0.17	-	-	-	-	-	0.11	3	1							
	広 葉 樹	52.29	8.886	103	-	-	-	3.00	113	4	2.08	168	10							
	針 葉 樹	134,082.33	22,568.646	312,965	12.26	-	-	8,499.30	371,096	26,402	6,344.40	374,780	22,160							
	針 葉 樹	8,565.74	2,829.948	19,148	-	-	-	2.77	43	15	89.68	2,876	489							
	広 葉 樹	125,516.59	19,738.698	293,817	12.26	-	-	8,496.53	371,053	26,387	6,254.72	371,904	21,671							
	針 葉 樹	7,492.38	2,419.334	16,520	-	-	-	17.00	778	55	79.74	2,638	444							
	針 葉 樹	7,339.98	2,393.550	16,200	-	-	-	-	-	-	79.22	2,603	442							
	広 葉 樹	152.40	25.784	320	-	-	-	17.00	778	55	0.52	35	2							
	針 葉 樹	2,848.10	763.600	4,760	-	-	-	-	-	-	28.26	1,354	106							
木 天 然 地 林	青 成 檢 層 林	2,482.30	370,318	26,347	6,236.40	370,788	21,610													
	針 葉 樹	1,185.46	423.037	2,856	-	-	-	2.77	43	15	0.96	30	5							
	広 葉 樹	1,662.64	340.563	1,904	-	-	-	-	-	-	9.50	243	42							
	針 葉 樹	123,741.85	19,385.712	291,685	12.26	-	-	8,482.30	370,788	26,332	6,235.44	370,758	21,605							
	竹 林	18.53	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
無 立 木 地		8,693.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							

区分		4 齡		5 齡		6 齡		7 齡		齡級		成長量	
		面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量
人 工 林	総数	4,824.22	424,597	21,765	12,625.17	1,409,945	57,896	15,725.57	2,320,344	75,065	13,446.97	2,404,971	62,313
	針葉樹	307.57	32,384	3,014	1,002.11	158,787	9,222	2,354.24	480,973	18,232	4,201.18	975,792	26,950
	広葉樹	4,516.65	392,213	18,751	11,623.06	1,251,158	48,674	13,371.33	1,839,371	56,833	9,245.79	1,429,179	35,363
	総数	418.79	42,394	3,296	1,062.54	165,855	9,366	2,422.99	489,066	18,430	4,284.62	987,986	27,215
	針葉樹	263.05	28,233	2,628	947.10	152,311	8,841	2,325.93	475,653	18,021	4,176.91	970,705	26,795
	広葉樹	155.74	14,161	668	115.44	13,544	525	97.06	13,413	409	107.71	17,281	420
	総数	416.32	42,210	3,286	1,057.84	165,131	9,332	2,362.38	476,066	17,927	4,132.28	949,914	26,203
	針葉樹	262.86	28,209	2,626	945.29	151,959	8,821	2267.88	463,041	17,529	4027.51	933,108	25,794
	広葉樹	153.46	14,001	660	112.55	13,172	511	94.50	13,025	398	104.77	16,806	409
	総数	2.47	184	10	4.70	724	34	60.61	13,000	503	152.34	38,072	1,012
木 天 然 林	青成 单層 林	0.19	24	2	1.81	352	20	58.05	12,612	492	149.40	37,597	1,001
	青成 複層 林	2.28	160	8	2.89	372	14	2.56	388	11	2.94	475	11
	総数	4,405.43	382,203	18,469	11,562.63	1,244,090	48,530	13,302.58	1,831,278	56,635	9,162.35	1,416,985	35,098
	針葉樹	44.52	4,151	386	55.01	6,476	381	28.31	5,320	211	24.27	5,087	155
	広葉樹	4,360.91	378,052	18,083	11,507.62	1,237,614	48,149	13,274.27	1,825,958	56,424	9,138.08	1,411,898	34,943
	総数	47.50	4,398	394	56.75	6,601	384	28.70	4,968	193	40.21	7,496	207
	針葉樹	43.90	4,075	379	54.59	6,423	378	23.94	4,332	172	19.63	4,002	123
	広葉樹	3.60	323	15	2.16	178	6	4.76	636	21	20.58	3,494	84
	総数	6.06	558	26	1.31	145	6	32.44	4,855	161	24.64	4,301	108
	針葉樹	-	-	-	0.33	39	2	4.37	988	39	4.64	1,085	32
	広葉樹	6.06	558	26	0.98	106	4	28.07	3,867	122	20.00	3,216	76
地 林	天 然 生 林	4,351.87	377,247	18,049	11,504.57	1,237,344	48,140	13,241.44	1,821,455	56,281	9,097.50	1,405,188	34,783
	竹 林	4351.25	377,171	18,042	11504.48	1,237,330	48,139	13241.44	1,821,455	56,281	9097.50	1,405,188	34,783
	無立木地	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

区分		8 齡		9 齡		10 齡		11 齡		級	
		面 積	材 積	面 積	材 積	面 積	材 積	面 積	材 積	面 積	成長量
総 数	13,544.15	2,857,478	61,671	12,365.52	3,156,863	56,736	15,247.60	4,193,045	60,165	16,990.07	4,855,173
総 数	13,544.15	2,857,478	61,671	12,365.52	3,156,863	56,736	15,247.60	4,193,045	60,165	16,990.07	4,855,173
針葉樹	6,389.40	1,651,620	38,416	8,885.34	2,554,802	48,180	10,555.03	3,319,360	50,973	10,483.20	3,567,576
広葉樹	7,154.75	1,205,858	23,255	3,480.18	602,061	8,556	4,692.57	873,685	9,192	6,506.87	1,287,597
針葉樹	6,394.75	1,648,098	38,259	8,869.05	2,538,845	47,720	10,501.79	3,278,158	50,140	10,016.24	3,421,079
広葉樹	88.91	15,197	265	108.99	17,005	98	175.78	24,248	32	52.25	8,463
総 数	6,231.63	1,606,694	37,286	8,728.09	2,498,876	46,990	10,300.55	3,216,743	49,201	9,779.65	3,344,642
針葉樹	6144.04	1,591,730	37,025	8622.44	2,482,584	46,902	10133.49	3,193,814	49,169	9735.24	3,337,654
広葉樹	87.59	14,964	261	105.65	16,292	88	167.06	22,929	32	44.41	6,988
総 数	163.12	41,404	973	140.96	39,969	730	201.24	61,415	939	236.59	76,437
針葉樹	161.80	41,171	969	137.62	39,256	720	192.52	60,096	939	228.75	74,962
広葉樹	1.32	233	4	3.34	713	10	8.72	1,319	-	7.84	1,475
総 数	7,149.40	1,209,380	23,412	3,496.47	618,018	9,016	4,745.81	914,887	10,025	6,973.83	1,434,094
針葉樹	83.56	18,719	422	125.28	32,962	558	229.02	65,450	865	519.21	154,960
広葉樹	7,065.84	1,190,661	22,990	3,371.19	585,056	8,458	4,516.79	849,437	9,160	6,454.62	1,279,134
総 数	83.76	18,460	410	132.54	33,424	559	211.92	58,739	762	465.07	135,431
針葉樹	80.71	17,981	405	119.45	31,206	528	196.62	55,896	732	442.38	130,698
広葉樹	3.05	479	5	13.09	2,218	31	15.30	2,843	30	22.69	4,733
総 数	36.61	7,121	138	80.39	14,694	224	134.26	29,734	352	225.98	56,188
針葉樹	2.61	682	16	5.77	1,739	30	32.40	9,554	133	74.78	23,809
広葉樹	34.00	6,439	122	74.62	12,955	194	101.86	20,180	219	151.20	32,379
天然林	7,029.03	1,183,799	22,864	3,283.54	569,900	8,233	4,399.63	826,414	8,911	6,282.78	1,242,475
人工林	7028.79	1,183,743	22,863	3,283.48	569,883	8,233	4,399.63	826,414	8,911	6,280.73	1,242,022
竹林	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無立木地	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

区分		12 歳		13 歳		14 歳		15 歳		齡級	
		面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積
総数	21,090.26	5,842,256	48,903	21,538.48	5,558,315	33,229	15,563.51	3,942,855	18,516	7,803.62	1,870,457
総数	21,090.26	5,842,256	48,903	21,538.48	5,558,315	33,229	15,563.51	3,942,855	18,516	7,803.62	1,870,457
針葉樹	9,537.99	3,431,208	34,285	7,692.71	2,862,956	22,488	4,188.58	1,675,005	11,763	1,489.70	602,138
広葉樹	11,552.27	2,411,048	14,618	13,845.77	2,695,359	10,741	11,374.93	2,267,850	6,753	6,313.92	1,268,319
針葉樹	8,629.33	3,132,045	31,590	6,116.70	2,326,335	18,568	2,429.73	1,065,263	8,120	562.49	267,049
広葉樹	50.66	9,689	39	43.06	6,429	10	20.83	2,408.90	1,062,520	8,119	550.83
総数	8,418.37	3,057,329	30,895	5,883.19	2,243,257	17,981	2,345.57	1,031,692	7,904	535.14	254,594
針葉樹	8,381.59	3,050,868	30,874	5841.04	2,236,941	17,971	2,324.74	1,028,949	7,903	523.48	252,186
広葉樹	36.78	6,461	21	42.15	6,316	10	20.83	2,743	1	11.66	2,408
総数	210.96	74,716	695	233.51	83,078	587	84.16	33,571	216	27.35	12,455
針葉樹	197.08	71,488	677	232.60	82,965	587	84.16	33,571	216	27.35	12,455
広葉樹	13.88	3,228	18	0.91	113	-	-	-	-	-	-
総数	12,460.93	2,710,211	17,313	15,421.78	3,231,980	14,661	13,133.78	2,877,592	10,396	7,241.13	1,603,408
針葉樹	959.32	308,852	2,734	1,619.07	543,050	3,930	1,779.68	612,485	3,644	938.87	337,497
広葉樹	11,501.61	2,401,359	14,579	13,802.71	2,688,930	10,731	11,354.10	2,265,107	6,752	6,302.26	1,265,911
総数	831.24	265,540	2,335	1,335.17	441,603	3,166	1,507.18	510,525	3,013	804.47	281,356
針葉樹	821.19	263,379	2,321	1322.60	439,043	3,157	1495.03	508,042	3,005	798.72	280,175
広葉樹	10.05	2,161	14	12.57	2,560	9	12.15	2,483	8	5.75	1,181
総数	371.18	96,437	691	611.25	170,479	1,002	593.98	170,713	820	295.17	88,177
針葉樹	135.14	44,382	403	294.06	103,212	767	284.65	104,443	639	133.47	54,349
広葉樹	236.04	52,055	288	317.19	67,267	235	309.33	66,270	181	161.70	33,828
天然林	11,258.51	2,348,234	14,287	13,475.36	2,619,898	10,493	11,032.62	2,196,354	6,563	6,141.49	1,233,875
無立木地	-	-	-	2.41	795	6	-	-	6.68	2,973	23
竹林	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

区分		16 齡		17 齡		18 齡		19 齡	
		面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積
総数	4,395.61	1,086,473	3,071	2,509.54	647,785	1,418	1,894.32	518,474	1,050
総数	4,395.61	1,086,473	3,071	2,509.54	647,785	1,418	1,894.32	518,474	1,050
針葉樹	951.94	396,651	1,922	623,42	266,157	1,074	560,46	246,612	875
広葉樹	3,443.67	689,822	1,149	1,886.12	381,628	344	1,333.86	271,862	175
総数	375.15	191,532	1,085	232,67	127,010	652	191.32	114,471	476
針葉樹	373.19	191,157	1,085	231,28	126,682	652	189.35	114,128	476
広葉樹	1.96	375	-	1.39	328	-	1.97	343	-
総数	364.43	186,448	1,063	224.19	122,672	634	186.89	111,982	468
針葉樹	362.47	186,073	1,063	223.33	122,473	634	184.92	111,639	468
広葉樹	1.96	375	-	0.86	199	-	1.97	343	-
総数	10.72	5,084	22	8.48	4,338	18	4.43	2,489	8
針葉樹	10.72	5,084	22	7.95	4,209	18	4.43	2,489	8
広葉樹	-	-	0.53	129	-	-	-	-	-
総数	4,020.46	894,941	1,986	2,276.87	520,775	766	1,703.00	404,003	574
針葉樹	578.75	205,494	837	392.14	139,475	422	371.11	132,484	399
広葉樹	3,441.71	689,447	1,149	1,884.73	381,300	344	1,331.89	271,519	175
総数	533.10	187,427	760	350.34	122,614	366	331.95	117,315	357
針葉樹	530.04	186,787	759	350.34	122,614	366	331.50	117,225	357
広葉樹	3.06	640	1	-	-	0.45	90	-	3.04
総数	131.75	35,717	103	57.18	19,726	53	67.22	20,809	44
針葉樹	48.65	18,685	78	39.95	16,313	53	39.61	15,259	42
広葉樹	83.10	17,032	25	17.23	3,413	-	27.61	5,550	2
総数	3,355.61	671,797	1,123	1,869.35	378,435	347	1,303.83	265,879	173
針葉樹	0.06	22	-	1.85	548	3	-	-	0.19
広葉樹	3355.55	671,775	1,123	1867.50	377,887	344	1303.83	265,879	173
竹林	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無立木地	-	-	-	-	-	-	-	-	-

單位 面積 : ha、材積 : m³、成長量 : m³

區 分		20 歲 級		21 歲 級		22 歲 級		23 歲 級		24 歲 級	
總 數		面 積	材 積	成 長 量	面 積	材 積	成 長 量	面 積	材 積	成 長 量	上
總 數	總 數	598.87	180,802	317	959.08	276,473	255				
	針葉樹	598.87	180,802	317	959.08	276,473	255				
	闊葉樹	277.72	118,700	275	440.44	188,184	250				
人 工 林	總 數	321.15	62,102	42	518.64	88,289	5				
	針葉樹	88.01	52,363	161	124.57	75,144	114				
	闊葉樹	87.88	52,337	161	123.67	74,984	114				
	總 數	0.13	26	-	0.90	160	-				
	針葉樹	85.33	50,945	158	119.54	72,424	110				
	闊葉樹	0.13	26	-	0.90	160	-				
	總 數	2.55	1,392	3	4.13	2,720	4				
	針葉樹	2.55	1,392	3	4.13	2,720	4				
	闊葉樹	-	-	-	-	-	-				
木 天 然 林	總 數	510.86	128,439	156	834.51	201,329	141				
	針葉樹	189.84	66,363	114	316.77	113,200	136				
	闊葉樹	321.02	62,076	42	517.74	88,129	5				
	總 數	155.91	53,295	88	274.61	96,860	112				
	針葉樹	154.01	52,954	88	273.93	96,720	112				
	闊葉樹	1.90	341	-	0.68	140	-				
	總 數	45.87	11,636	16	76.57	22,888	24				
	針葉樹	16.50	6,275	12	42.84	16,480	24				
	闊葉樹	29.37	5,361	4	33.73	6,408	-				
	總 數	309.08	63,508	52	483.33	81,581	5				
	針葉樹	19.33	7,134	14	-	-	-				
	闊葉樹	289.75	56,374	38	483.33	81,581	5				
	竹 林	-	-	-	-	-	-				
	無 立 木 地	-	-	-	-	-	-				

(2) 制限林普通林別森林資源表

単位 面積: ha、材積: 千m³、成長量: 千m³

区 分	総 数	立				木				人				地			
		総 数	針葉樹	広葉樹	総 数	針葉樹	広葉樹	総 数	針葉樹	広葉樹	総 数	針葉樹	広葉樹	総 数	針葉樹	広葉樹	総 数
総 面 積	240,625	230,558	88,076	142,482	79,972	78,617	1,354	77,875	76,604	1,271	2,097	2,013	83				
材 積 成長量	49,816	49,816	27,331	22,485	24,379	24,209	171	23,734	23,577	156	646	631	14				
制限林 面 積	34,003	32,648	16,937	15,710	16,143	16,045	99	15,602	15,535	68	541	510	31				
成長量	90	90	67	23	66	66	0	64	64	0	2	2	0				
普通林 面 積	206,622	197,911	71,139	126,772	63,828	62,573	1,256	62,273	61,069	1,203	1,556	1,504	52				
成長量	617	617	320	297	304	301	3	297	294	3	7	7	0				

区 分	総 数	立				木				地				立				木			
		総 数	針葉樹	広葉樹	総 数	針葉樹	広葉樹	総 数	針葉樹	広葉樹	総 数	針葉樹	広葉樹	総 数	針葉樹	広葉樹	総 数	針葉樹	広葉樹		
総 面 積	150,587	9,459	141,128	8,196	8,005	191	3,548	1,407	2,140	138,842	46	138,796	20	10,047	6,231	3,816					
材 積 成長量	25,436	3,122	22,314	2,639	2,607	32	930	499	431	21,867	16	21,851	-	-	-	-					
制限林 面 積	337	21	317	18	17	0	5	3	2	314	0	314	-	-	-	-					
成長量	16,504	893	15,611	704	665	39	700	222	478	15,101	6	15,095	2	1,354	328	1,026					
普通林 面 積	2,868	292	2,575	220	213	7	167	76	90	2,481	3	2,478	-	-	-	-					
成長量	24	1	23	1	1	0	1	0	0	22	0	22	-	-	-	-					
面 積	134,082	8,566	125,517	7,492	7,340	152	2,848	1,185	1,663	123,742	40	123,702	19	8,693	5,903	2,790					
材 積	22,569	2,830	19,739	2,419	2,394	26	764	423	341	19,386	13	19,372	-	-	-	-					
成長量	313	19	294	17	16	0	5	3	2	292	0	292	-	-	-	-					

注 単位未満を四捨五入していいるため各数値の積み上げと総数は必ずしも一致しない。

(3) 市町村別森林資源表

単位 面積 : ha、材積 : 千m³

区 分	総 数	立 木						林					
		総 数	針葉樹	広葉樹	総 数	針葉樹	広葉樹	総 数	針葉樹	広葉樹	総 数	針葉樹	広葉樹
総 数	240,625	230,558	88,076	142,482	79,972	78,617	1,354	77,875	76,604	1,271	2,097	2,013	83
面 積	49,816	49,816	27,331	22,485	24,379	24,209	171	23,734	23,577	156	646	631	14
久 慈 市	28,384	26,257	15,821	10,436	13,455	13,356	100	13,128	13,032	96	327	323	4
洋 野 町	6,331	6,331	4,768	1,563	3,892	3,878	14	3,791	3,777	14	101	101	0
野 田 村	62,717	60,394	9,075	51,319	7,401	7,311	90	7,204	7,126	78	197	185	12
普 代 村	11,208	11,208	3,075	8,133	2,496	2,488	8	2,428	2,423	6	68	66	2
宮 古 市	8,072	7,652	2,685	4,967	2,428	2,298	219	2,375	2,157	219	52	52	0
山 田 町	9,933	9,513	4,731	8,180	8,018	7,964	55	7,872	7,820	52	147	135	12
岩 泉 町	12,199	12,199	6,254	5,945	5,945	5,913	31	5,766	5,739	27	179	175	5
田 野 烟 村	2,452	2,452	1,232	1,220	1,062	1,052	10	1,026	1,017	9	36	35	1

区 分	立 木						地						単位 面積 : ha、材積 : 千m ³			
	総 数	針葉樹	広葉樹	総 数	育 成	单 層 林	総 数	針葉樹	広葉樹	総 数	針葉樹	広葉樹	竹 林	総 数	伐採跡地	未立木地
総 数	150,587	9,459	141,128	8,196	8,005	191	3,548	1,407	2,140	138,842	46	138,796	20	10,047	6,231	3,816
面 積	25,436	3,122	22,314	2,639	2,607	32	930	499	431	21,867	16	21,851	-	-	-	-
久 慈 市	26,353	2,712	23,641	2,325	2,289	37	898	421	477	23,130	2	23,128	0	2,357	1,430	927
洋 野 町	4,554	769	3,785	646	640	7	226	97	3,682	0	3,681	-	-	-	-	-
野 田 村	12,802	2,466	10,336	2,119	2,080	39	794	381	413	9,888	5	9,883	0	2,127	1,707	420
普 代 村	2,439	891	1,548	750	743	7	233	147	86	1,456	1	1,455	-	-	-	-
宮 古 市	2,346	396	1,950	375	367	8	57	29	28	1,914	0	1,914	1	249	93	156
山 田 町	474	119	355	112	111	2	13	8	5	3,48	0	348	-	-	-	-
岩 泉 町	3,598	133	3,465	117	110	7	155	17	138	3,326	6	3,319	0	352	265	86
田 野 烟 村	596	42	554	35	34	1	33	5	28	528	3	525	-	-	-	-
宮 古 市	52,993	1,764	51,229	1,542	1,453	90	819	301	518	50,632	10	50,622	11	2,311	1,116	1,195
山 田 町	8,712	587	8,125	492	477	15	212	107	105	8,008	3	8,006	-	-	-	-
岩 泉 町	5,224	476	4,748	353	352	1	312	124	188	4,559	0	4,559	4	416	170	246
田 野 烟 村	1,018	194	823	139	0	93	55	38	785	0	785	-	-	-	-	-
宮 古 市	39,480	984	38,496	867	861	6	410	100	310	38,202	23	38,180	3	1,851	1,279	572
山 田 町	6,254	341	5,914	295	294	1	94	37	57	5,865	9	5,855	-	-	-	-
岩 泉 町	7,722	528	7,264	498	493	4	102	34	68	7,192	0	7,192	1	384	171	213
田 野 烟 村	1,390	180	1,210	169	168	1	26	12	14	1,195	0	1,195	-	-	-	-

注 単位未満を四捨五入しているため各数値の積み上げと総数は必ずしも一致しない。

(4) 所有形態別森林資源表

単位 面積 : ha、材積 : 千m³

区分	総面積	立木				人工林			
		総数	針葉樹	広葉樹	総数	針葉樹	広葉樹	総数	針葉樹
総面積	240,625	230,558	88,076	142,482	79,972	78,617	1,354	77,875	76,604
県有林材積	49,816	49,816	27,331	22,485	24,379	24,209	171	23,734	23,577
市町村有林材積	32,136	31,139	26,874	2,248	26,800	26,775	25	26,194	26,182
財産区有林材積	7,470	7,470	7,131	339	7,102	7,098	4	6,939	6,937
私有林材積	9,239	8,908	5,199	3,709	5,061	4,987	74	4,831	4,764
総面積	2,174	2,174	1,534	640	1,467	1,458	9	1,400	1,392
総面積	5,000	4,898	566	4,332	559	533	25	523	498
総面積	749	749	129	620	120	117	3	111	108
総面積	196,268	187,630	55,437	132,193	47,552	46,322	1,230	46,327	45,161
総面積	39,422	39,422	18,537	20,885	15,690	15,535	154	15,283	15,141

区分	総面積	天然林				竹林				無立木地			
		総数	針葉樹	広葉樹	総数	針葉樹	広葉樹	総数	針葉樹	広葉樹	総数	伐採跡地	未立木地
総面積	150,587	9,459	141,128	8,196	8,005	191	3,548	1,407	2,140	138,842	46	138,796	20
県有林材積	25,436	3,122	22,314	2,639	2,607	32	930	499	431	21,867	16	21,851	-
市町村有林材積	2,322	99	2,223	94	0	47	5	42	2,181	1	2,181	0	996
財産区有林材積	368	33	335	32	0	8	1	7	328	0	328	-	-
私有林材積	3,847	212	3,635	175	1	273	33	240	3,398	4	3,394	0	331
総面積	707	76	631	63	0	54	11	43	590	2	588	-	-
総面積	4,339	32	4,307	26	0	18	2	16	4,295	3	4,291	0	102
総面積	628	12	617	10	0	3	1	2	615	1	614	-	-
総面積	140,079	9,115	130,963	7,901	7,710	190	3,210	1,367	1,842	128,968	38	128,930	20
私有林材積	23,733	3,002	20,731	2,555	2,503	32	865	486	379	20,333	13	20,320	-

注 単位未満を四捨五入しているため各数値の積み上げと総数は必ずしも一致しない。

(5) 制限林の種類別面積

単位: ha

区分	保 林			安 林			保 砂			国 定			公 園			自 然			公 園			自然環境保全地域					
	水 源 か ん 養 保 安 林			土 砂 流 出 防 備 保 安 林			そ の 他 の 保 安 林			特 別 保 護 地 区			第一 種 特 別 地 城			第二 種 特 別 地 城			第三 種 特 別 地 城			小 地 域			地 域 分 区		
	計			計			計			計			計			計			計			保 生 指 定 保 護 地 區					
総数	14,005.78	12,796.53	1,902.02	2,214.85	30,119.18	0.26	415.30	13,24	101.35	699.25	592.55	(269.00)	(736.01)	(273.05)	(1,408.87)	(1,121.19)	(2,530.06)	(1,121.19)	(2,530.06)	(77.21)	(65.10)	(273.13)	(15.90)	(3,797.89)			
久慈市	2,269.74	(14.56)	(375.77)	(390.33)	(7.90)		(10.71)	(80.68)		94.39		(384.73)	(384.73)	(476.12)		241.72	22.49	264.21	45.67	297.44	50.06	1.38	33,965.64				
洋野町	68.31	71.29	5.64	108.97	254.21	10.36				62.39	14.30		217.23	206.78	424.01								1.03	5,524.38			
野田村	1,235.53	35.10	(0.12)	(23.12)	(23.43)					(20.85)	(31.37)		52.22										1.54	1.38	267.49		
普代村	15.50	142.39	4.25	111.91	274.06	12.88				(9.14)	(21.78)		30.92										0.27		1,449.81		
宮古市	7,839.53	3,648.71	540.71	1,085.66	13,114.61	0.26	139.05	8.09	68.56	215.61	206.75	(344.41)	(223.25)	(222.05)	(838.00)										(108.15)	(107.98)	
山田町		93.43	17.89	247.33	358.65					(39.08)	(21.89)	(106.97)	(1.15)	169.09													
岩泉町	2,326.92	6,512.70	1,064.73	174.91	10,673.26		106.20		16.46																	(1,156.98)	
田野郷村	250.25	64.26	10.73	168.69	493.93		18.37	5.15		67.98	49.75															(158.57)	

注 () 内の数字は他の制限林と重複した面積で外数である。

(6) 樹種別材積表

単位 : 千m³

樹種 林種	針葉樹						広葉樹	
	スギ	ヒノキ	アカマツ	カラマツ	その他 N	計	クリ	コナラ
総 数	8,489	61	15,281	3,470	30	27,331	2,306	7,627
人工林	8,486	61	12,163	3,470	29	24,209	12	45
天然林	3	0	3,118	0	1	3,122	2,294	7,582
樹種 林種	広葉樹						合計	
	ミズナラ	カンバ	ホオノキ	カエデ	サクラ	その他 L		
総 数	2,663	802	488	1,334	1,127	6,137	22,485	49,816
人工林	0	6	0	0	0	107	171	24,379
天然林	2,663	797	488	1,334	1,127	6,030	22,314	25,436

注1 広葉樹の材積は、昭和58年度広葉樹賦存状況調査の構成比率による。

2 単位未満を四捨五入しているため、各数値の積み上げと総数は必ずしも一致しない。

(7) 特定保安林の指定状況

単位 面積：ha

市町村	特 定 保 安 林				要 整 備 森 林		備 考
	番号	面 積			箇所数	面 積	
総 数	—	—	—	—	—	—	
久慈市	—	—	—	—	—	—	
洋野町	—	—	—	—	—	—	
野田村	—	—	—	—	—	—	
普代村	—	—	—	—	—	—	
宮古市	—	—	—	—	—	—	
山田町	—	—	—	—	—	—	
岩泉町	—	—	—	—	—	—	
田野畠村	—	—	—	—	—	—	

(8) 荒廃地等の面積

単位 面積：ha

種類	荒 廃 地	荒 廃 危 險 地	備 考
総 数	53.94	—	
市町村別内訳	久慈市	17.72	—
	洋野町	0.39	—
	野田村	0.47	—
	普代村	0.48	—
	宮古市	31.00	—
	山田町	0.47	—
	岩泉町	1.65	—
	田野畠村	1.76	—

(9) 森林の被害

単位 面積:ha

種類	火 灾			気 象 害			病 虫 害			シカ害			その他の獣害		
年 度	30	元	2	30	元	2	30	元	2	30	元	2	30	元	2
総 数	49.34	4.28	4.52	-	1.69	-	845.85	1,697.22	1,177.26	0.07	1.19	4.1	0.04	0.04	0.02
市町村別内訳	久慈市	2.99	0.07	0	-	-	-	-	-	4.43	-	-	-	-	-
	洋野町	-	0.73	4.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	野田村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	普代村	-	0.03	-	-	-	-	45.38	13.25	-	-	-	-	-	-
	宮古市	25.34	3.43	-	-	1.06	-	425.97	662.8	669.54	0.02	1.15	4.08	0.02	0.02
	山田町	-	-	0.26	-	-	-	419.85	190.70	326.01	0.01	-	-	-	-
	岩泉町	21.01	0.02	0.08	-	0.63	-	-	264.69	49.95	0.04	0.04	0.02	0.02	0.02
	田野畠村	-	-	0.09	-	-	-	533.65	114.08	-	-	-	-	-	-

注 1 森林整備課資料による。

2 火災、気象害については曆年、病虫害、シカ被害、その他獣害については年度

3 火災、気象害、シカ被害、その他獣害については被害実面積、病虫害については被害区域面積

(10) 防火線等の整備状況

単位 延長 : m

種類	防 火 带 道	防 火 線	備 考
総 数	-	-	
市町村別内訳	久慈市	-	-
	洋野町	-	-
	野田村	-	-
	普代村	-	-
	宮古市	-	-
	山田町	-	-
	岩泉町	-	-
	田野畠村	-	-

3 林業の動向

(1) 保有山林規模別林業経営体数

単位 経営体数

区分	総 数	保有山林なし	5ha未満	5~10ha未満	10~50ha未満	50ha以上	備考
総 数	421	29	54	80	181	77	
市町村別内訳	久慈市	80	9	6	15	34	16
	洋野町	158	3	25	36	70	24
	野田村	19	-	5	6	8	-
	普代村	5	-	-	-	3	2
	宮古市	63	7	6	10	30	10
	山田町	16	3	3	1	8	1
	岩泉町	63	7	7	8	21	20
	田野畠村	17	-	2	4	7	4

注 1 2020年農林業センサスによる。

2 保有山林とは、権原に基づいて育林又は伐採(立木竹のみを譲り受けする伐採を除く。)を行うことができる山林をいう。

3 林業経営体とは、下記のいずれかに該当する事業を行う者をいう。

ア 保有山林面積が3ha以上で、かつ、調査実施年を計画期間に含む森林経営計画を策定している者又は調査期日前5年間に継続して林業を行い育林若しくは伐採を実施した者。

イ 委託を受けて行う育林若しくは素材生産又は立木を購入して素材生産を行っている者。ただし、素材生産については、調査期日前1年に200m³以上の素材を生産した者に限る。

(2) 森林経営計画の認定状況

単位 件数：件、面積：ha

区分	総 数		公 有 林		私 有 林		備考
	件 数	面 積	件 数	面 積	件 数	面 積	
総 数	73	45,812	15	37,227	58	8,585	
市町村別内訳	久慈市	10	9,113	2	7,001	8	2,112
	洋野町	16	3,509	1	1,878	15	1,631
	野田村	3	1,785	1	463	2	1,321
	普代村	3	326	2	198	1	128
	宮古市	16	13,181	2	12,402	14	779
	山田町	5	699	2	553	3	146
	岩泉町	14	14,200	3	12,558	11	1,642
	田野畠村	6	2,999	2	2,173	4	827

注 1 市町村別の件数欄には、当該市町村の森林についてたてられている森林経営計画の認定森林所有者等の数を記載する。

2 認定が複数の市町村に跨る場合、件数はそれぞれの市町村で1件としている。

3 令和2年度末現在で認定されている森林経営計画である。

4 面積総数は端数処理しているため、必ずしも一致しない。

(3) 経営管理権及び経営管理実施権の設定状況

単位 件数：件、面積：ha

市町村別	経営管理権		経営管理実施権		備考
	件 数	面 積	件 数	面 積	
総 数	-	-	-	-	-
久慈市	-	-	-	-	-
洋野町	-	-	-	-	-
野田村	-	-	-	-	-
普代村	-	-	-	-	-
宮古市	-	-	-	-	-
山田町	-	-	-	-	-
岩泉町	-	-	-	-	-
田野畠村	-	-	-	-	-

(4) 森林組合及び生産森林組合の現況

ア 構成

単位 員数：人、金額：千円、面積：ha

市町村別		組合名	組合員数	常勤役員数	出資金総額	組合員所有 (又は組合経営) 森林面積	備考
森 林 組 合	总数		6,999	3	359,952	118,481	
	久慈市	久慈地方	2,804	1	147,506	28,921	
	洋野町						
	普代村						
	野田村	野田村	227	-	18,706	2,400	
	宮古市	宮古地方	2,295	1	127,680	40,922	
	山田町						
	岩泉町	岩泉町	1,411	1	45,774	38,767	
	田野畠村	田野畠村	262	-	20,286	7,471	
生 産 森 林 組 合	总数		197	10	43,624	1,402	
	宮古市	長沢	84	-	2,520	312	
		磯鷄	108	-	21,430	40	
		藤畠	44	-	2,500	99	
		末前	34	-	6,800	208	
		平沢	20	-	4,600	40	
	岩泉町	北山	52	-	8,000	616	
		山田町	荒川第二	137	6,109	50	
		中里	73	10	7,300	698	
		穴沢	62	-	20,700	480	
		中島	62	-	15,624	224	

注 1 森林組合については、森林組合一斉調査資料による。(令和元年度実績)

2 組合員数については、正組合員と准組合員との合計数である。

イ 事業内容及び活動状況等

組合名		指導事業	販売事業	林産事業	加工事業	購買事業	養苗	森林造成業 事	利用及び 福利厚生業 事	金融事業	合計	単位 金額：千円
総数	2,508	838,221	248,916	108,177	60,110	—	261,103	20,487	—	1,539,522		
久慈地方	—	241,704	51,537	108,036	37,524	—	90,515	1,214	—	—	530,530	
森 野 村	—	292,584	104,992	—	6,114	—	4,691	2,181	—	—	410,562	
宮 古 地 方	2,417	255,781	82,353	—	9,775	—	30,560	3,481	—	—	384,367	
岩 泉 町	—	19,626	—	—	5,419	—	105,350	1,660	—	—	132,055	
田 野 烟 村	91	28,526	10,034	141	1,278	—	29,987	11,951	—	—	82,008	

注 森林組合一斉調査資料による。(令和元年度実績)

(5) 林業事業体等の現況

区分	林業経営体	木材卸売 (うちは素材 市売市場)	木材・木製品製造業
総 数	46	2	35
久慈市	13	1	12
洋野町	6		2
野田村	1		1
普代村	-		-
宮古市	13	1	14
山田町	2		2
岩泉町	10		4
田野畠村	1		-

注 林業経営体数は「2020年農林業センサス」林業経営体-組織形態別経営体数（法人化している経営体数より）、木材卸売業は素材市売市場を計上、木材・木製品製造業は平成30年工業統計調査報告書（従業者4名以上の事業所）による。

(6) 林業労働力の概況

単位：人

事業体名	区分 年度	総数	就労日数区別人員			年齢別人員			性別	
			60日未満	60～149日	150日以上	39歳以下	40～59歳	60歳以上	男	女
森林組合	平成29年	73	-	10	63	12	32	29	69	4
	平成30年	79	-	13	63	14	30	32	77	2
	令和元年	76	-	12	64	16	27	33	74	2
森林組合以外 の林業事業体	平成29年	397	-	75	320	91	153	151	379	18
	平成30年	380	-	68	310	92	152	136	360	20
	令和元年	397	-	70	326	98	146	153	379	18

注1 森林整備課資料による。

注2 未回答があるため、総数と内訳が合致しない場合がある。

(7) 林業機械化の概況

機械種名	摘要	単位	数量	備考
索道	重力式	セット	-	
索道	動力式	セット	-	
小型集材機	動力10ps未満	台	7	
大型集材機	動力10ps以上	台	8	
モノケーブル		台	1	
リモコンワインチ		台	5	
自走式搬器		台	1	
小型運材車	動力20ps未満	台	7	
小型運材車	動力20ps以上	台	35	
ホイールトラクタ		台	19	
クローラトラクタ		台	11	
育林用トラクタ		台	-	
フォークリフト		台	8	
フォークローダ		台	3	
クレーン	クレーン	台	1	
クレーン	クレーン付トラック	台	34	
グラップルローダ		台	148	
グラップル付トラック		台	26	
トラクタショベル		台	15	
ショベル系掘削機械		台	152	
チーンソー		台	437	
チーンソーリモコン装置		台	-	
刈払機		台	317	
植穴掘機		台	6	
動力枝打機	自動木登り式	台	2	
動力枝打機	上記以外	台	10	
苗畑用トラクタ		台	-	
樹木粉碎機		台	4	
フェラバントチャ		台	3	
スキッダ		台	4	
プロセッサ		台	19	
ハーベスター		台	21	
フォワーダ		台	23	
タワーヤード		台	3	
スイングヤード		台	8	
その他高性能林業機械		台	10	フォーク収納型グラップルバケット等
グラップルソー		台	47	

注 森林整備課資料による。(令和2年3月31日現在)

(8) 作業路網等の整備の概況

単位 路線数：路線 延長：m

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		備考
	路線数	延長	路線数	延長	路線数	延長	
総 数	31	37,124	17	25,197	27	30,558	
森林整備事業	8	4,551	2	2,247	1	1,858	
水源林造成事業	9	7,181	6	8,278	3	4,360	
治山事業	1	145	3	367	2	182	
県有林	-	-	-	-	-	-	
その他	13	25,247	6	14,305	21	24,158	

注 森林整備課資料による。

4 前期計画の実行状況

(1) 間伐立木材積その他の伐採立木材積

単位 材積：1,000m³、実行歩合：%

区分	伐採立木材積								
	計画			実行			実行歩合		
	主伐	間伐	総数	主伐	間伐	総数	主伐	間伐	総数
総数	1,584	740	2,324	1,298	354	1,651	82	48	71
針葉樹	808	740	1,548	828	354	1,182	102	48	76
広葉樹	776	-	776	469	-	469	60	-	60

注1 単位未満を四捨五入しているため、各値と総数は一致しないことがある。

注2 主伐の実行量は平成29年次～令和元年次の実績に令和2年次～令和3年次の見込量を加えたものである。

注3 間伐の実行量は平成29年度～令和2年度の実績に令和3年度の見込量を加えたものである。

(2) 人工造林・天然更新別面積

単位 面積：ha、実行歩合：%

総数			人工造林			天然更新		
計画	実行	実行歩合	計画	実行	実行歩合	計画	実行	実行歩合
9,420	8,923	95	1,670	807	48	7,750	8,116	105

注 実行量は平成29年度～令和2年度の実績に令和3年度の見込量を加えたものである。

(3) 間伐面積

単位 面積：ha、実行歩合：%

計画	実行	実行割合
13,240	4,809	36

注 間伐の実行量は平成29年度～令和2年度の実績に令和3年度の見込量を加えたものである。

(4) 林道の開設及び拡張の数量

単位 延長：m、実行歩合：%

開設延長			拡張延長		
計画	実行	実行歩合	計画	実行	実行歩合
63,000	7,698	12	23,230	178	1

注 実行量は平成29年度～令和2年度の実績に令和3年度の見込量を加えたものである。

(5) 保安林の整備及び治山事業に関する計画

ア 保安林の種類別の面積

単位 面積：ha、実行歩合：%

種類	指定			解除実績
	計画	実行	実行歩合	
総数	583	178	31	9
水源かん養	500	106	21	2
災害防備	78	71	91	4
保健風致等	5	1	20	3

注 実行量は平成29年度～令和2年度の実績に令和3年度の見込量を加えたものである。

イ 保安施設地区の面積
該当なし。

ウ 治山事業の数量

単位 実行歩合 : %

種類	治山事業施行地区数		
	計画	実行	実行歩合
総数	36	36	100
保安林整備	12	4	33
山地治山	19	27	142
防災林造成	5	5	100

注 実行量は平成29年度～令和2年度の実績に令和3年度の見込量を加えたものである。

5 林地の異動状況（森林計画の対象森林）

(1) 森林より森林以外への異動

単位 面積 : ha

農用地	ゴルフ場等 レジャー施設 用地	住宅、別荘、 工場等建物敷 地及びその附 帯地	採石採土地	その他	合計
13	0	15	0	507	535

(2) 森林以外より森林への異動

単位 面積 : ha

原野	農用地	官行造林の 返地	その他	合計
9	0	136	36	181

注 四捨五入しているため、各数値の積み上げと総数は必ずしも一致しない。

6 森林資源の推移

(1) 分期別伐採立木材積等

単位 材積 : 千m³、面積 : ha、延長 : km

分 期			I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII
伐 採 立 木 材 積	総 数	総 数	4, 150	6, 072	5, 951	5, 705	5, 391	5, 144	4, 881	4, 455
		針葉樹	1, 342	3, 439	3, 485	3, 419	3, 320	3, 203	3, 053	2, 795
		広葉樹	2, 808	2, 633	2, 466	2, 286	2, 071	1, 941	1, 828	1, 660
	主 伐	総 数	4, 006	5, 995	5, 912	5, 679	5, 291	4, 910	4, 488	3, 935
		針葉樹	1, 198	3, 362	3, 446	3, 393	3, 220	2, 969	2, 660	2, 275
		広葉樹	2, 808	2, 633	2, 466	2, 286	2, 071	1, 941	1, 828	1, 660
	間 伐	総 数	144	77	39	26	100	234	393	520
		針葉樹	144	77	39	26	100	234	393	520
		広葉樹								
造 林 面 積	総 数		562	18, 553	23, 570	24, 841	23, 274	21, 954	20, 733	19, 558
	人 工 造 林		549	3, 120	5, 779	8, 292	7, 333	7, 035	6, 507	5, 829
	天 然 更新		13	15, 433	17, 791	16, 549	15, 941	14, 919	14, 226	13, 729
林 道 開 設 延 長			83	58						

注 地域森林計画樹立の翌年度から5年間を第Ⅰ分期、次の5年間を第Ⅱ分期以下同様とし、最終の分期を第VIII分期とする。

(2) 分期別期首資源表

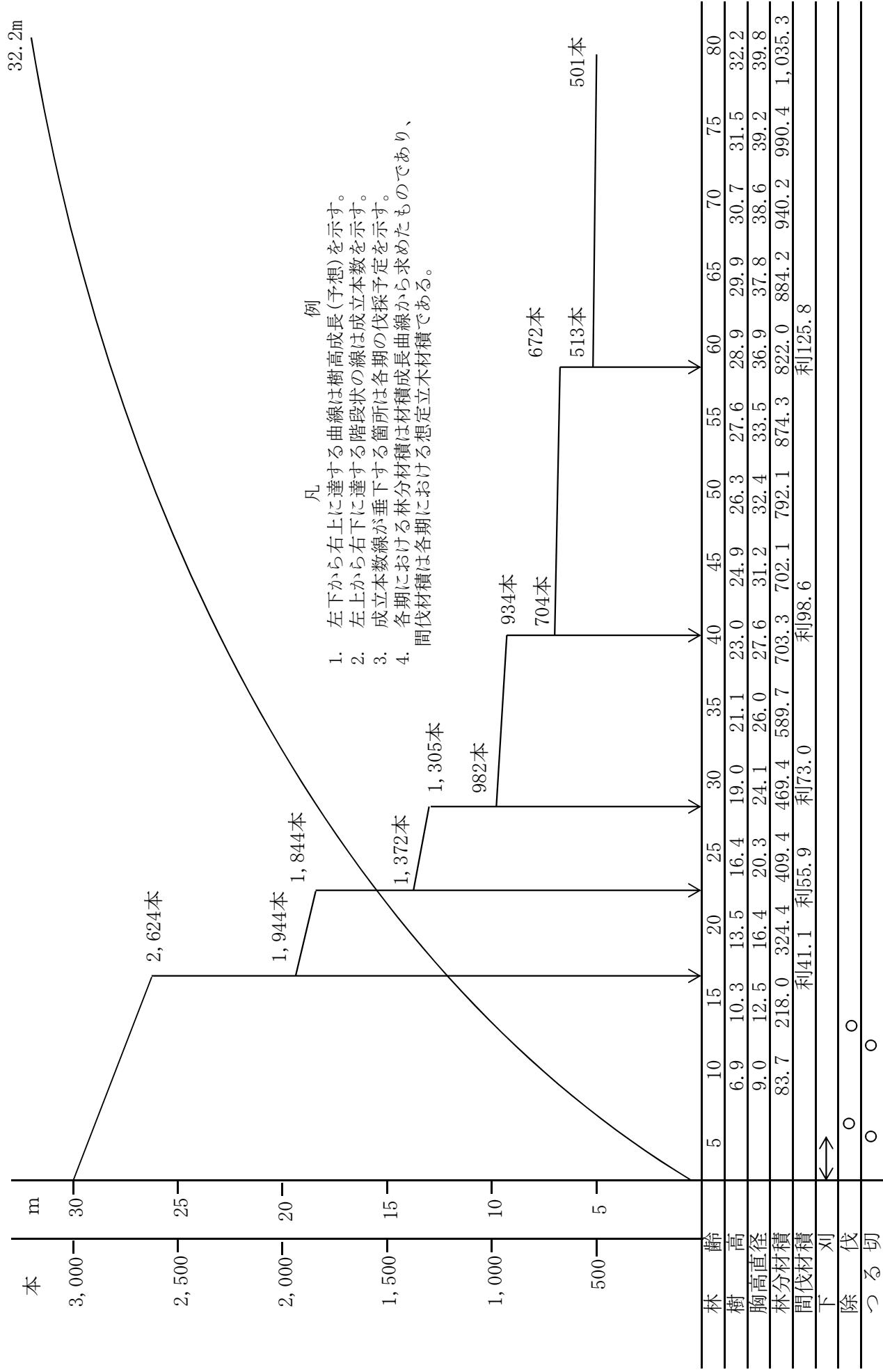
単位 面積 : ha、材積 : 1,000m³

区分		面積										材積				
第I分類	人林	総数	伐採跡地	小計	1.2齡級	3.4齡級	5.6齡級	7.8齡級	9.10齡級	11.12齡級	13.14齡級	15.16齡級	17.18齡級	19.20齡級	21齡級以上	
		240,625	10,067	230,558	9,915	12,568	31,147	30,551	31,472	46,910	44,344	14,501	5,542	2,025	1,583	
第II分類	人 工 林	81,726	1,754	79,972	909	1,247	4,626	13,238	22,576	24,891	10,496	1,127	465	256	142	49,816
	育成單層林	79,567	1,692	77,875	904	1,242	4,538	12,841	22,106	24,201	10,120	1,086	451	249	137	24,380
第III分類	人 工 林	2,159	63	2,097	5	88	397	470	690	375	40	14	7	5	646	23,734
	育成複層林	158,899	8,313	150,587	9,006	11,321	26,521	17,313	8,896	22,019	33,849	13,375	5,077	1,770	1,441	25,436
第IV分類	人 工 林	8,834	638	8,196	17	132	93	143	372	1,387	3,008	1,455	778	437	373	2,639
	育成複層林	3,781	233	3,548	0	34	38	73	246	722	1,342	477	175	140	300	930
第V分類	人 工 林	146,284	7,442	138,842	8,989	11,154	26,391	17,097	8,278	19,909	29,499	11,443	4,124	1,193	767	21,867
	育成複層林	240,625	15,053	225,573	45,683	8,050	10,013	24,663	25,084	25,642	37,161	32,515	10,009	3,823	2,929	49,367
第VI分類	人 工 林	83,270	4,489	78,781	9,809	908	1,228	4,503	12,371	19,136	20,841	8,432	860	342	351	27,495
	育成單層林	77,742	4,489	73,253	6,334	903	1,224	4,415	11,974	18,710	20,150	8,057	820	328	338	26,643
第VII分類	人 工 林	5,528	-	5,228	3,475	5	4	88	397	426	691	375	40	14	13	852
	育成複層林	157,355	10,564	146,792	35,874	7,142	8,785	20,160	12,713	6,506	16,320	24,083	9,149	3,481	2,578	21,872
第VIII分類	人 工 林	8,657	744	7,912	3,137	16	127	82	105	254	846	1,706	751	380	508	1,555
	育成複層林	12,969	-	12,969	9,424	-	35	36	74	246	722	1,312	476	175	439	1,078
第IX分類	人 工 林	135,730	9,820	125,910	23,313	7,126	8,623	20,042	12,534	6,006	14,752	21,035	7,922	2,926	1,631	19,239
	育成複層林	240,625	13,583	227,042	51,842	41,495	6,356	7,862	18,803	19,558	19,281	26,484	22,577	7,092	5,692	43,819
第X分類	人 工 林	84,385	4,499	79,886	17,609	9,790	900	1,170	4,056	10,298	14,425	14,193	5,679	570	596	23,757
	育成單層林	76,777	4,499	72,278	15,529	6,315	895	1,166	3,968	9,901	13,999	14,102	5,304	530	569	22,423
第XI分類	人 工 林	7,608	-	7,608	2,080	3,475	5	4	88	397	426	691	375	40	27	1,334
	育成複層林	156,240	9,084	147,156	34,233	31,705	5,456	6,692	14,747	9,260	4,856	11,691	16,898	6,522	5,096	20,062
第XII分類	人 工 林	8,442	422	8,019	2,040	3,120	13	111	66	73	156	483	890	369	698	1,322
	育成複層林	17,658	-	17,658	4,689	9,424	-	35	36	74	246	722	1,342	476	614	2,017
第XIII分類	人 工 林	130,141	8,662	121,479	27,504	19,161	5,443	6,546	14,645	9,113	4,454	10,486	14,666	5,677	3,784	16,723
	育成複層林	240,625	12,335	228,290	45,594	46,818	37,224	5,019	5,960	14,044	14,573	13,562	18,344	16,189	10,963	41,538
第XIV分類	人 工 林	84,478	3,943	80,535	15,381	17,563	9,758	868	1,036	3,324	7,716	10,043	9,952	3,873	1,021	21,751
	育成單層林	76,870	3,943	72,927	15,381	15,483	6,283	863	1,032	3,236	7,319	9,617	9,261	3,498	954	19,739
第XV分類	人 工 林	7,608	-	7,608	-	2,080	3,475	5	4	88	397	426	691	375	67	2,012
	育成複層林	156,147	8,392	147,755	30,213	29,255	27,466	4,151	4,924	10,720	6,857	3,519	8,392	12,316	9,942	19,787
第XVI分類	人 工 林	8,373	272	8,101	1,206	2,028	2,994	9	87	47	47	89	252	440	902	1,422
	育成複層林	17,658	-	17,658	-	4,689	9,424	-	35	36	74	246	722	1,342	1,090	2,927
第XVII分類	人 工 林	130,116	8,120	121,996	29,007	22,538	15,048	4,142	4,802	10,637	6,736	3,184	7,418	10,534	7,950	15,438
	育成複層林	240,625	10,946	229,679	40,120	40,225	41,847	33,239	3,768	4,424	10,386	10,279	9,135	12,915	23,341	41,939
第XVIII分類	人 工 林	84,451	3,038	81,413	12,299	15,334	17,504	9,629	781	835	2,436	5,314	6,591	6,770	3,920	21,688
	育成單層林	76,843	3,038	73,805	12,299	15,334	15,424	6,154	776	831	2,348	4,917	6,165	6,079	3,478	19,184
第XIX分類	人 工 林	7,608	-	7,608	-	-	2,080	3,475	5	4	88	397	426	691	442	2,504
	育成複層林	156,175	7,909	148,266	27,321	24,891	24,343	23,610	2,987	3,589	7,950	4,965	2,544	6,145	19,421	20,251
第XX分類	人 工 林	8,362	241	8,120	889	1,200	1,942	2,624	5	63	33	30	46	126	1,162	1,596
	育成複層林	17,658	-	17,658	-	-	4,689	9,424	-	35	36	74	246	722	2,432	3,509
第XXI分類	人 工 林	130,155	7,667	122,488	26,932	23,691	17,712	11,562	2,982	3,491	7,881	4,861	2,252	5,297	15,827	15,146

注 単位未満を四捨五入しているため、各数量の積み上げと総数は必ずしも一致しない。

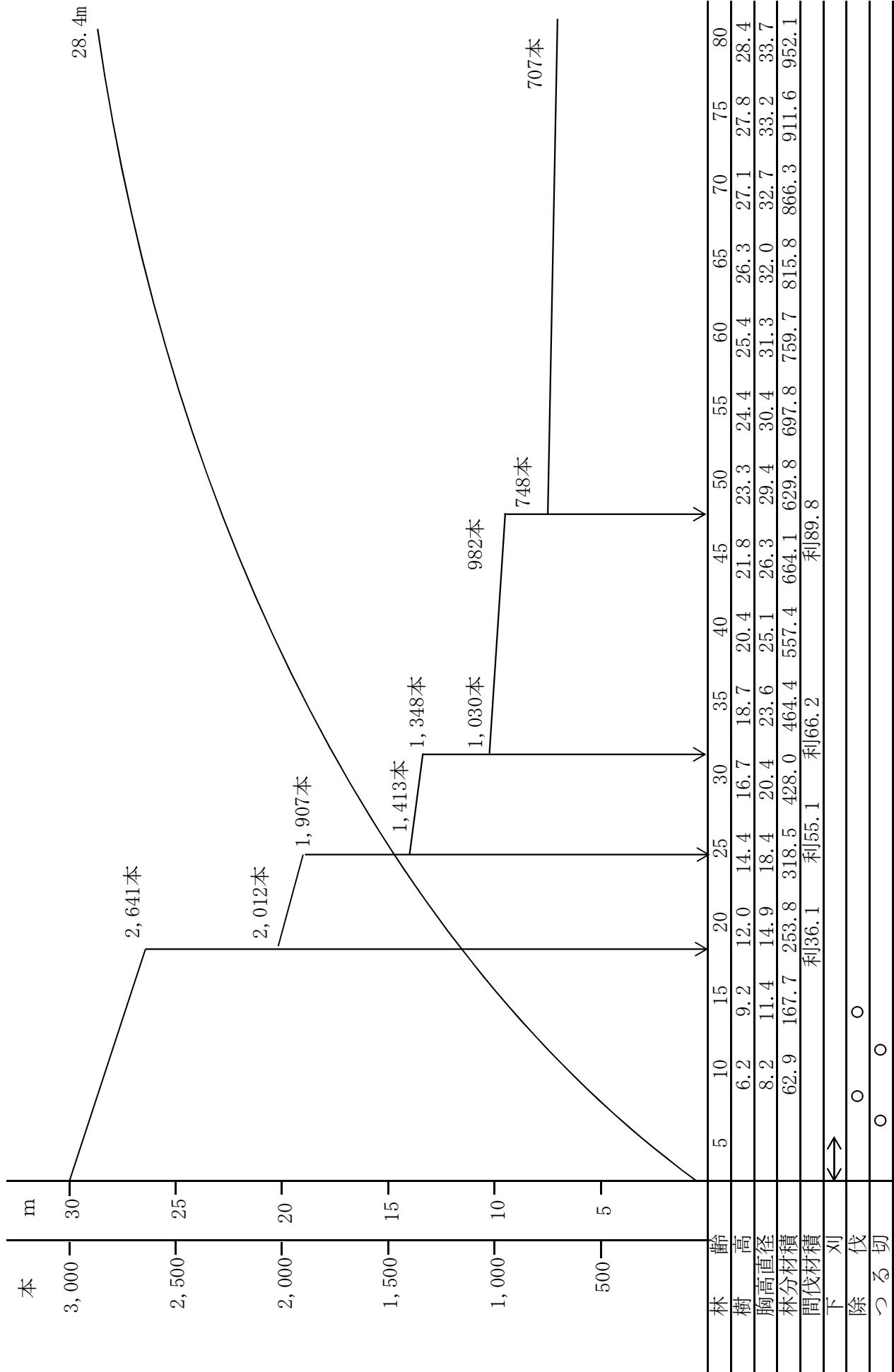
7 その他
 (1) 施業方法別の施業体系図
 [森林施業の指針1]

スギ一般材施業の指針(地位上)



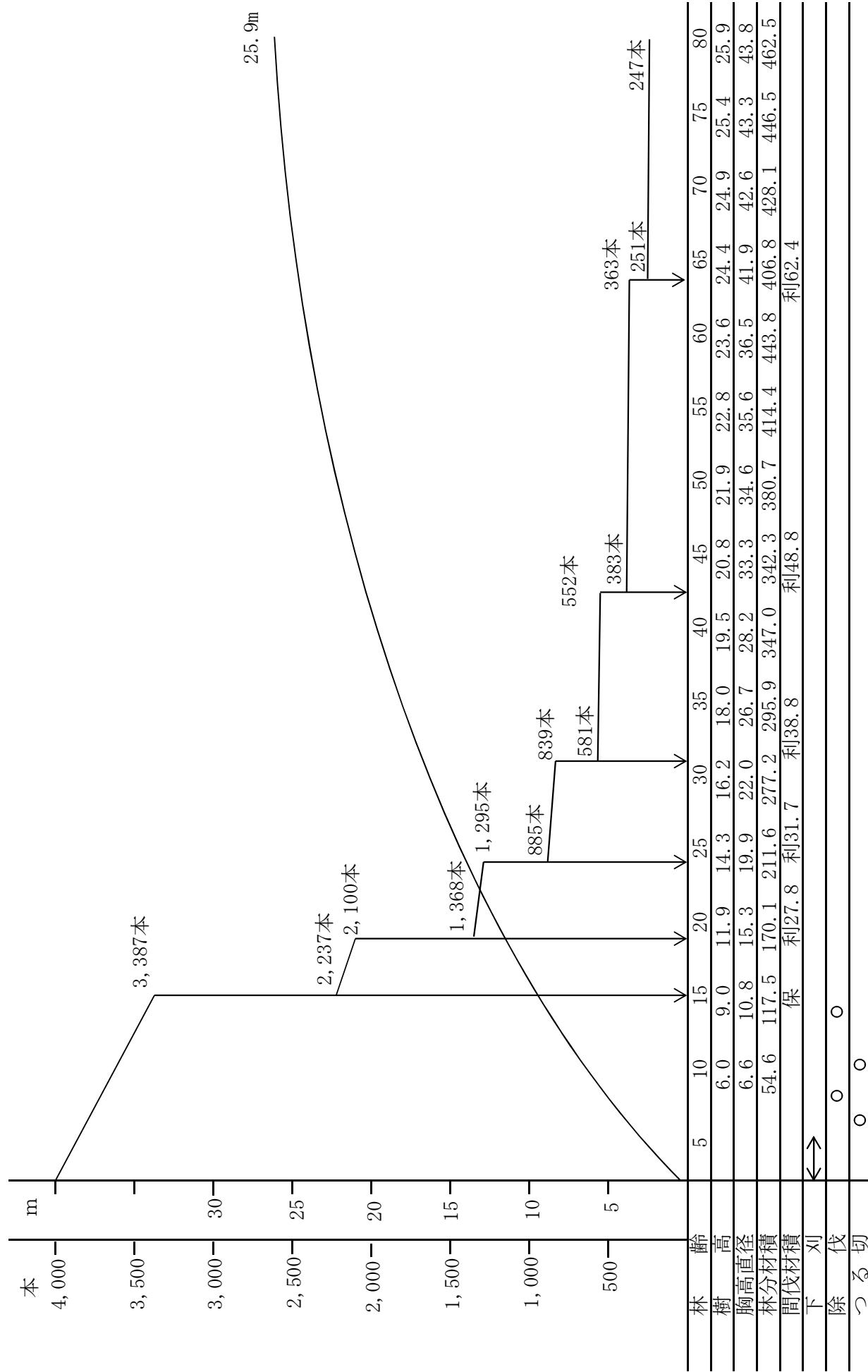
〔森林施業の指針2〕

スギ一般材施業の指針(地位中)



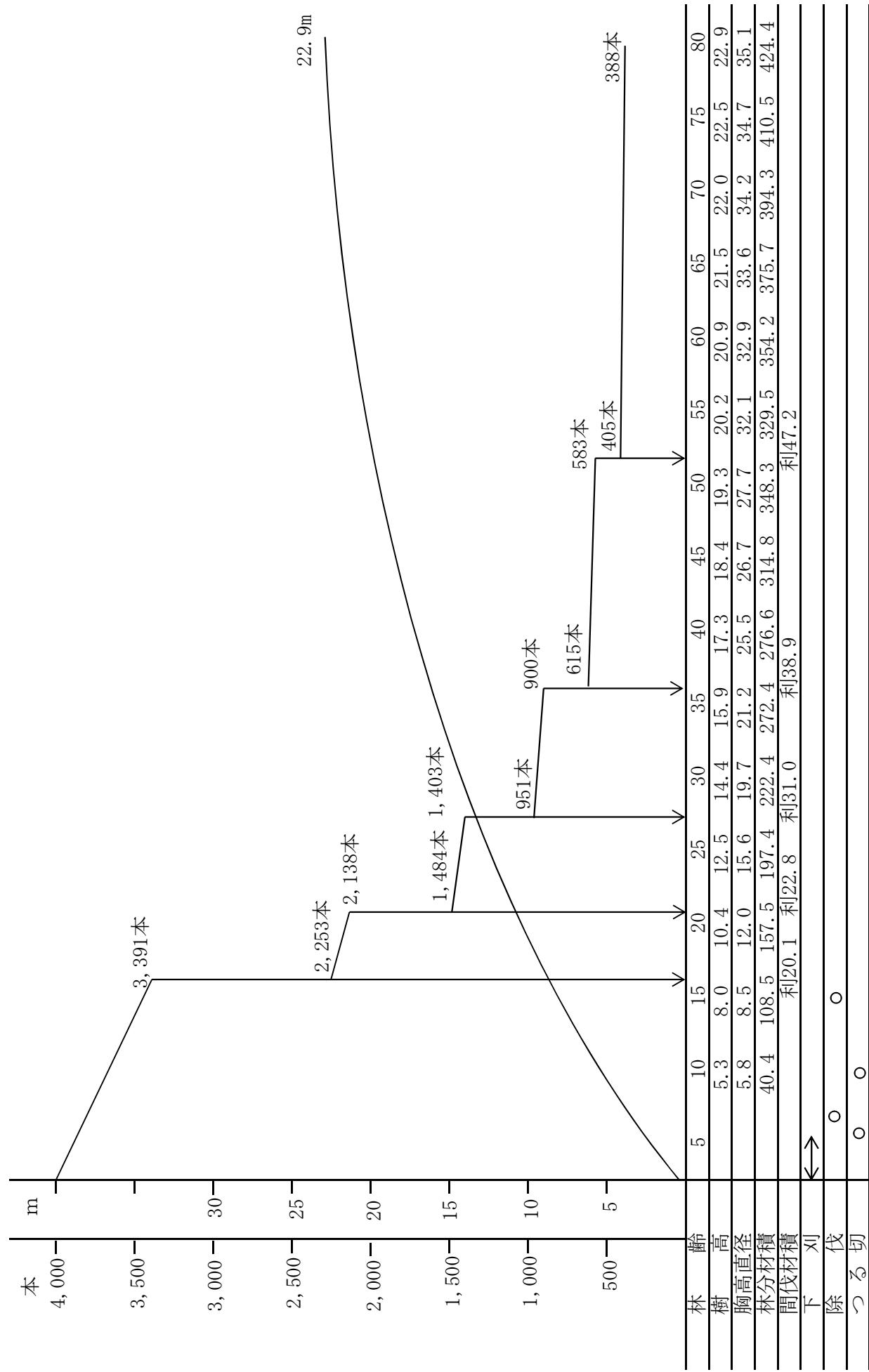
[森林施業の指針3]

アカマツ一般材施業の指針(地位上)



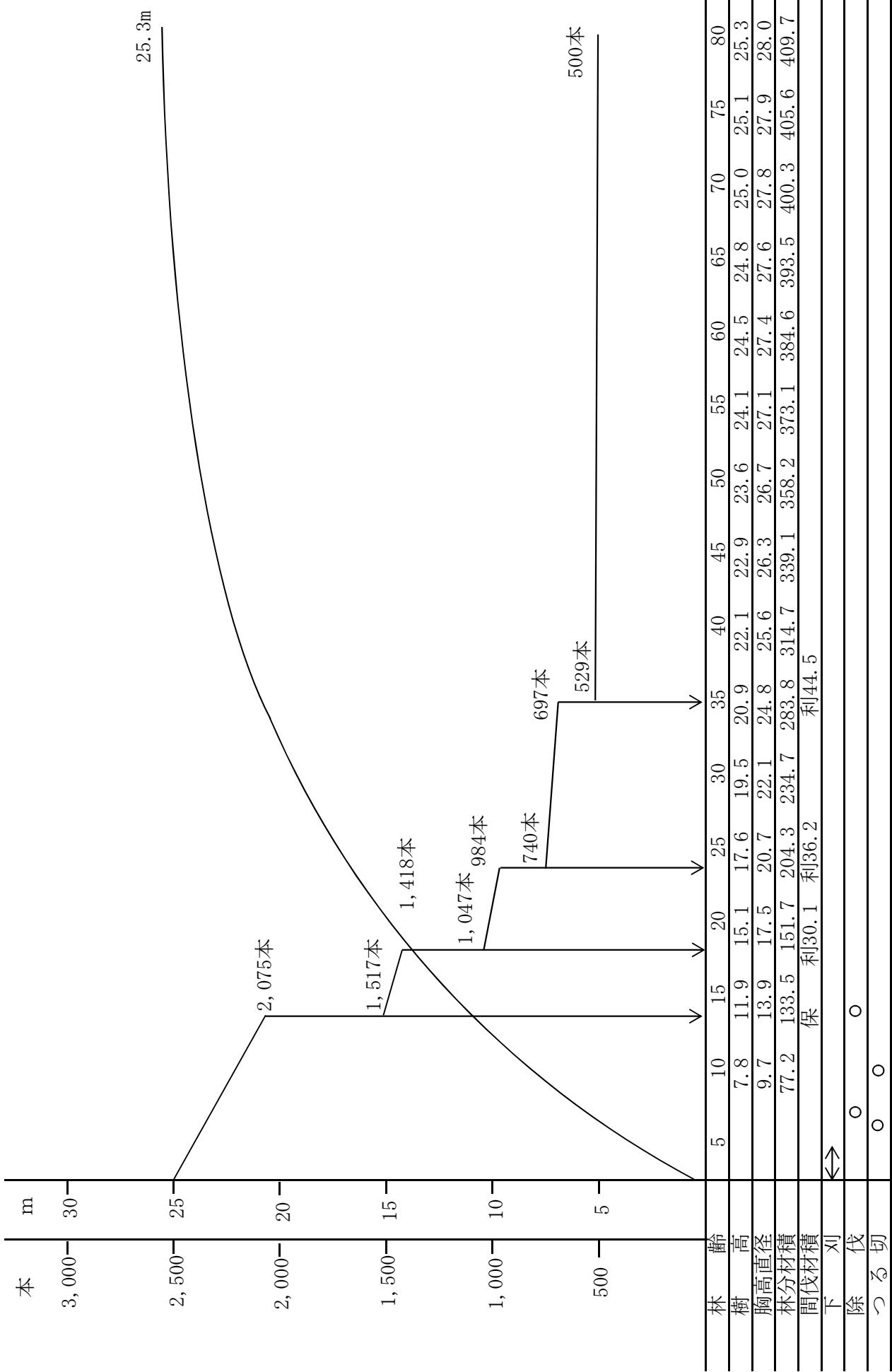
[森林施業の指針4]

アカマツ一般材施業の指針(地位中)



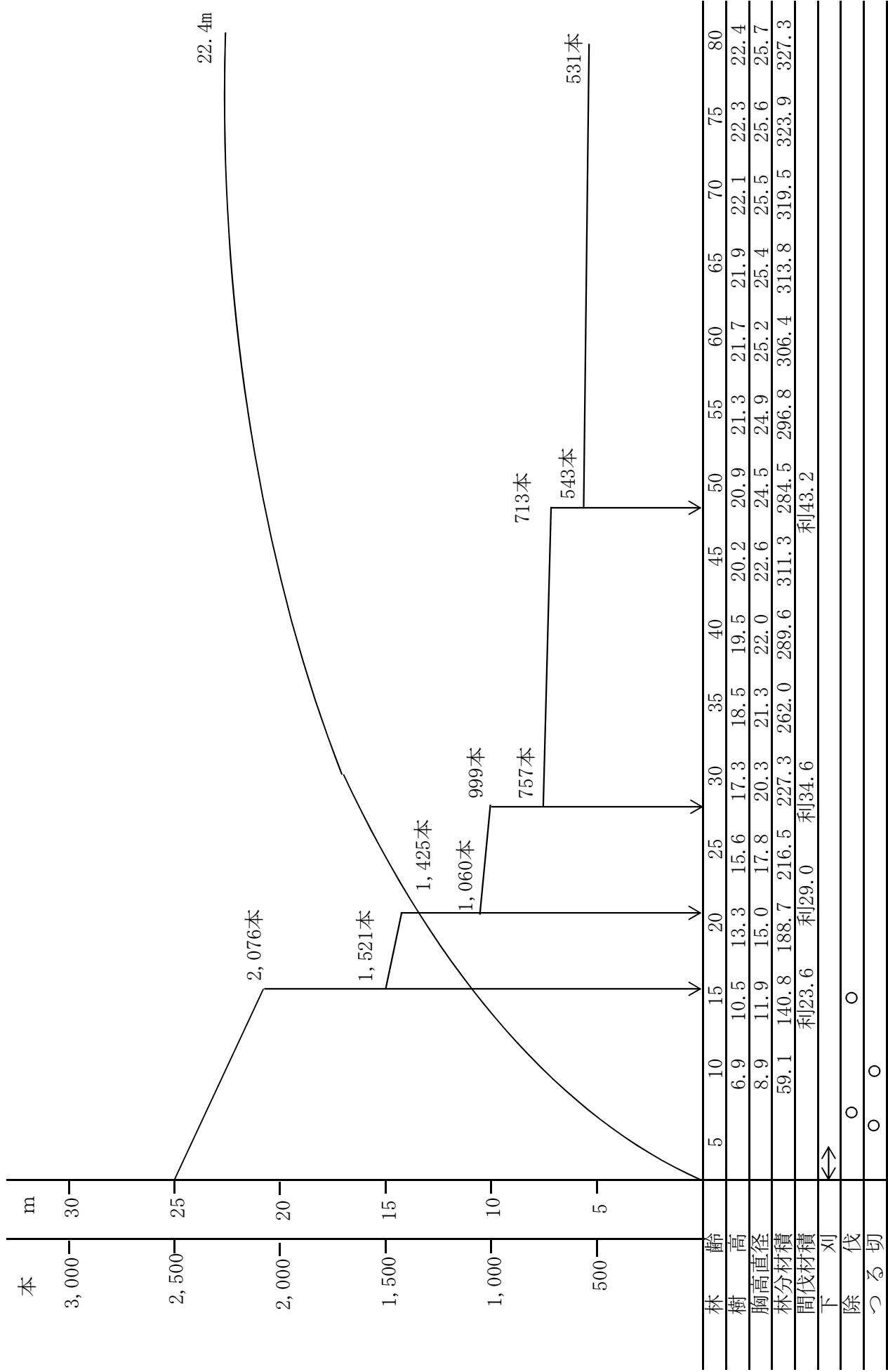
[森林施業の指針5]

カラマツ一般材施業の指針(地位上)



[森林施業の指針6]

カラマツ一般材施業の指針(地位中)



(2) 持続的伐採可能量

第1表 主伐(皆伐)上限量の目安(年間)

単位 材積：千m³

主伐(皆伐)上限量の目安	
557	

第2表 持続的伐採可能量(年間)

単位 再造林率：% 材積：千m³

再造林率	持続的伐採可能量	間伐立木材積	合計
100	557	170	727
90	501		671
80	446		616
70	390		560
60	334		504
50	279		449
40	223		393
30	167		337
20	111		281
10	56		226

(参考) 用語の解説

(五十音順)

項目	解説	主な掲載個所
意欲と能力のある林業経営体	森林經營管理法第36条第2項に基づき、県が登録・公表する林業經營体。經營管理を効率的かつ安定的に行う能力を有し、經營管理を確実に行うための經理的な基礎を有すると認められる者。	P38～40
いわて木質バイオマスエネルギー利用展開指針(第2期)	「いわて県民計画(2019～2028)」に掲げる推進方策等に対応した木質バイオマスエネルギー利用促進の指針を示すものとして、2019年度～2022年度を期間として策定した計画。	P40
いわて林業アカデミー	林業への就業希望者等を対象に、林業に関する知識及び技術を体系的に取得することを目的に岩手県が平成29年4月から開講した研修。将来的に林業事業体の經營の中核となり得る現場技術者を養成している。	P38
枝打ち	一般的には無節の良質材を育成するため下方の枝を切り落とすことをいう。近年は、複層林における下層木や、裸地化した土壤表面での植物の生育が可能となるよう陽光を与えるなど、公益的機能を確保する観点からも行われる。	P28
皆伐	主伐の一種で、一定範囲の樹木を一斉に全部又は大部分を伐採すること。	P7, 9, 19～24, 32, 33, 41, 52, 66, 83
かき起こし	更新補助作業の一つ。天然下種からの芽生えの発生と根付きを促進するため、地表面を熊手などで搔き起こし、土壤を露出させること。	P25
海岸防災林	潮害の防備、飛砂・風害の防備等の災害防止機能を有しており、農地や居住地を災害から守るなど地域の生活環境の保全に重要な役割を果たしている森林。	P48
架線集材	主に空中に張ったワイヤーロープに取り付けた搬器を、集材機械によって移動させて集材する方法。急傾斜地でも搬出が可能であり、林地を荒らすことが少ないなどの長所がある。	P36, 41, 44
下層木	樹冠が2段以上の層状構造をなしている森林で、上層の木に対して下層の木。	P24
緩傾斜地	計画書では、全国森林計画の路網整備の水準から、傾斜15度未満としている。 なお、高性能林業機械化促進基本方針では、傾斜20度未満とされている。	P34, 39

(五十音順)

項目	解説	主な掲載個所
かつちやく 活着	植栽した苗・移植をした挿し木・接ぎ木をした植物が、根付くこと。	P24
かんばつ 間伐	森林の混み具合に応じて、目的とする樹種の個体密度を調整する作業。一般に、除伐後、主伐までの間に育成目的に応じて間断的に行われる。	P4, 6~9, 16~18, 20, 22, 27, 28, 33, 35, 40, 48, 50, 52, 54, 56, 66, 82, 83
かんぱうがい 寒風害	土壤の凍結により給水困難な状態となり、また寒風のため枝葉から水分が失われて、脱水による乾燥枯死をもたらす被害。	P20
きかんろもう 基幹路網	林道及び林業専用道を示す。	P3, 34, 35
きょうどじゅしゅ 郷土樹種	それぞれの地方や立地環境によく適応し、自然状態で分布している樹種、及び歴史的に長期間にわたり植栽されてきた樹種。	P32
きりど 切土	地盤より上方にある土砂等をかき落とし、または切り崩す作業により切り取った土砂及びその行為。	P36, 37, 44, 46
きゅうけいしやち 急傾斜地	計画書では、全国森林計画の路網整備の水準から、傾斜30度以上としている。 なお、高性能林業機械化促進基本方針では、傾斜20度以上とされている。	P31, 34, 35, 39, 80, 81, 82, 85
きんばつ 禁伐	樹木の伐採を禁止すること。	P84
ぐんじょうたくばつさぎょう 群状抾伐作業	単木抾伐の非効率性を補うとともに、皆伐による裸地化の弊害を避けるため、森林内の一部をパッチ状に小区画伐採し、その跡地は植栽若しくはぼう芽又は天然下種による更新を期待して行われる施業体系（作業種）の一つ。	P21
げんせいでき 原生的	人の手がほとんど又は全く加わっておらず、自然のあるがままの状態。	P15, 18
こうえきでききのう 公益的機能	一般的に、森林の有する多面的機能のうち、木材等の生産機能を除いた機能をさす。	P4, 6~10, 22~25, 30, 32, 33
こうせいのうりんぎょうきかい 高性能林業機械	一機種で、伐倒・枝払い・造材・集材のうち、二工程以上の多工程処理を行う車両系又は架線系の林業機械。実際の生産性や経済性は、地形、伐採方法、路網密度などの作業条件によって大きく左右される。	P7, 28, 39, 40
ごうはん 合板	丸太の円周方向に薄板を切り出し、纖維方向を直交させ奇数枚数を接着剤で貼り合わせた板。	P3, 40

(五十音順)

項目	解説	主な掲載個所
こうようじゅ 広葉樹	樹木を葉の形で分類した名称で、ケヤキ、ブナ、ナラ、ツバキなど扁平な葉をもった樹木をいう。 針葉樹に対する語。	P2~4, 6, 9, 17, 21~23, 26, 32, 35, 50, 54
こだん 小段	大きな法面の中段に設ける巾0.5~1mの踏み段。法面の安定を高め、法面を流下する水の流速を減じて浸食を防ぐ効果がある。	P46
こんこうりん 混交林	性質の異なった2種類以上の樹種（針葉樹と広葉樹など）が混じって生育する森林。単純林の対語。	P6, 9, 24, 35, 50
コンテナ苗 <small>なえ</small>	容器の内側にリブ（縦筋状の突起）や細長いスリット（縦長の隙間）を設けるなどにより、水平方向の根巻きを防止するとともに、底面を開けることで垂直方向に空気根切りができる容器によって育成した、根鉢付きの苗木。根が培地に張り巡られ、根鉢が容易に崩れない状態が保たれ、根が垂直方向に発達して根巻きしないのが特徴。	P24
ざいせき 材積	立木または造材された丸太、さらに製材された木材の体積をいう。立木では枝条を含むときと樹幹だけの場合がある。単位は立方メートル、石がある。	P4, 9, 20, 21, 24, 27, 54, 82, 83,
さとやま 里山	集落や農地の周辺にあって、薪炭材や肥料となる落葉など、生活に密着した資材を継続的に供給してきた森林。	P17
しちょうそんしんりんせいひけいかく 市町村森林整備計画	森林法第10条の5に基づき、市町村が計画的かつ長期的視点にたって、適切に林業経営、森林施業を推進するためにたてる造林から伐採までの森林施業に関する総合的な計画。	P8, 20, 22~24, 26~28, 30, 35, 51
しゅうせいざい 集成材	挽き板又は小角材を、その纖維方向を平行にして、厚さ、幅、長さ方向に接着して集成した材料。節、目切れなどの欠点を除去・分散させることで、製材よりも強度の変動が小さい。	P3, 11, 40
じゅかしょくさい 樹下植栽	複層林などを造成するために、林間に樹木を植栽すること。	P52
じゅかん 樹冠	樹木の葉と枝の集まり（枝と葉の層）をいう。	P7, 19, 24, 25, 27, 53, 82~84
じゅこうばつ 受光伐	複層林などを造成するために、下層木が成長できるように陽光を調整するために行う伐採。	P52
しゅばつ 主伐	利用期に達した樹木を伐採し収穫すること。間伐と異なり、伐採後、次の世代の樹木の育成、すなわち更新を伴う伐採である。	P4, 9, 18, 20, 21, 26, 32, 33 35, 54, 83
じょうそうばく 上層木	樹冠が2段以上の層状をなしている森林で、下層の木に対して上層の木。	P27

(五十音順)

項目	解説	主な掲載個所
植生 しょくせい	ある区域に集まって生育している植物の全体をいう。自然植生、現存植生などと使う。	P7, 14, 16, 20, 24, 25, 28, 32, 34, 47
除伐 じょばつ	育成の対象となる樹木の生育を妨げる他の樹木を刈り払う作業。一般に、下刈を終了してから、植栽木の枝葉が茂り、互いに接し合う状態になるまでの間に数回行われる。	P12, 28, 52
人工造林 じんこうぞうりん	苗木の植栽、種子のまき付け、挿し木等の人為的な方法により森林を造成すること。	P4, 9, 21, 23, 24, 55
針葉樹 しんようじゅ	樹木を葉の形で分類した名称で、スギ、ヒノキ、マツ類、モミなど細くとがった葉をもった樹木をいう。 広葉樹に対する語。	P2, 3, 9, 22, 25, 26, 54
森林 しんりん	森林法第2条で、「1 木竹が集団して生育している土地及びその土地の上にある立木竹」「2 前号の土地の外、木竹の集団的な生育に供される土地」但し、主として農地又は住宅地若しくはこれに準ずる土地として使用される土地及びこれらの上にある立木竹を除く、と定められている。	P1~4, 6~10, 12~28, 30~53, 62~84
森林経営管理制度 しんりんけいえいかんりせいど	「森林経営管理法」に基づき、経営管理が行われていない森林について、市町村が仲介役となり、森林所有者と林業経営者をつないでいくシステム。平成31年4月1日から開始。	P38
森林経営計画 しんりんけいえいけいかく	森林所有者又は森林所有者から森林の経営の委託を受けた者が、単独又は共同により森林の経営を行う一体的な森林について、計画的な施業及び保護のために自発的にたてる5年間の計画。	P7, 34, 35, 38, 86
森林作業道 しんりんさぎょうどう	除間伐等の森林整備や木材の集材・搬出のために、主として森林施業用の林業機械の走行を想定する簡易な構造の作業道のこと。	P7, 34, 35, 37, 39
森林(の)施業 しんりん(の)せぎょう	目的とする森林を造成、維持するための造林、保育、間伐、伐採等の一連の森林に対する行為。	P7~9, 16, 18, 20, 30, 32~35, 38, 39, 52, 68, 86
(森林の)機能区分 しんりん(の)きのうくぶん	森林を、その森林の地形、地質、土壤その他の立地条件、林況等に関する評価因子をもとに、水源涵養機能、山地災害防止機能/土壤保全機能、快適環境形成機能、保健・レクリエーション機能、文化機能、生物多様性保全機能、木材等生産機能の7つの機能に区分したもの。	P30
森林の有する多面的機能 しんりんのゆうためんてききのう	森林の有する国土の保全、水源のかん養、自然環境の保全、公衆の保健、地球温暖化の防止、林産物の供給等の多面にわたる機能。	P16, 19, 21, 30

(五十音順)

項目	解説	主な掲載個所
森林保健施設 しんりんほけんしせつ	森林の保健機能の増進に関する特別措置法第2条第2項第2号の規定により森林の有する保健機能を高度に發揮させるため公衆の利用に供する施設。休養施設、教養文化施設、スポーツ又はレクリエーション施設、宿泊施設等がある。	P52
森林・林業基本計画 しんりん りんぎょうきほんけいかく	森林・林業基本法の基本理念の実現に向けて、森林及び林業に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、同法に基づき策定した計画。森林及び林業施策の基本方針、森林のもつ多面的機能の発揮並びに木材の供給及び利用に関する目標、政府が講ずべき施策を明記。	P6
スイングヤーダ	主索を用いない簡易索張方式に対応し、かつ作業中に旋回可能なブームを装備する集材機。建設用ベースマシンに集材用ワインチを搭載し、アームをタワーとして使用する。	P39
筋地揃え すじじごしらえ	植栽する列だけ刈り払い、残りはそのまま放置とともに、植付けの際に障害となるものを取り除く作業。刈り払ったものなどは残った列の上、あるいは列に沿わせて置く。	P24
捨土 すてど	切土を現場内利用した余りの土砂。	P37, 46
制限林 せいげんりん	保安林及び森林法施行規則第7条の2で定められている立木の伐採に制限がある森林をいう。 保安林、砂防指定地、鳥獣保護法の特別保護地区、自然公園法の特別地域内の森林等がある。	P41, 43, 69, 82
静砂垣 せいさがき	砂の移動防止と植栽木への防風を目的として、植栽地全面に設ける垣をいう。使用材料により、竹ス、ヨシズ、粗朶などがある。	P46
生態系 せいたいけい	ある地域の生物の群集とそれらに関する無機的環境をひとまとめにし、物質循環、エネルギー流などに注目して機能系としてとらえたもの。	P15, 18, 30～33, 49
生物多様性 せいぶつたようせい	地球上の生物の多様さとその生息環境の多様さをいう。生物多様性条約においては、「生物の多様性」とは、全ての生物の間の変異性をいうものとし、種内の多様性、種間の多様性及び生態系の多様性を含むとしている。	P6, 15, 16, 18, 21
全国森林計画 ぜんこくしんりんけいかく	森林法第4条の規定に基づき「森林・林業基本計画」に即して、農林水産大臣が閣議決定を経て、森林の整備の目標その他森林の整備に関する基本的な事項等について、5年ごとにたてる15年間の計画。	P6, 8, 9
全面地揃え ぜんめんじごしらえ	植付け予定地の雑草木やササ及び散乱している幹や枝など、植付けの際に障害となるものを植栽予定地の全面にわたりて取り除く作業。	P24

(五十音順)

項目	解説	主な掲載個所
造林	林地に森林を仕立てること。造林の方法には人工造林と天然更新がある。	P2, 4, 6, 8, 9, 13, 18, 20, 21, 23, 24, 26, 48, 49, 52, 55
粗腐植	落葉や落ちた枝が一部分解した表面層で、一般的にきのこや菌類で満たされている。	P25
帶状状伐作業	単木状伐の非効率性を補うとともに、皆伐による裸地化の弊害を避けるため、立木を樹高幅ほどで帯状に伐採し、その跡地は植栽若しくはぼう芽又は天然下種による更新を期待して行われる施業体系（作業種）の一つ。	P21
状伐	主伐の一種で、森林内の成熟木を数年～十数年ごとに計画的に伐採（抜き切り）すること。伐採により森林の状態が大きく変化せず、持続的な森林経営ができる。	P7, 9, 20～22, 24, 32, 41, 66, 82～85
タワーヤード	簡便に架線集材できる、元柱になる鉄柱と集材装置を装備した移動式の集材機。	P35, 39
單層林	単一の林冠層で構成されている森林の総称。	P7, 18, 19, 23, 34, 52
短・中伐期作業	薪炭用材、しいたけ原木等の生産を目的になら類を対象として、短期間（25年～35年）で一斉にある程度まとまった面積を伐採し、ぼう芽による更新を期待して行われる施業体系（作業種）、又は中径材の生産を目的にすぎ、あかもつ、からまつなどを対象として、おおむね標準伐期齡前後で一斉にまとまった面積を伐採し、その跡地を人工植栽する施業体系（作業種）。	P21
单木状伐	立木の伐採が、森林及びその周辺における自然環境に大きな変化を招くおそれが少ない程度の状伐。	P21, 84
单木状伐作業	状伐作業の1種で、更新のために伐区から一定量を单木的に均等に抜き切りする方法。	P21
地域森林計画	森林法第5条第1項の規定に基づき知事が全国森林計画に即して、森林計画区内の民有林を対象に5年ごとに10年を一期としてたてる計画で、市町村森林整備計画における森林施業の指針となるもの。	P13
蓄積	森林の現存量、材積をいう。単位はm ³ （立方メートル）	P2, 3, 19, 84
地拵え	植栽や天然更新の準備のため、雑草や灌木の刈払いや伐採した樹木の枝等の整理を行う作業。	P24

(五十音順)

項目	解説	主な掲載個所
治山施設 ちさんしせつ	保安林の指定の目的を達成するために必要として実施された保安施設事業（森林法）及び地すべりを防止するために地すべり防止工事（地すべり等防止法）により設置された施設。	P14, 48
地質 ちしつ	地殻を構成する物質。その種類、性質または状態をさすことが多い。大部分は岩石であるが、地層、堆積物、風化生成物ないし土壤も含まれる。	P1, 16, 20, 32, 34, 35, 46
長伐期施業（作業） ちょうばつきせぎょう（さぎょう）	主に用材林の生産を目的に長伐期（標準伐期齢のおおむね2倍に相当する林齢以上）で、一斉にある程度まとまった面積を伐採し、その跡地は、植栽又はぼう芽による更新を期待して行われる施業体系（作業種）の一つ。	P6, 21, 32
坪地拵え つぼじごしらえ	苗木を植え付ける所の周辺だけ円形あるいは方形に刈り払い、植付けの際の障害となるものを取り除く作業。	P24
適地適木 てきちてきぼく	森林を仕立てる際、土壤、気象、地形、地質などその土地の立地に合った樹種を検討し、判断すること。	P23, 26
天然下種更新 てんねんかしゅこうしん	林地内に残した木（母樹）またはその側方の木より自然に落ちた種から発芽した稚樹を後継樹として森林を仕立てる方法。	P20, 25, 26
天然更新 てんねんこうしん	人のかかわりは補助手段として、主として天然の力によって次の世代の樹木を発生させることをいう。 種子が自然に落下し、発芽して成長する場合（天然下種更新）と、木の根株から発芽（ぼう芽）して成長する場合などがある。	P4, 9, 24～26, 55
天然林 てんねんりん	天然の状態であって、造林・保育についてはほとんど人の手が加わっていない森林。	P20, 35
特定間伐等及び特定母樹の増殖の実施の促進に関する基本方針 とくていかんばつとうおよそじゅつけいわくぞうしょくじゆのじつせのくじんかんするきほんほうけん	森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法（平成20年法律第32号）第4条第1項の規定により、令和3年度から令和12年度までを対象期間として実施される間伐等の実施の促進に関し、岩手県が定めた基本的な方針。	P4
土壤 どじょう	地殻表面などの母岩が風化・崩壊したものに腐植などが加わり、気候や生物などの作用を受けて生成したもの。水分の動態、有機物の分解合成の過程の相違によって特有の発達を示す。	P1, 7, 14～16, 24, 30, 32, 35, 41, 83
法面 のりめん	勾配のある面。斜面。森林土木における切土、盛土の傾斜面。	P37, 46, 47
伐期 ばつき	林木の伐採・収穫の時期。	P4, 6, 9, 20～22, 32, 53, 83, 84

(五十音順)

項目	解説	主な掲載個所
伐区 ばつく	もともと伐採（主伐）が行われる区域をさすが、造林から育林、伐採までの作業が一貫して同一に行われる区域にも用いられる。	P20, 21, 32, 84
伐採種 ばつさいしゅ	主伐における伐採方法をいう。皆伐、択伐等に分けられる。	P83
ハーベスター	伐倒、枝払い、玉切り、集積の一連の多工程の処理を連続して行う自走式の高性能林業機械。	P39
標準伐期齢 ひょうじゅんぱつき령	主要樹種について平均成長量が最大となる年齢を基準とし、森林の有する公益的機能、平均伐採齢等を勘案し、地域森林計画で示した指針をもとに、森林計画制度上の誘導指標として市町村森林整備計画で定めた年齢。 保安林の指定施業要件の基準に用いられている。	P22, 32, 53, 83, 84
流量 りゅうりょう	単位時間当たりに流出する水の量。	P46
フォワーダ	林地内の丸太を林道端等まで積載・集材する車両機械。	P11, 35, 39
複層林 ふくそうりん	林冠構成が複数状態をしている森林の総称。二層のものを二段林、三層のものを三段林という。	P7, 16, 19, 24, 32, 52
複層林施業 ふくそうりんせぎょう	森林を構成する林木の一部を伐採し、苗木の植栽等を行うことにより、複数の林冠を構成する森林を造成する施業。	P32
プロセッサ	全木（枝付き）の枝払い、玉切り、集積の一連の工程を行う高性能林業機械。	P39
平均成長量 へいきんせいちょうりょう	その年までに成長した量を総成長量というが、これを年数で割ったもの。	P22, 31
保安施設事業 ほあんしせつじぎょう	森林法第41条の規定に基づき、保安施設地区内において、その保安林の目的を達成するために実施される森林の造成事業、又は森林の造成若しくは維持に必要な事業。	P6
保安施設地区 ほあんしせつちく	農林水産大臣又は知事が保安施設事業を行う必要があるとして、農林水産大臣が森林法第41条の規定により指定した森林。この地区は、事業完了後一定期間経過後は保安林と見なされる。	P13, 31~33, 48, 66
保安林 ほあんりん	水源のかん養、土砂の流出等の防備、公衆の保健、名所又は旧跡の風致の保存等のため、森林法第25条に基づいて農林水産大臣又は知事が指定した森林。森林の施業に一定の制限が課せられる。	P4, 6, 10, 13, 16, 17, 31~33, 41, 43, 48, 62, 67, 69, 70~75, 82, 83

(五十音順)

項目	解説	主な掲載個所
保育	植栽を終了してから伐採するまでの間に、樹木の生育を促すために行う下刈、除伐等の作業の総称。	P6, 7, 16~18, 27, 28, 33, 48, 52
ぼう芽	立木を伐採した後に切り株から発生する芽をぼう芽という。	P20, 25, 26
ぼう芽更新	立木を伐採した後に切り株から発生したぼう芽を成長させて林を更新する方法。 コナラ、クヌギなど、ぼう芽力の強い広葉樹に対して行われる。ぼう芽更新は、薪炭林などで行われる。	P20, 25, 26
保健機能森林	森林の保健機能の増進に関する特別措置法第5条の2の規定に基づき、地域森林計画に即して森林の保健機能の増進を図ることが適当と認める場合に、森林の保健機能の増進を図るべき森林として、市町村森林整備計画でその区域が特定されている森林。	P51~53
保護樹帯	造林をする際に前生樹の一部を帶状に残して風をさえぎり、または主風の方向に対して樹木を帶状に造成することによって気象害などの被害の軽減を目的に残された又は造成された樹木の集団をいう。	P20
母樹	優良な形質をもった種子や穂木、茎や根を採取する樹をいう。母樹の集団を母樹林という。	P4, 20, 24, 26
密度管理図	林木の成長に関する密度効果の法則等を応用し、生育段階に応じた密度と材積等の関係を一つの図にまとめて表したもの。 この図から立木密度と上層木の樹高によって幹材積、平均直径、収量比数を知ることができ、密度管理方式に応じて収量を予測できる。	P27
緑の回廊	原生的な天然林や貴重な野生動植物の生息・生育地を保全管理するため国が国有林に設定したもので、平成17年度までにその途切れた部分をつなぐための民有林緑の回廊が設定された。	P30
猛禽類	飛翔力が強く、曲がった鋭いくちばしをもち、他の鳥類や哺乳類・爬虫類などを捕食する大型の鳥の総称。	P29
木質バイオマス	「岩手県木質バイオマス資源活用計画」では、県内の森林から出る用材、間伐材、林地残材、あるいは輸入木材などを木質バイオマスと捉えている。	P40
盛土	土をもって高くすることをいい、建築物の敷地、道路、堤防等を築造する際使用される土砂及びその行為。	P37, 46
有用広葉樹	一般に、住宅部材、家具用材等として利用される材が採れる樹種を指している。家具建築用材などに利用されるブナ、カシバ類、ナラ類、ケヤキ、キリ、ハリギリなどがある。	P21, 23

(五十音順)

項目	解説	主な掲載個所
ようへき 擁壁	崖や盛土の側面が崩れ落ちるのを防ぐために築く壁。	P46
りんぎょうせんようどう 林業専用道	森林作業道と組み合わせて、間伐作業を始めとする森林施業の用に供する道をいい、普通自動車や大型ホイールタイプフォワーダなど車両の走行を想定した構造となっている。	P7, 34, 35, 39, 58
りんぎょうけいえいたい 林業経営体	林家や林業会社など所有権または所有権以外の権限に基づいて育林または伐採を行うことができる山林を保有している世帯、法人、団体をさす。	P7, 38~40, 86
りんぎょうふきゅうしどういん 林業普及指導員	森林所有者等に対して、森林・林業に関する技術及び知識の普及や森林施業に関する指導を行い、また、試験研究機関との連携により専門の事項の調査研究を行う、一定の資格を持つ都道府県の職員。	P23, 24
りんぎょうろうりょくほしえん 林業労働力確保支援センター	林業労働力の確保の促進に関する法律第11条に基づき林業労働力の確保等を目的として設立された公益法人を、知事が林業労働力確保支援センターとして指定するもので、本県では、(公財)岩手県林業労働対策基金を平成8年に支援センターとして指定している。	P38
りんどう 林道	木材等の林産物を搬出したり、林業経営に必要な資材を運搬するため森林内に開設された道路の総称。行政では、林道規程に適合し、林道台帳に登載されているものをさす。	P3, 4, 7~9, 15, 16, 34, 35, 39, 57~61
りんばん 林班	森林の位置と施業の便を考え設定した森林区画の単位。原則として字界、沢筋・尾根筋・河川などの自然地形又は地物をもって、面積がおおむね50ha程度となるように設定しているもの。	P35~37, 43~45, 69~81
りんれい 林齢	森林の年齢。森林が成立(更新又は植栽)した年を1年とし、それから経過した森林の年数をさす。	P22, 27, 28
れつじょうかんばつ 列状間伐	選木基準を定めずに単純に列状に間伐する方法。高性能林業機械の導入による作業効率の向上、選木作業の省力化等による間伐経費の削減に有効な間伐方法。	P28